

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

住友化学健康保険組合

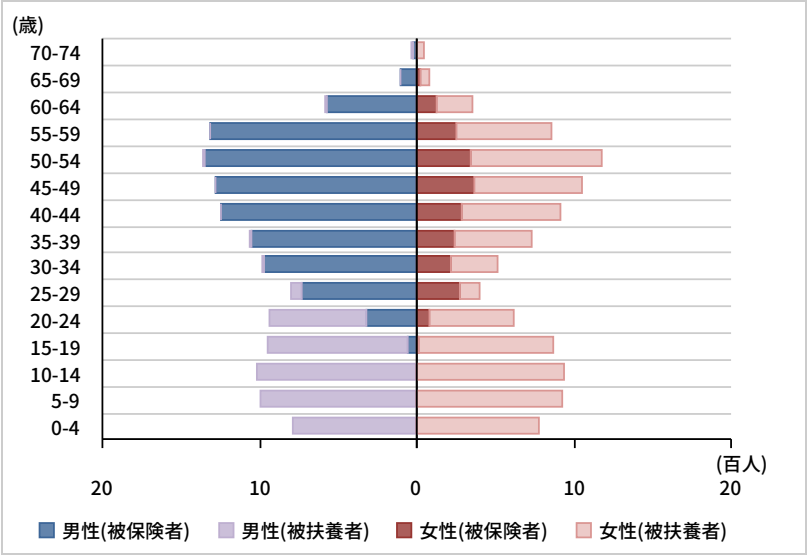
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	60352		
組合名称	住友化学健康保険組合		
形態	単一		
業種	化学工業・同類似業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	11,390名 男性80.2% (平均年齢44.2歳) * 女性19.8% (平均年齢43.1歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	23,472名	-名	-名
適用事業所数	8カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	0カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	87% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	6	4	-	-	-	-
	保健師等	14	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	8,564 / 10,091 = 84.9 %				
		被保険者	6,824 / 7,027 = 97.1 %				
		被扶養者	1,740 / 3,064 = 56.8 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	835 / 1,330 = 62.8 %				
		被保険者	830 / 1,191 = 69.7 %				
		被扶養者	5 / 139 = 3.6 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	19,064	1,674	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	30,481	2,676	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	13,852	1,216	-	-	-	-
	疾病予防費	132,023	11,591	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	195,420	17,157	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	7,864,838	690,504	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	2.48		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	56人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	323人	25～29	729人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	970人	35～39	1,052人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,243人	45～49	1,281人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,348人	55～59	1,315人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	573人	65～69	104人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	20人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	81人	25～29	274人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	221人	35～39	241人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	288人	45～49	368人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	347人	55～59	246人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	128人	65～69	20人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	783人	5～9	995人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,017人	15～19	889人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	617人	25～29	68人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	15人	35～39	7人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5人	45～49	3人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	6人	55～59	5人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	10人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	7人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	773人	5～9	927人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	937人	15～19	856人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	536人	25～29	120人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	297人	35～39	491人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	623人	45～49	684人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	835人	55～59	609人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	233人	65～69	61人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	45人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・被保険者は男性が80.2%、女性が19.8%で構成され、年代別では40・50歳代が約57%を占めている。
- ・被扶養者は配偶者が31.3%、子供が67.5%を占めている。
- ・健康保険組合には医療専門職が不在である。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
・被扶養者において特定健診・特定保健指導の受診意識が低い。	
・生活習慣病重症化予防の対象であるが、リスク認識が低いため、医療機関を受診するなど、生活習慣の改善に取り組む意識が低い。	
・人間ドックを定期的に受診し、健康状態を確認される方が少ない。	
・人間ドック・歯科検診の受診者が固定化されている。	
・婦人科健診は人間ドック受診時に合わせて実施しているため、受診機会が限られてしまう。	
・機関紙を自宅に持ち帰る方が少ないため、被扶養者が健康情報などをつかみにくい。	

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	機関紙発行による健康意識づくり（啓発）
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	ＷＥＢツールによる健康情報提供
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	健康セミナー
保健指導宣伝	後発医薬品利用促進
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	生活習慣病重症化予防：受診勧奨・保健指導（手紙・電話）
疾病予防	喫煙対策事業
その他	健康管理事業推進委員会
その他	健康管理担当者会議
予算措置なし	メンタル対策（事業主で実施）
予算措置なし	特定健診データの保険者間の連携
事業主の取組	
1	新入社員研修での健康教育
2	メンタルヘルス研修（昇進時）
3	保健師だより発行（事業主）
4	産業医による講演会
5	定期健康診断
6	特殊業務健診
7	海外赴任前・帰任後健診
8	健康診断 事後措置に伴う個別指導
9	傷病による休業者の復職支援
10	メンタルカウンセリング
11	職場巡視
12	海外職場巡視

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	5	機関紙発行による健康意識づくり(啓発)	健康啓発、健康情報、健保情報の提供(健保財政・法改正・保健事業の案内等)	全て	男女	18～74	加入者全員		機関紙「すこやか」の発行(年2回)	—	被保険者が自宅に持ち帰り、被扶養者と健康情報等の共有が必要	5
	加入者への意識づけ											
保健指導宣伝	3	WEBツールによる健康情報提供	健康への関心を高め、主体的に生活習慣病改善に取り組んでもらう	全て	男女	18～74	加入者全員		WEBツール提供ベンダーや展示会で機能説明・デモを実施	—	機能面等が充実してから導入を検討する	1
	個別の事業											
特定健康診査事業	3,4	特定健診(被保険者)	生活習慣病予防のために実施	全て	男女	18～74	被保険者		令和4年度実績 被保険者受診率97.1%	主たる事業主においては全年齢を対象に実施している(全事業主35歳以上)	—	4
	3,4	特定健診(被扶養者)	生活習慣病予防のために実施	全て	男女	40～74	被扶養者		令和4年度実績 被保険者受診率56.7%	事業主から被保険者経由で受診勧奨を実施している	・被扶養者の受診意識が低い ・無関心層への受診勧奨方法を検討する	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導(被保険者)	生活習慣の改善を働きかけ、健康意識の向上に努める	全て	男女	18～74	被保険者		令和4年度実績 特定保健指導修了者の割合:69.6%	・被保険者については35歳以上から特定保健指導を実施している(主たる事業主においては全年齢を対象に実施) ・WEBを活用した特定保健指導を実施した ・未実施の事業所へアプローチすることで受診率が向上した ・事業主が目標を設定し、コラボヘルスとして取り組んでいる	未受診者(無関心層)への受診勧奨方法を検討する	5
	4	特定保健指導(被扶養者)	生活習慣の改善を働きかけ、健康意識の向上に努める	全て	男女	40～74	被扶養者		令和4年度実績 特定保健指導修了者の割合:3.5%	—	生活習慣病予防に取り組む意識が低い	1
保健指導宣伝	5	健康セミナー	健康意識の向上	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者		年1回健康セミナー、健康イベントを実施	・各事業所の健康課題に応じたセミナーを開催している ・オンラインを活用したセミナーを開催している	—	5
	7	後発医薬品利用促進	調剤費の抑制	全て	男女	0～74	加入者全員		・ホームページにて後発医薬品利用促進を実施 ・ジェネリック医薬品差額通知を送付	・薬効別の先発医薬品使用割合を分析のうえ、ジェネリック医薬品差額通知を送付した	—	5

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	3,4	人間ドック補助	生活習慣病予防及びがんなどの疾病の早期発見	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者		令和4年度受診者数 -被保険者：1,193名 被扶養者：617名	・平成25年度より被扶養者の自己負担額を減額した ・契約医療機関外で受診しても、費用を補助している ・令和3年度より人間ドック受診時にあわせて、胃がん発生リスク軽減のため、1人1回限りピロリ菌検査費用を補助している	・オプション検査については自己負担となる ・契約医療機関が限定されている ・新型コロナウイルス感染症拡大前の受診者数まで回復していない	4
	3,4	婦人科健診	がんの早期発見	全て	女性	30～74	被保険者,被扶養者		受診者数は未集計 -おおよそ80%の方が婦人科健診を受診する見込み	・平成24年度より自己負担をなくし、全額健保負担とした ・自己負担がないため、人間ドックを受診した女性のほとんどが受診している	・人間ドック受診時にあわせての受診となるため、受診者数が限定されている ・婦人科健診が一部健診機関で受診できない ・新型コロナウイルス感染症拡大前の受診者数まで回復していない	5
	3,4	歯科健診	歯周病等の早期発見、歯科医療費の抑制	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者,被扶養者		令和4年度受診者数 -被保険者：541名 被扶養者は未集計	・被保険者は事業所で業務時間内に健診を受けることができる ・歯石、歯垢の状況により歯科保健指導を実施している ・健診結果により受診勧奨を実施している	・無料歯科検診について、機関紙やホームページで周知しているが受診率が伸びない ・新型コロナウイルス感染症拡大前の受診者数まで回復していない	3
	3,4	生活習慣病重症化予防：受診勧奨・保健指導(手紙・電話)	生活習慣病リスク保有者の中で医療機関未受診者に対して、早期の医療機関受診を促し、重症化を未然に予防する	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者		令和4年度 ・受診勧奨対象者数 177名(血糖41名、血圧136名) ・電話による受診勧奨 112名(受診済30名 未受診82名) ・受診勧奨対象者の受診状況 受診 41名、未受診 71名 受診率 37.6%	・未受診者については各事業所の産業医療スタッフより、受診勧奨を実施した ・対象者について経年で検査数値・受診状況を管理し、経年で未受診の方は各事業所の産業医療スタッフと情報を共有した ・受診勧奨し、勧奨結果について健保と事業主で共有した	医療機関未受診者の健康意識が低い	3
	5	喫煙対策事業	喫煙率の減少	一部の事業所	男女	20～74	被保険者		全事業所で実施 2022年度実績 エントリー者：16名 禁煙達成者：11名	・令和2年度より年1回から年3回募集期間を設けた ・令和3年度より「オンライン禁煙プログラムコース」を新設した ・令和4年度より「産業医からの禁煙指示による禁煙サポートプログラム」を新設した	禁煙による健康リスクの認識が低い	5
その他	1	健康管理事業推進員会	事業主との健康課題の共有	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者		・健保の情勢、財政状況報告、データヘルス計画の取り組み状況報告 ・次年度保健事業に対する意見集約等	・各課題や保健事業の取り組み等の共有化が図られている ・産業医や保健医療スタッフ、事業主の健康管理担当者との意見交換をしながら、保健事業のPDCAサイクルを実行している	—	5
	1	健康管理担当者会議	事業主との健康課題の共有	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者		・保健事業の実施状況報告、実施依頼	健保に関する各種情報の共有化が図られている	—	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
予算措置なし	5	メンタル対策 (事業主で実施)	メンタルヘルス対策	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者		- ストレスチェック等を実施	年代別・性別・事業所別などのメンタルによる傷病手当金の分析結果を事業主と共有している	—	5
	3	特定健診データの保険者間の連携	他の保険者との健診データの連携	全て	男女	40 ～ 74	被保険者		- 実績なし	—	—	1

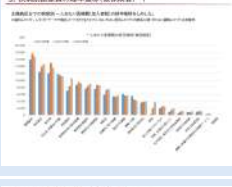
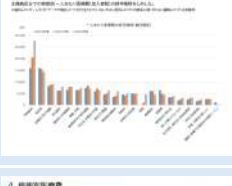
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

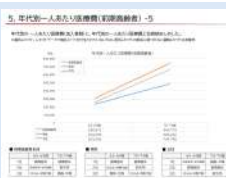
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

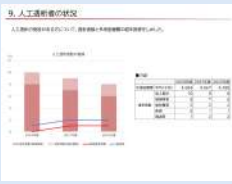
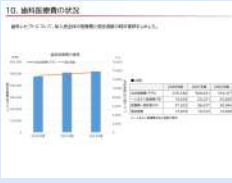
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
新入社員研修での健康教育	健康に関する自己管理意識・安全配慮義務を目的に実施	被保険者	男女	18～59	新入社員全員に対して実施	-	-	無
メンタルヘルス研修（昇進時）	ストレスに対する気づき・対処法を学習	被保険者	男女	30～59	管理職昇進時に外部講師を招き、実施	集合研修カリキュラムの一環として実施	-	無
保健師だより発行（事業主）	健康教育・啓発	被保険者	男女	18～65	不定期に発行	-	-	無
産業医による講演会	健康教育・啓発	被保険者	男女	18～65	不定期に実施	各事業所に応じた講演を実施	-	無
定期健康診断	従業員の健康管理を目的に実施	被保険者	男女	18～65	事業所内ではほぼ全員が受診している。	事業所内の診療所等で実施	事業所外で勤務されている方の受診率が低い傾向にある。	無
特殊業務健診	安衛法に基づき実施	被保険者	男女	18～65	受診率：１００％	１００％必須で実施	-	無
海外赴任前・帰任後健診	海外赴任前・帰任後に実施	被保険者	男女	18～65	受診率：１００％	１００％必須で実施	-	無
健康診断 事後措置に伴う個別指導	健診結果、治療効果の把握、生活習慣指導	被保険者	男女	18～65	各事業所の診療所にて実施	事業主の協力により、就業時間内における診察が可能	事業所外に勤務されている方への指導が十分でない。	無
傷病による休業者の復職支援	個別状況に応じた復職支援（リハビリプログラム）	被保険者	男女	18～65	ヘルスケアチームが主治医と面談のうえ、リハビリプログラムを適用可能か確認のうえ、産業医が計画を策定し、実施	・プログラムを５段階に分け、各２週間単位で実施 ・各段階の最終日には産業医と面談し、実施状況を確認	-	無
メンタルカウンセリング	メンタル不調者への対応	被保険者	男女	18～65	外部カウンセリングによるメンタル不調者との相談窓口を開設	情報保護が徹底されており、相談しやすい環境の整理	多くの事業所への展開が課題	無
職場巡視	職場環境の確認・改善	被保険者	男女	18～65	職場環境等の確認	定期的に巡視し、職場環境の確認・改善を実施	-	無
海外職場巡視	産業医による海外勤務者職場環境、健康状況の確認・改善	被保険者	男女	18～65	職場状況・健康状況を確認	産業医の視点で各状況を確認・改善策を指示	-	無

STEP 1-3 基本分析

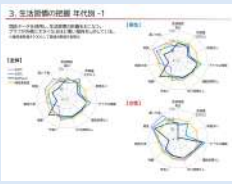
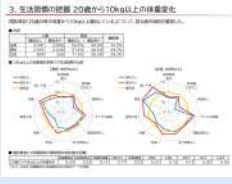
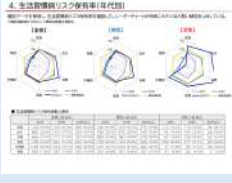
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年齢分布図	加入者構成の分析	被保険者は40代、50代が全体の57%を占めている。 被扶養者は20歳未満が全体の56%を占めている。
イ		診療区分別医療費	医療費・患者数分析	被扶養者の医科入院の割合が被保険者と比べてやや高い。
ウ		疾病別医療費の経年推移（被保険者）	医療費・患者数分析	被保険者で最も多い主傷病区分は循環器系となっている。
エ		疾病別医療費の経年推移（被扶養者）	医療費・患者数分析	被扶養者で最も多い主傷病区分は呼吸器となっている。
オ		疾病別医療費	医療費・患者数分析	疾病別に医療費として「眼」の数が多く、被保険者・被扶養者ともに多いことから仕事が原因によるものではないと推察される。（眼の上位疾患は緑内障）
カ		年代別一人あたり医療費	医療費・患者数分析	医療費は総じて前回と相違がない。 50代以降の男女ともの上位疾患は新生物となっている。

キ		年代別一人あたり医療費（被保険者）	医療費・患者数分析	若年層において消化器系疾患罹患者が多いが、指定難病の影響、実態として多い疾病は新生物となっている。
ク		年代別一人あたり医療費（被扶養者）	医療費・患者数分析	被扶養者も、風邪等の呼吸器系を除くと実態として多い疾病は新生物となっている。
ケ		年代別一人あたり医療費（前期高齢者）	医療費・患者数分析	前期高齢者の医療費については、人数が少ないとはいえ、急激に高くなっている。
コ		悪性新生物（年代別医療費）	医療費・患者数分析	40代以降の乳がんにかかる医療費の割合が高い。
サ		悪性新生物（部位別の罹患率）	医療費・患者数分析	女性の乳がんは罹患率でもトップ、男女ともに大腸がん罹患者が多い。
シ		生活習慣病の状況	医療費・患者数分析	罹患者数、医療費とも30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。
ス		メンタル系疾患の状況	医療費・患者数分析	神経性障害・ストレス障害、気分障害が上位となっている。

セ		人工透析者の状況	医療費・患者数分析	数値上は減少傾向にあるが退職や重病化(透析⇒がん・コロナ)している事例がある。新規対象者の発生をおさえる必要がある。
ソ		歯科医療費の状況	医療費・患者数分析	コロナ禍の変化による受診者増により、医療費が増加している。(罹患者割医療費額の変化は微増程度)
タ		後発医薬品使用率-1	後発医薬品分析	第二期データヘルス計画時に比べて著しく増加しており、厚生労働省の目標値である80%到達間近となっている。
チ		後発医薬品使用率-2	後発医薬品分析	60-69歳を除き、総じて使用割合は変わらない。
ツ		高額医療費	医療費・患者数分析	指定難病・コロナを除くと、新生物と心疾患系の疾病が上位となっている。(詳細分析で上位20名者の上位5疾患を分析)
テ		特定健診・特定保健指導実施率	特定健診分析	特定健診分析 被保険者の受診率は高く、被扶養者の受診率も上昇傾向となっている。 特定保健指導分析 被保険者の実施率は上昇傾向であるが、被扶養者の実施率は低い傾向となっている。
ト		特定保健指導対象者割合	特定保健指導分析	被保険者の対象者割合は減少傾向、40歳については年毎の差異が見られる。 被扶養者については、横ばいとなっている。

ナ		年齢分布図	加入者構成の分析	被保険者数は増えているものの、年齢構成は30代、40代が減って50代が増えていることから 平均年齢差以上に医療費や健診数値に影響がでる可能性がある。
ニ		健康状態の分布_全体（40代以上）	健康リスク分析	全体では、肥満率等が健保連平均より高いが男女構成比によるものである。
ヌ		健康状態の分布_男性（40代以上）	健康リスク分析	コントロール率、肥満率等健保連より低い、服薬者率は高い。
ネ		健康状態の分布_女性（40代以上）	健康リスク分析	コントロール率、肥満率等健保連よりやや低いが、服薬者率はやや高い。
ノ		健康状態の分布_経年推移	健康リスク分析	肥満率は男性は減少傾向、女性はほぼ横ばいとなっている。
ハ		服薬者の状態（血圧・血糖・脂質）	健康リスク分析	服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。
ヒ		生活習慣の把握（40代以上）	健康リスク分析	全体では、ほぼ健保連並み以下になりつつある。(第2期データヘルス計画時よりも生活習慣は総じて良好になっている。<男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等>)

フ		生活習慣の把握（年代別） 1～2	健康リスク分析	男女ともに高い「間食」、女性の「遅い夕食」が悪い傾向が高い。 喫煙率については男性・女性の各年代ともに健保連平均の7割未満となっている。
ヘ		生活習慣の経年推移	健康リスク分析	喫煙率の減少している。 歩行習慣者が増えている。
ホ		生活習慣の把握（20歳から10kg以上の体重変化）	健康リスク分析	20歳から10kg増群は、健保連並みとなっているため、注意する必要がある。
マ		生活習慣病リスク保有率（40代以上）	健康リスク分析	第2期データヘルス計画時よりリスク保有率が下がっている。
ミ		生活習慣病リスク保有率（年代別）	健康リスク分析	少人数ではあるが、女性の60代以上のリスク保有者は血糖・血圧に課題がある。
ム		生活習慣病リスク保有数の割合	健康リスク分析	総じて良いが男性のリスク保有4個の割合がやや多い。
メ		生活習慣病リスク保有数の割合（経年推移）	健康リスク分析	経年推移は、ほぼ横ばい傾向となっている。

モ		健診検査値の男女・年代別 1～3	健康リスク分析	Ⅲ度血圧者が一定数コントロールされている。
ヤ		健診検査値の男女・経年 1～3	健康リスク分析	脂質の基準範囲内値が男性・女性ともに増加している。
ユ		生活習慣の把握（保健指導レベル別）	健康リスク分析	保健指導レベルが積極的支援、動機付け支援である方は20歳からの体重変化、運動習慣なしの割合が総じて高い。
ヨ		【参考】受診勧奨者の詳細	健康リスク分析	受診勧奨ありで未受診者の方が約930名いる。
ラ		【参考】健診検査値の詳細比較	健康リスク分析	-

はじめに

■ 対象者について

レセプトデータを用いた医療費分析(Ⅰ. 加入者の医療費の状況)については、任意継続被保険者を除く、被保険者・被扶養者を分析対象とする。

健診データを用いた健康状況の分析(Ⅱ. 被保険者の健康状況)については、任意継続被保険者を除く、被保険者を分析対象とする。

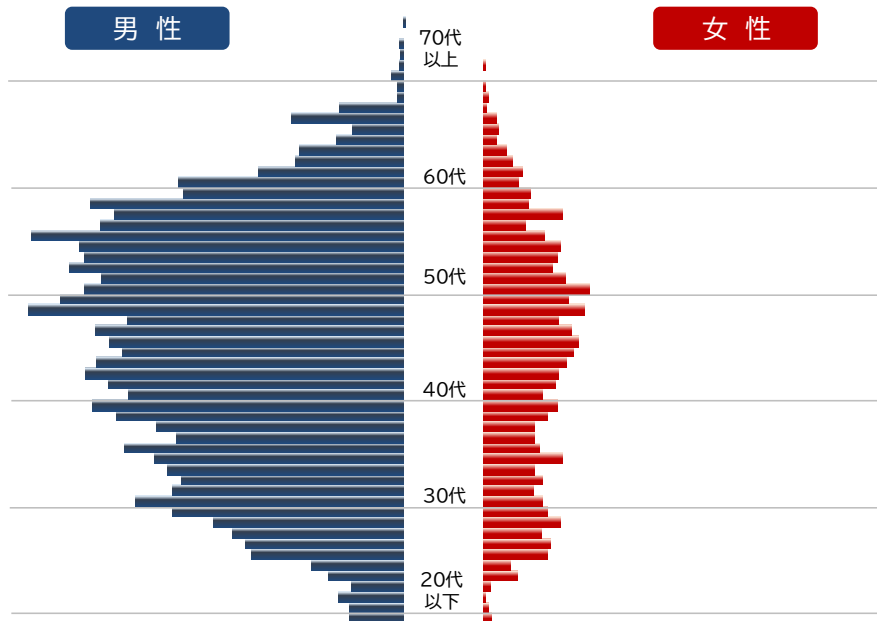
分析対象者数は、下表のとおり。

<分析対象者数>

		2020年度	2021年度	2022年度
被保険者		11,562	11,554	11,564
	男性	9,352	9,324	9,285
	女性	2,210	2,230	2,279
被扶養者		13,784	13,600	13,343
	男性	4,748	4,707	4,656
	女性	9,036	8,893	8,687
加入者		25,346	25,154	24,907
	男性	14,100	14,031	13,941
	女性	11,246	11,123	10,966

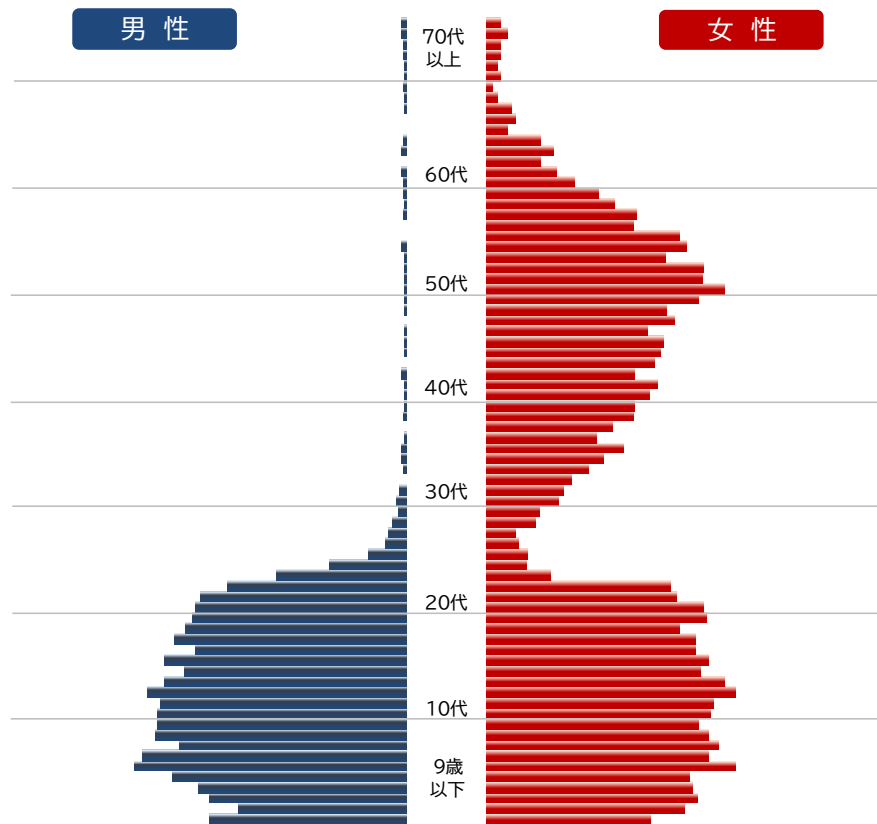
1. 年齢分布図

【被保険者】



	男性 (構成比)	女性 (構成比)	計 (構成比)
70代以上	24 (0%)	1 (0%)	25 (0%)
60代	756 (8%)	150 (7%)	906 (8%)
50代	2,627 (28%)	576 (25%)	3,203 (28%)
40代	2,605 (28%)	698 (31%)	3,303 (29%)
30代	2,171 (23%)	503 (22%)	2,674 (23%)
20代以下	1,102 (12%)	351 (15%)	1,453 (13%)
計	9,285 (100%)	2,279 (100%)	11,564 (100%)
平均年齢	44.3 歳	43.1 歳	44.1 歳

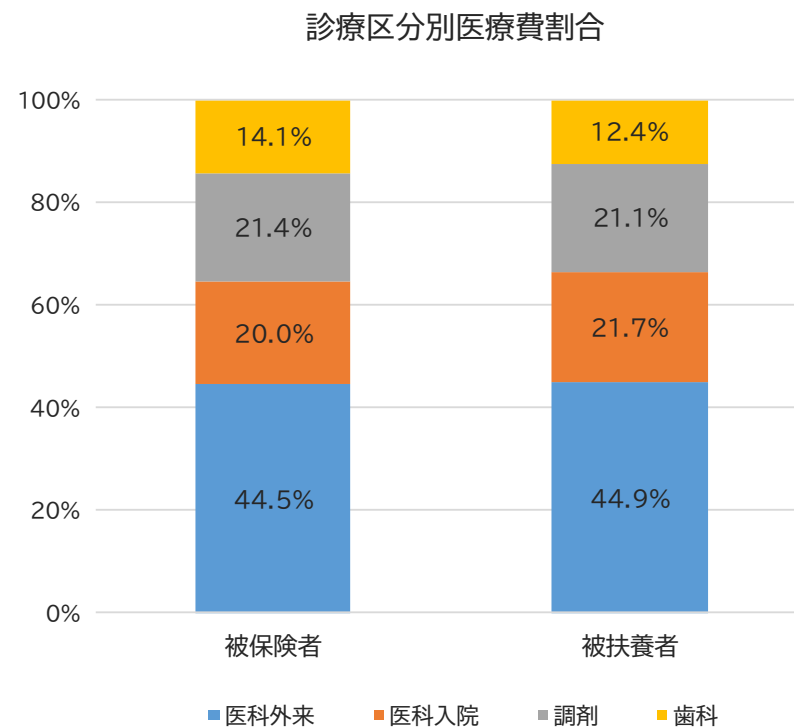
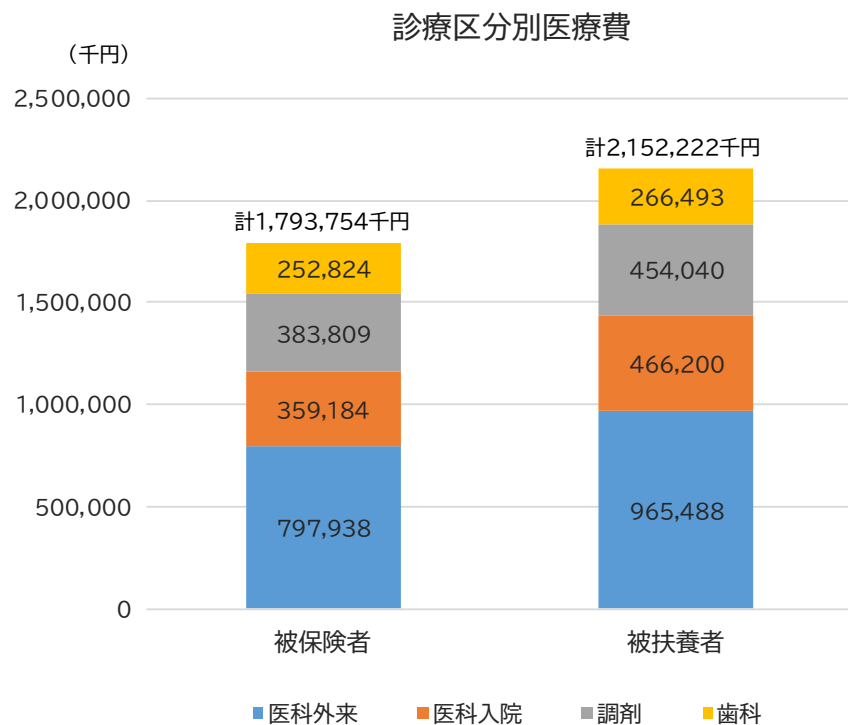
【被扶養者】



	男性 (構成比)	女性 (構成比)	計 (構成比)
70代以上	12 (0%)	76 (1%)	88 (1%)
60代	16 (0%)	357 (4%)	373 (3%)
50代	13 (0%)	1,488 (17%)	1,501 (11%)
40代	11 (0%)	1,459 (17%)	1,470 (11%)
30代	25 (1%)	937 (11%)	962 (7%)
20代	748 (16%)	755 (9%)	1,503 (11%)
20代未満	3,831 (82%)	3,615 (42%)	7,446 (56%)
計	4,656 (100%)	8,687 (100%)	13,343 (100%)

2. 診療区分別医療費

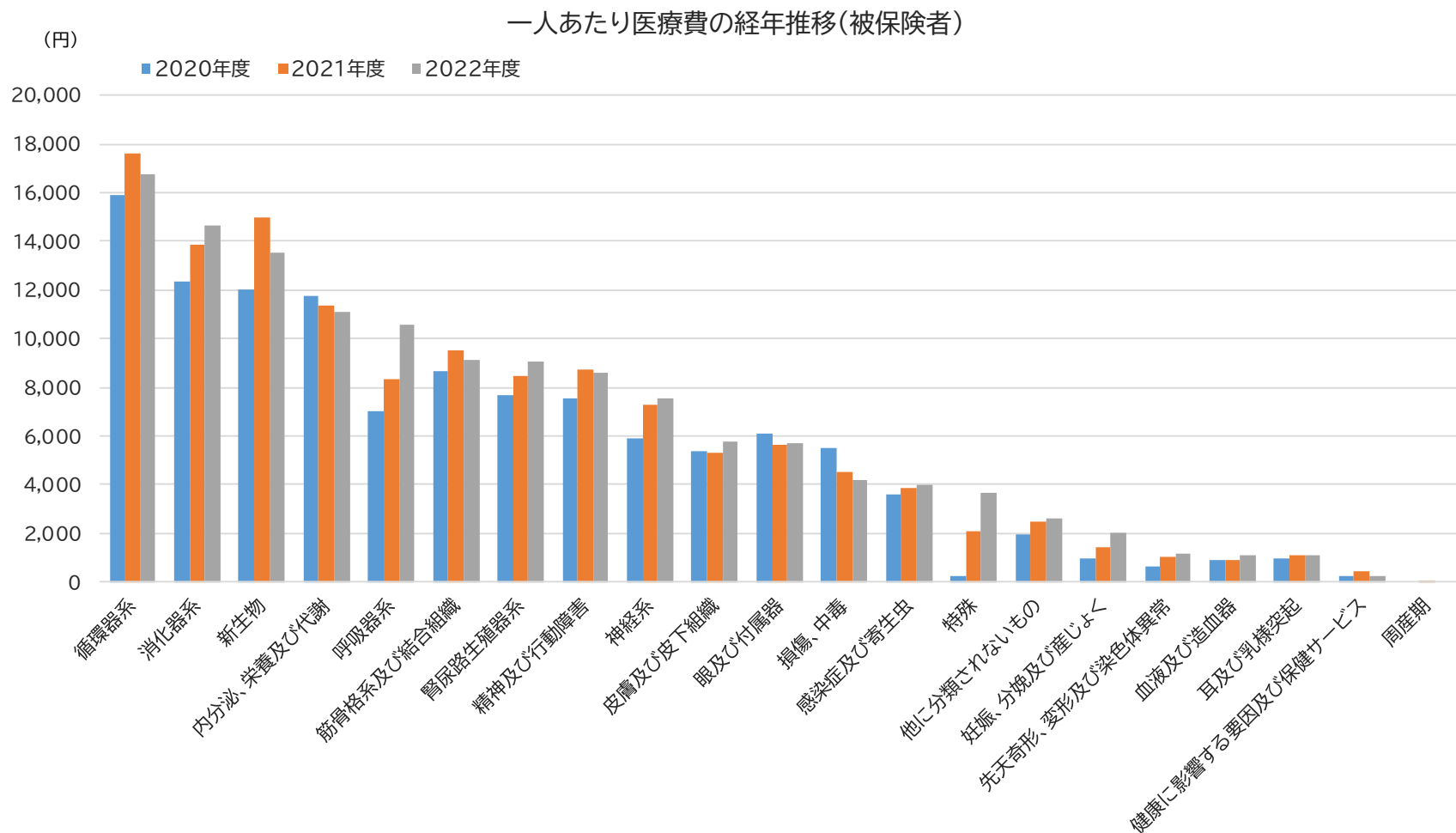
2022年度の診療区分別医療費と診療区分別医療費割合をしめした。



3. 疾病別医療費の経年推移(被保険者) -1

主傷病区分での疾病別 一人あたり医療費(加入者割)の経年推移をしめた。

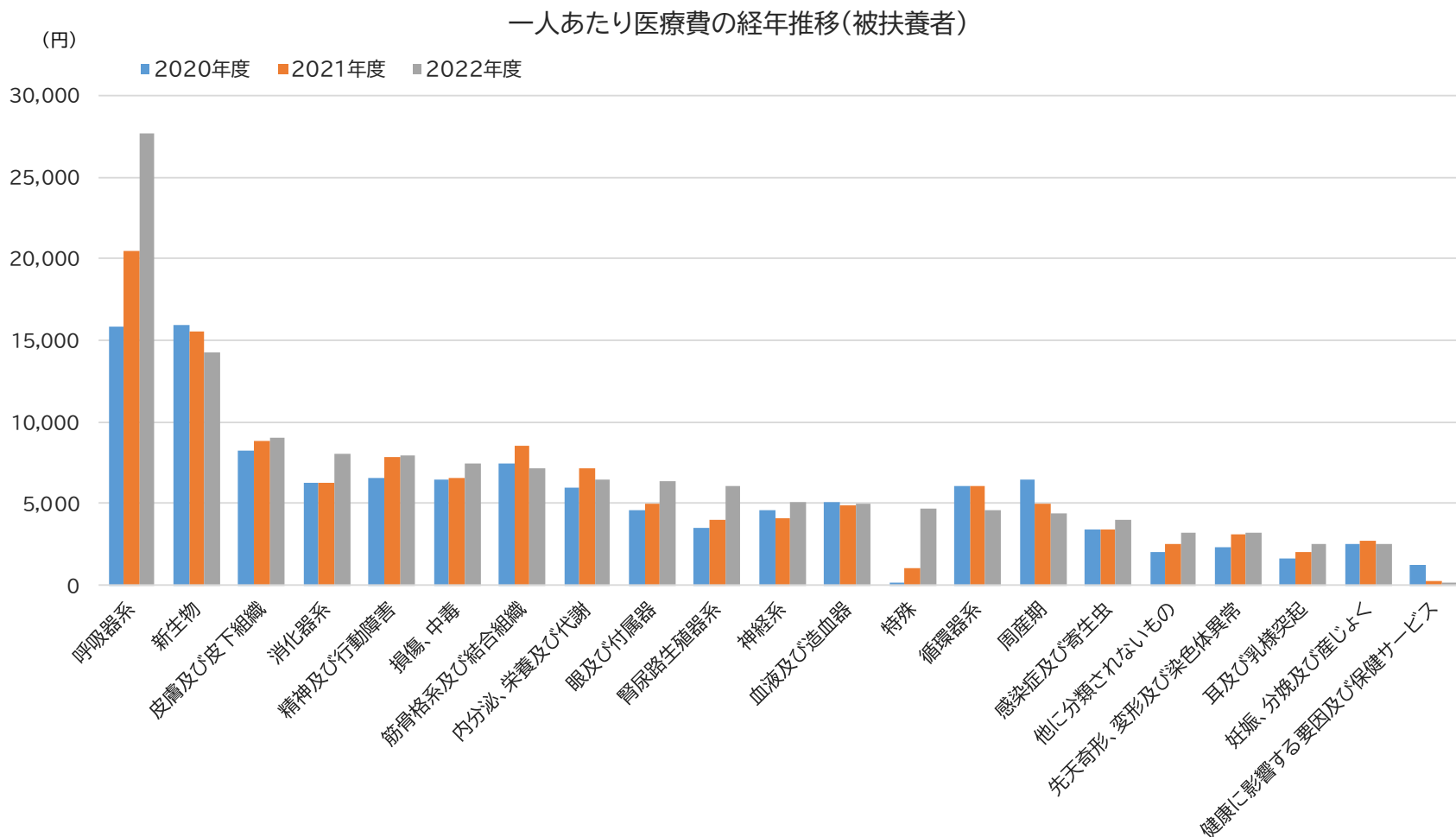
※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外



3. 疾病別医療費の経年推移(被扶養者) -2

主傷病区分での疾病別 一人あたり医療費(加入者割)の経年推移をしめた。

※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外



4. 疾病別医療費

2022年度の主傷病区分での疾病別状況をしめた。

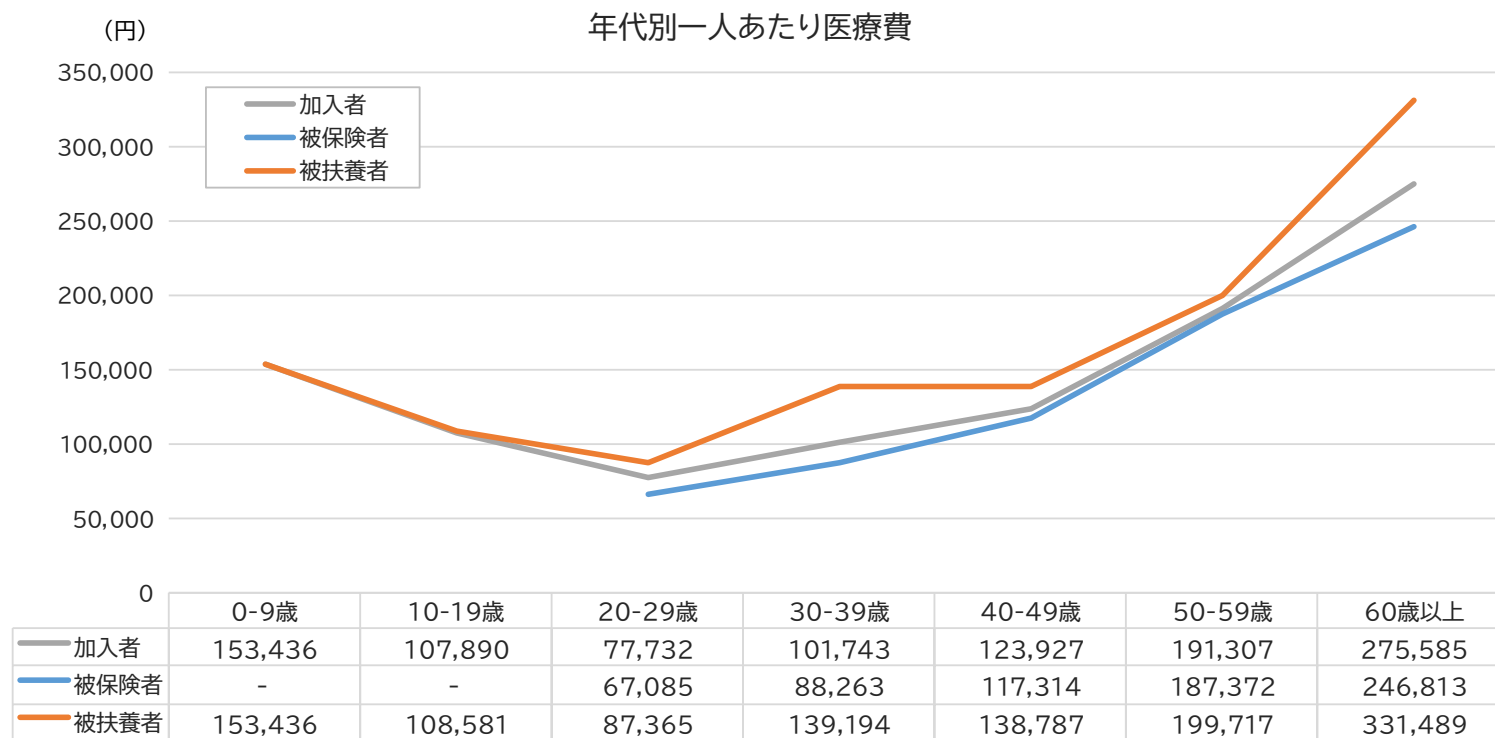
※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外

■ 1位:赤 ■ 2位:黄

	全体				被保険者				被扶養者			
	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者(円)	受診者数
感染症及び寄生虫	99,542	4,012	32,007	3,110	46,071	4,003	41,845	1,101	53,471	4,019	26,616	2,009
新生物	345,702	13,932	196,310	1,761	155,710	13,529	180,011	865	189,992	14,280	212,045	896
血液及び造血器	78,622	3,168	264,722	297	12,813	1,113	137,774	93	65,809	4,946	322,595	204
内分泌、栄養及び代謝	214,203	8,632	113,455	1,888	127,537	11,081	115,732	1,102	86,666	6,514	110,262	786
精神及び行動障害	204,445	8,239	129,396	1,580	98,612	8,568	136,205	724	105,833	7,954	123,637	856
神経系	155,005	6,247	184,970	838	86,823	7,544	185,124	469	68,182	5,125	184,775	369
眼及び付属器	150,945	6,083	20,253	7,453	65,664	5,705	22,573	2,909	85,280	6,410	18,768	4,544
耳及び乳様突起	46,308	1,866	26,768	1,730	12,437	1,081	23,600	527	33,871	2,546	28,155	1,203
循環器系	254,263	10,247	145,460	1,748	192,824	16,754	159,887	1,206	61,440	4,618	113,357	542
呼吸器系	489,904	19,743	48,429	10,116	121,964	10,597	37,772	3,229	367,940	27,654	53,425	6,887
消化器系	275,473	11,102	84,579	3,257	168,875	14,673	95,572	1,767	106,598	8,012	71,542	1,490
皮膚及び皮下組織	187,056	7,538	29,467	6,348	66,319	5,762	31,701	2,092	120,737	9,075	28,369	4,256
筋骨格系及び結合組織	200,628	8,085	64,573	3,107	105,013	9,124	65,674	1,599	95,614	7,186	63,405	1,508
腎尿路生殖系	185,330	7,469	83,557	2,218	104,531	9,083	107,764	970	80,798	6,073	64,742	1,248
妊娠、分娩及び産じょく	56,533	2,278	241,592	234	23,474	2,040	340,198	69	33,059	2,485	200,357	165
周産期	58,990	2,377	390,664	151	-	-	-	-	58,990	4,434	390,664	151
先天奇形、変形及び染色体異常	56,138	2,262	168,583	333	13,319	1,157	225,740	59	42,819	3,218	156,275	274
他に分類されないもの	73,497	2,962	30,258	2,429	30,201	2,624	33,782	894	43,296	3,254	28,206	1,535
損傷、中毒	147,995	5,964	49,981	2,961	48,321	4,199	60,705	796	99,674	7,491	46,039	2,165
健康に影響する要因及び保健サービス	4,595	185	62,942	73	2,738	238	60,851	45	1,857	140	66,304	28
特殊	104,803	4,224	28,030	3,739	41,774	3,630	26,795	1,559	63,029	4,737	28,912	2,180

5. 年代別一人あたり医療費 -1

年代別の一人あたり医療費(加入者割)と、加入者全体の一人あたり医療費上位疾病をしめた。
 ※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外



※15-19歳の被保険者は、20-29歳に含む。

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	新生物	新生物	循環器系
2位	周産期	血液・造血器・免疫機構	消化器系	腎尿路生殖器等	消化器系	循環器系	新生物
3位	皮膚及び皮下組織	損傷・中毒	精神・行動	妊娠・分娩	呼吸器系	筋骨格系・結合組織	内分泌・栄養代謝

5. 年代別一人あたり医療費 -2

加入者全体の男女別一人あたり医療費(加入者割)上位疾病をしめした。

※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外

■ 加入者全体(再掲)

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	新生物	新生物	循環器系
2位	周産期	血液・造血器・免疫機構	消化器系	腎尿路生殖器系	消化器系	循環器系	新生物
3位	皮膚及び皮下組織	損傷・中毒	精神・行動	妊娠・分娩	呼吸器系	筋骨格系・結合組織	内分泌・栄養代謝

■ 男性

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	消化器系	呼吸器系	消化器系	循環器系	循環器系
2位	周産期	血液・造血器・免疫機構	呼吸器系	消化器系	呼吸器系	新生物	内分泌・栄養代謝
3位	皮膚及び皮下組織	新生物	損傷・中毒	新生物	内分泌・栄養代謝	消化器系	新生物

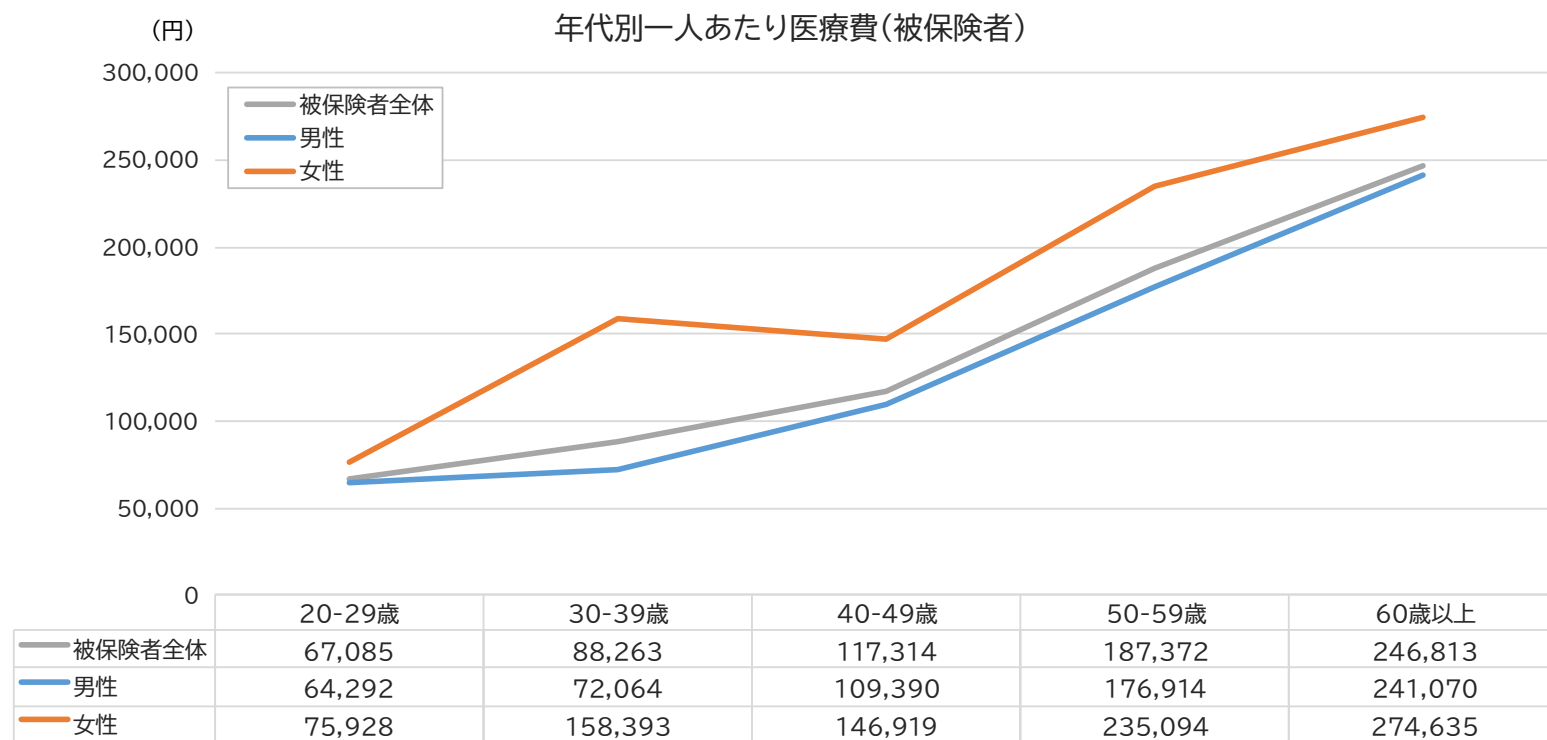
■ 女性

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	精神・行動	妊娠・分娩	新生物	新生物	循環器系
2位	周産期	損傷・中毒	呼吸器系	腎尿路生殖器系	腎尿路生殖器系	筋骨格系・結合組織	新生物
3位	皮膚及び皮下組織	皮膚及び皮下組織	腎尿路生殖器系	呼吸器系	呼吸器系	眼及び付属器	筋骨格系・結合組織

5. 年代別一人あたり医療費(被保険者) -3

年代別の一人あたり医療費(加入者割)と、年代別の一人あたり医療費上位疾病をしめした。

※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外



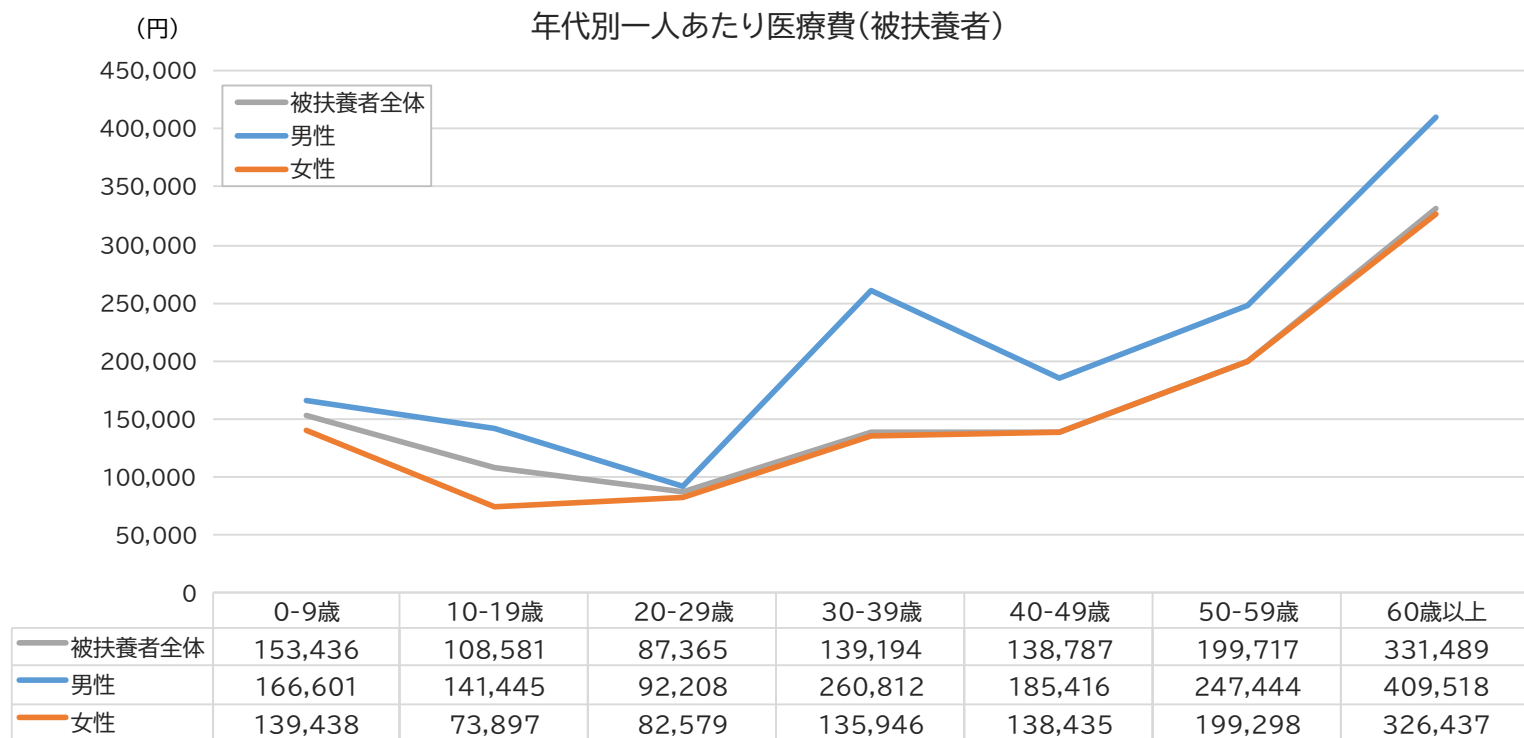
※15-19歳の被保険者は、20-29歳に含む。

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	消化器系	呼吸器系	消化器系	循環器系	循環器系
2位	呼吸器系	新生物	呼吸器系	新生物	内分泌・栄養代謝
3位	皮膚及び皮下組織	消化器系	新生物	消化器系	新生物

5. 年代別一人あたり医療費(被扶養者) -4

年代別の一人あたり医療費(加入者割)と、年代別の一人あたり医療費上位疾病をしめした。

※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外

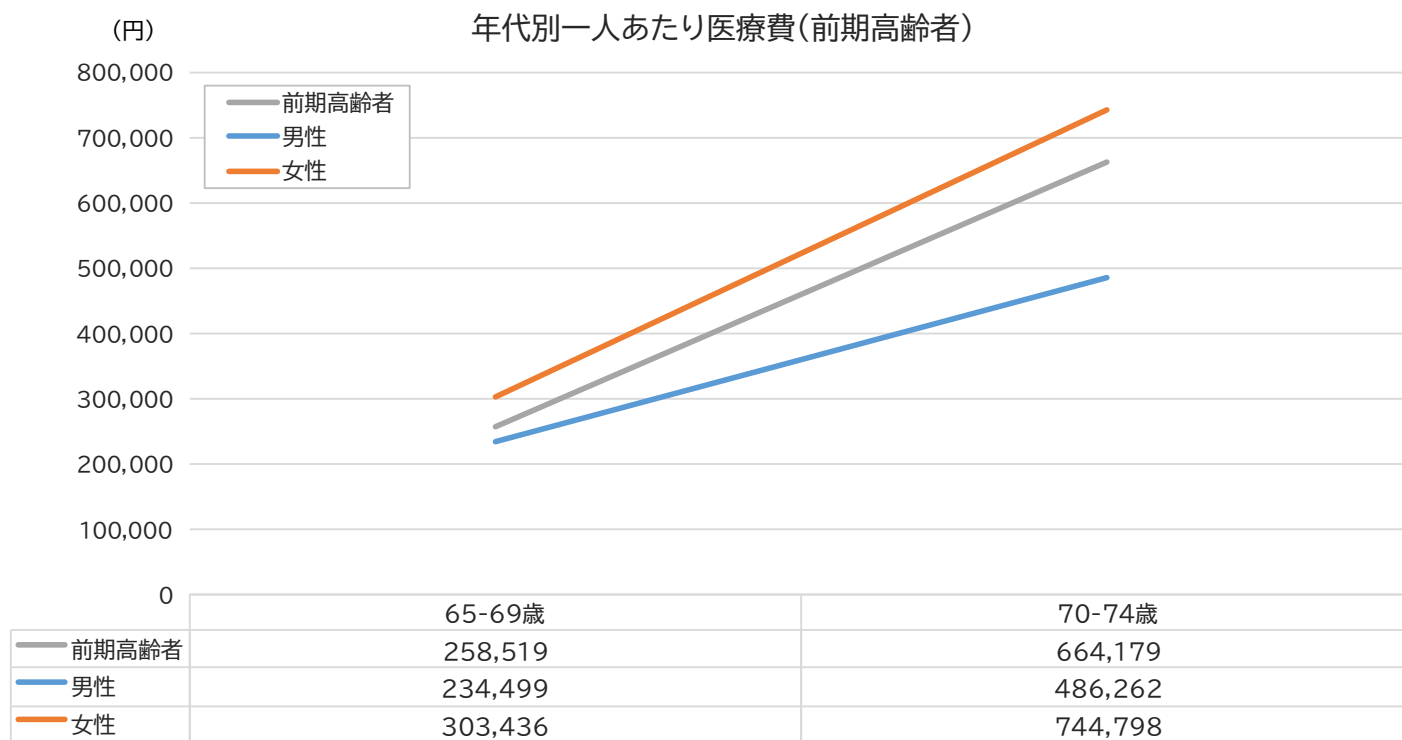


	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
1位	呼吸器系	呼吸器系	呼吸器系	妊娠・分娩	新生物	新生物	新生物
2位	周産期	血液・造血器・免疫機構	精神・行動	腎尿路生殖器系	呼吸器系	筋骨格系・結合組織	循環器系
3位	皮膚及び皮下組織	損傷・中毒	神経系	呼吸器系	腎尿路生殖器系	眼及び付属器	消化器系

5. 年代別一人あたり医療費(前期高齢者) -5

年代別の一人あたり医療費(加入者割)と、年代別の一人あたり医療費上位疾病をしめした。

※歯科レセプト、レセプトデータで病名コードが付与されていないもの、医科レセプトの病名に紐づかない調剤レセプトは対象外



■ 前期高齢者全体

	65-69歳	70-74歳
1位	循環器系	循環器系
2位	筋骨格系・結合組織	新生物
3位	内分泌・栄養代謝	損傷・中毒

■ 男性

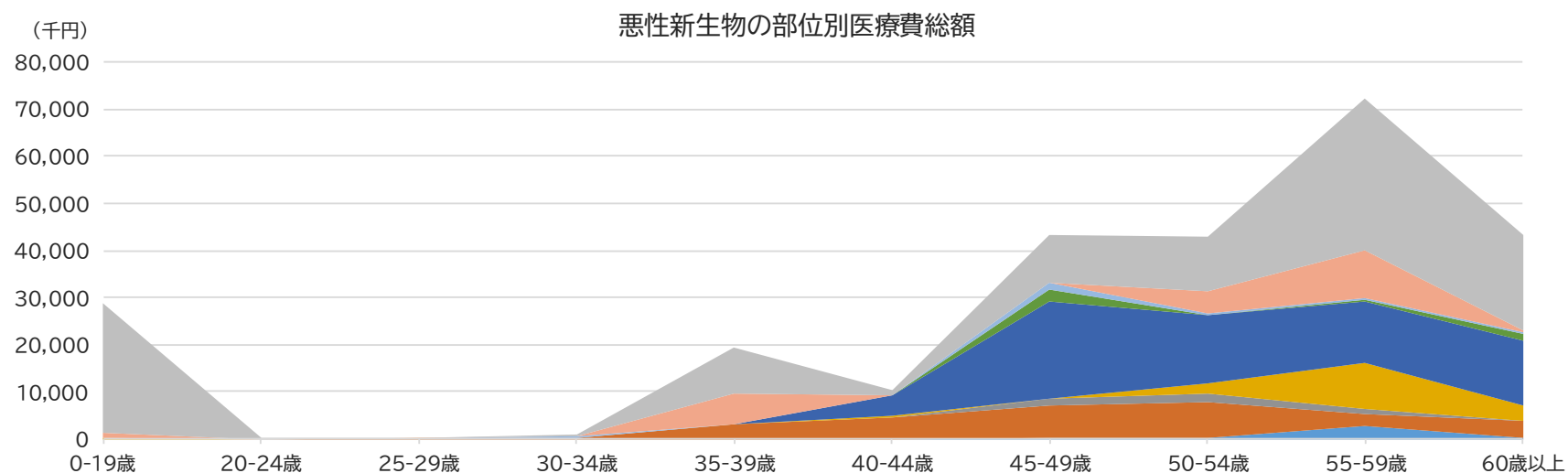
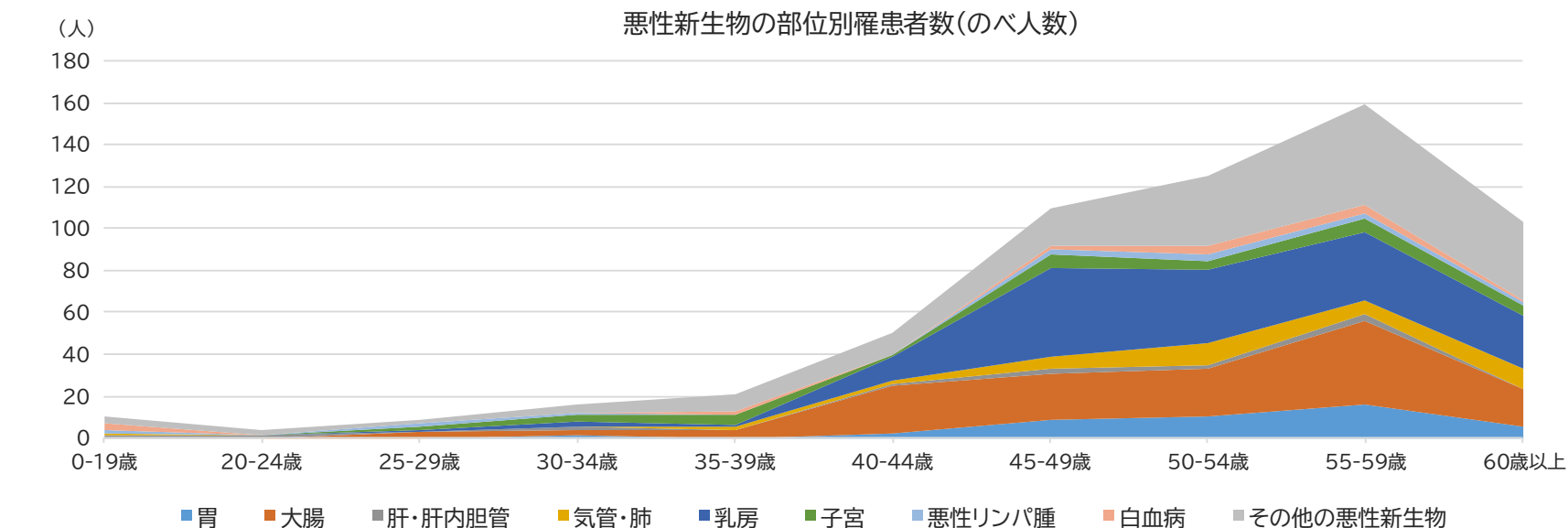
	65-69歳	70-74歳
1位	循環器系	循環器系
2位	内分泌・栄養代謝	新生物
3位	精神・行動	内分泌・栄養代謝

■ 女性

	65-69歳	70-74歳
1位	筋骨格系・結合組織	損傷・中毒
2位	循環器系	循環器系
3位	内分泌・栄養代謝	新生物

6. 悪性新生物(年代別医療費) -1

主傷病区分で抽出した悪性新生物の、部位別罹患者数および医療費総額をしめした。



※良性新生物(腫瘍)およびその他の新生物(腫瘍)は対象外。

6. 悪性新生物(年代別医療費) -1

主傷病区分で抽出した悪性新生物の、部位別罹患者数および医療費総額をしめした。

■ 罹患者数

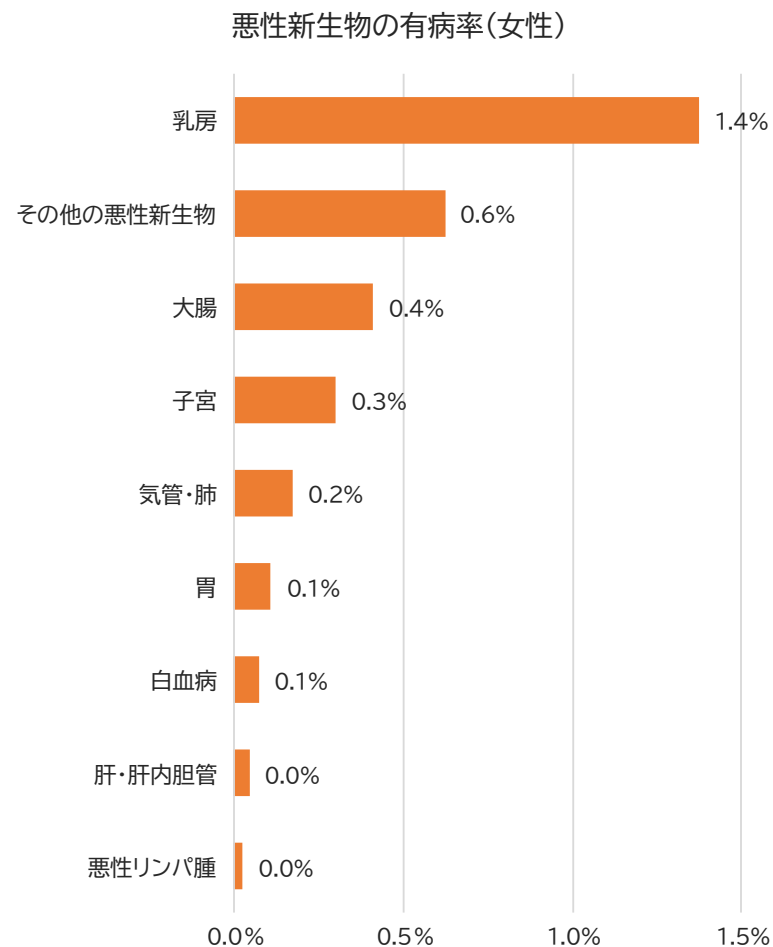
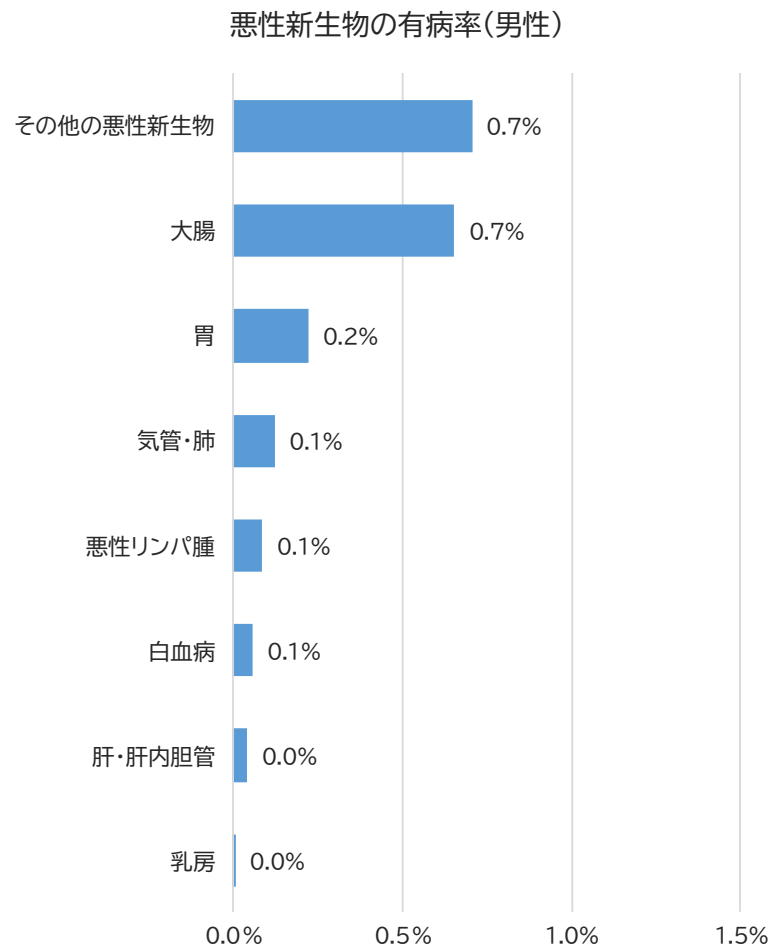
	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
胃	0	0	0	1	0	2	9	10	16	5
大腸	0	0	3	3	4	23	22	23	40	18
肝・肝内胆管	1	1	0	1	0	1	2	2	3	0
気管・肺	1	0	0	0	1	1	6	10	7	10
乳房	0	0	1	3	1	12	42	35	32	25
子宮	0	0	1	3	5	1	7	4	7	5
悪性リンパ腫	2	0	2	1	0	0	2	4	2	2
白血病	3	0	0	0	2	0	2	4	4	1
その他の悪性新生物	3	3	2	4	8	10	18	33	48	37
計	10	4	9	16	21	50	110	125	159	103

■ 医療費(千円)

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
胃	0	0	0	23	0	28	296	276	2,770	147
大腸	0	0	119	46	3,151	4,577	6,761	7,400	2,680	3,720
肝・肝内胆管	32	32	0	29	0	31	1,427	1,831	1,039	0
気管・肺	16	0	0	0	5	156	196	2,307	9,740	3,253
乳房	0	0	6	84	11	4,513	20,559	14,344	13,108	13,905
子宮	0	0	12	35	114	61	2,539	53	273	1,394
悪性リンパ腫	60	0	28	388	0	0	1,449	329	215	321
白血病	1,289	0	0	0	6,480	0	89	4,787	10,173	440
その他の悪性新生物	27,369	164	182	498	9,495	1,014	9,946	11,735	32,197	20,141
計	28,767	196	347	1,103	19,255	10,378	43,263	43,063	72,196	43,323

6. 悪性新生物(部位別の罹患率) -2

主傷病区分で抽出した悪性新生物の部位別罹患率を確認した。



※良性新生物(腫瘍)およびその他の新生物(腫瘍)は対象外

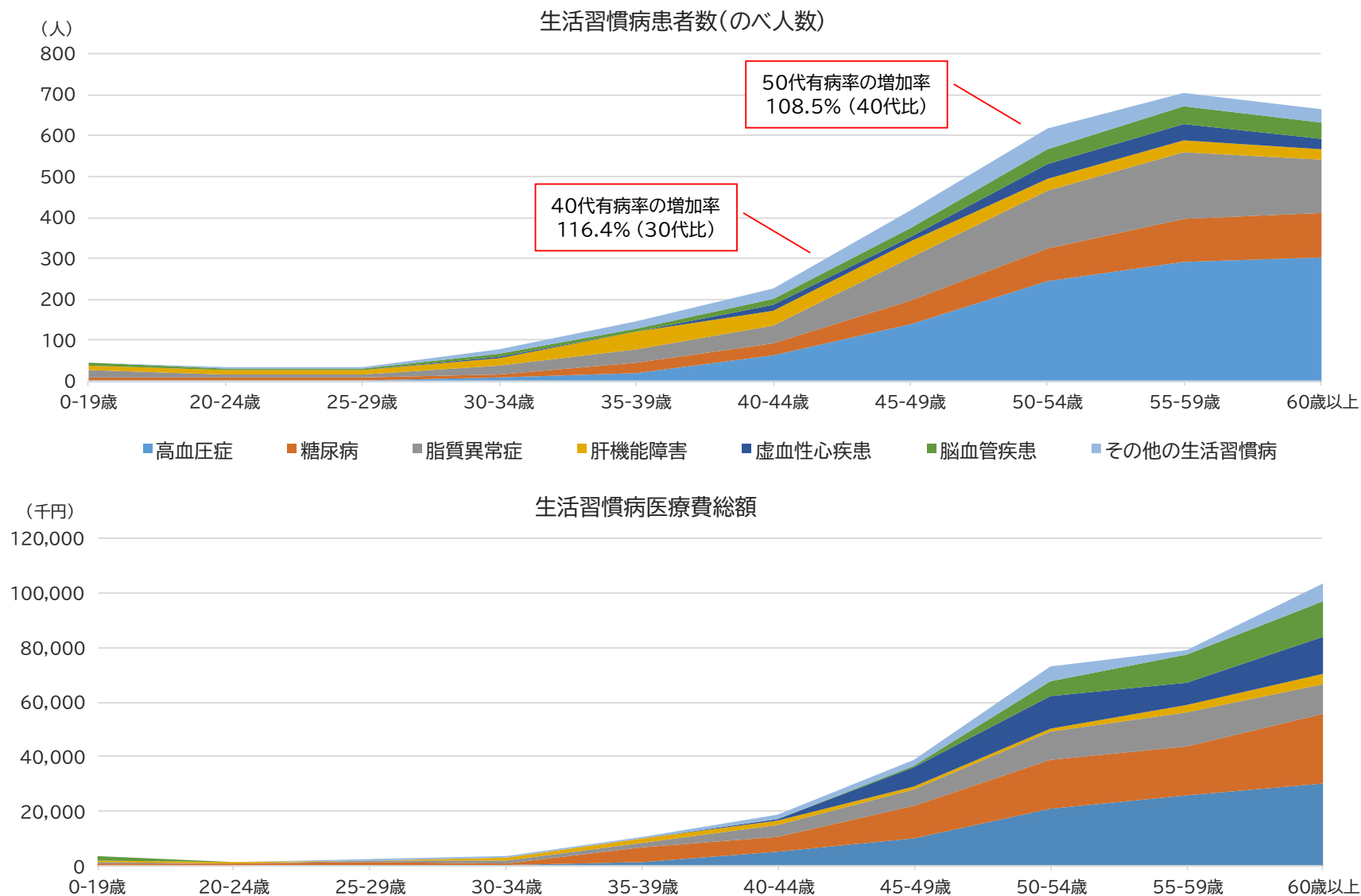
6. 悪性新生物(部位別の罹患率) -2

主傷病区分で抽出した悪性新生物の部位別罹患率を確認した。

	男性			女性		
	罹患者数	分母	罹患率	罹患者数	分母	罹患率
胃	31	13,891	0.2%	12	10,923	0.1%
大腸	91	13,891	0.7%	45	10,923	0.4%
肝・肝内胆管	6	13,891	0.0%	5	10,923	0.0%
気管・肺	17	13,891	0.1%	19	10,923	0.2%
乳房	1	13,891	0.0%	150	10,923	1.4%
子宮	-	-	-	33	10,923	0.3%
悪性リンパ腫	12	13,891	0.1%	3	10,923	0.0%
白血病	8	13,891	0.1%	8	10,923	0.1%
その他の悪性新生物	98	13,891	0.7%	68	10,923	0.6%
計	264	13,891	1.9%	343	10,923	3.1%

7. 生活習慣病の状況

主傷病区分で抽出した生活習慣病の、部位別罹患者数および医療費総額をしめした。



7. 生活習慣病の状況

主傷病区分で抽出した生活習慣病の、部位別罹患者数および医療費総額をしめした。

■ 罹患者数

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
高血圧症	3	3	3	9	21	65	138	243	291	301
糖尿病	6	6	6	9	23	28	60	82	107	111
脂質異常症	19	6	7	19	34	42	103	140	161	129
肝機能障害	10	12	10	20	42	38	43	31	31	27
虚血性心疾患	2	1	2	2	1	14	11	33	38	25
脳血管疾患	4	2	2	7	7	13	20	38	45	38
その他の生活習慣病	3	4	5	13	19	25	42	49	30	35
計	47	34	35	79	147	225	417	616	703	666

■ 医療費(千円)

	0-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60歳以上
高血圧症	62	37	180	528	1,248	5,168	10,099	20,867	25,909	30,170
糖尿病	998	1,013	1,394	475	5,464	5,239	12,139	17,962	17,937	25,511
脂質異常症	611	90	225	795	1,883	4,667	5,528	10,439	12,673	10,673
肝機能障害	261	189	184	1,121	1,269	1,542	1,429	1,185	2,558	3,843
虚血性心疾患	20	6	82	25	15	340	6,776	11,836	7,900	13,821
脳血管疾患	1,567	89	78	321	125	261	958	5,179	10,277	12,969
その他の生活習慣病	42	139	182	239	764	1,620	2,139	5,789	1,962	6,533
計	3,562	1,564	2,324	3,505	10,768	18,837	39,067	73,257	79,215	103,520

8. メンタル系疾患の状況

主傷病区分でのメンタル系疾患の状況をしめした。

■ 1位:赤 ■ 2位:黄

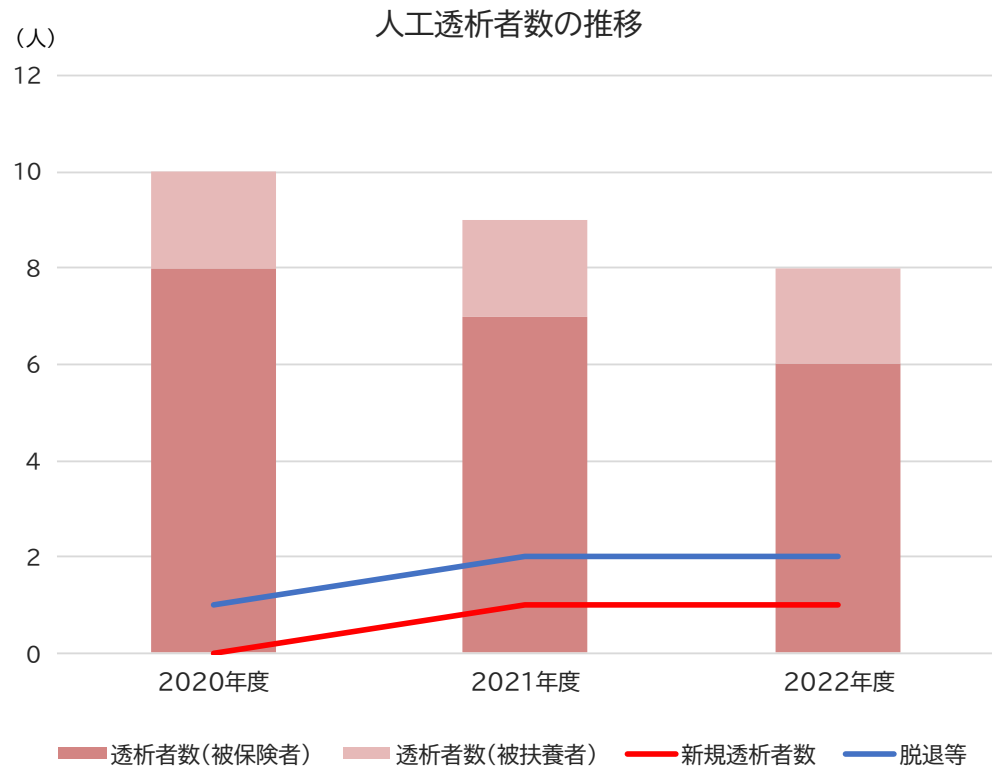
	全体				被保険者				被扶養者			
	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数	医療費合計 (千円)	一人あたり 医療費(円)	医療費 ÷受診者 (円)	受診者数
血管性及び詳細不明の認知症	96	4	23,920	4	61	5	61,250	1	34	3	11,477	3
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,076	124	123,043	25	2,715	236	129,262	21	362	27	90,390	4
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	36,423	1,468	449,671	81	12,505	1,087	367,782	34	23,919	1,798	508,910	47
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	73,372	2,957	142,469	515	51,654	4,488	161,420	320	21,717	1,632	111,370	195
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	49,961	2,013	68,912	725	28,309	2,460	75,491	375	21,652	1,627	61,864	350
知的障害<精神遅滞>	395	16	23,229	17	3	0	2,880	1	392	29	24,501	16
その他の精神及び行動の障害	42,826	1,726	114,202	375	4,081	355	120,034	34	38,745	2,912	113,621	341

※一人あたり医療費は加入者割を使用

分類	主な病気
血管性及び詳細不明の認知症	血管性認知症、詳細不明の認知症など
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール、麻薬・覚醒剤、睡眠剤などの急性中毒、依存症候群、離脱状態、精神病性障害など
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症、持続性妄想性障害、急性一過性精神病性障害、感応性妄想性障害など
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	躁うつ病、反復性うつ病性障害、持続性気分[感情]障害など
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	恐怖症性不安障害、パニック障害、強迫性障害、適応障害、外傷後ストレス障害(PTSD)など
知的障害<精神遅滞>	軽度～最重度の知的障害など
その他の精神及び行動の障害	アルツハイマー病認知症、摂食障害、人格障害、性同一性障害、多動性障害、チック障害など

9. 人工透析者の状況

人工透析の受診がある方について、透析者数と外来医療費の経年推移をしめした。

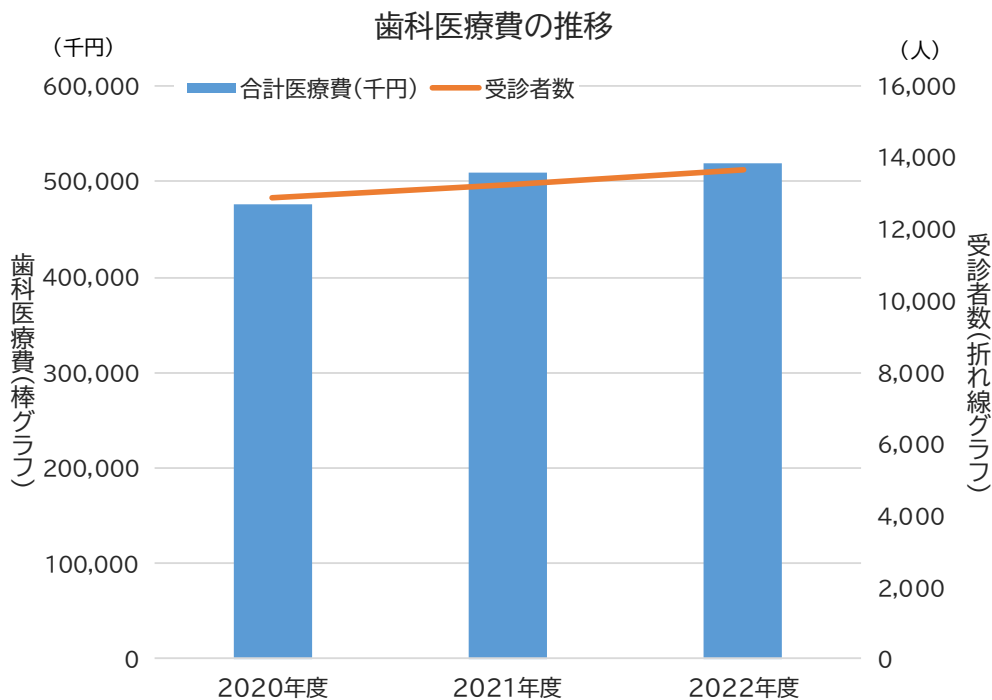


■ 内訳

		2020年度	2021年度	2022年度
外来医療費	平均(千円)	4,584	4,067	4,388
透析者数	加入者計	10	9	8
	被保険者	8	7	6
	被扶養者	2	2	2
	新規	0	1	1
	脱退等	1	2	2

10. 歯科医療費の状況

歯科レセプトについて、加入者全体の医療費と受診者数の経年推移をしめた。



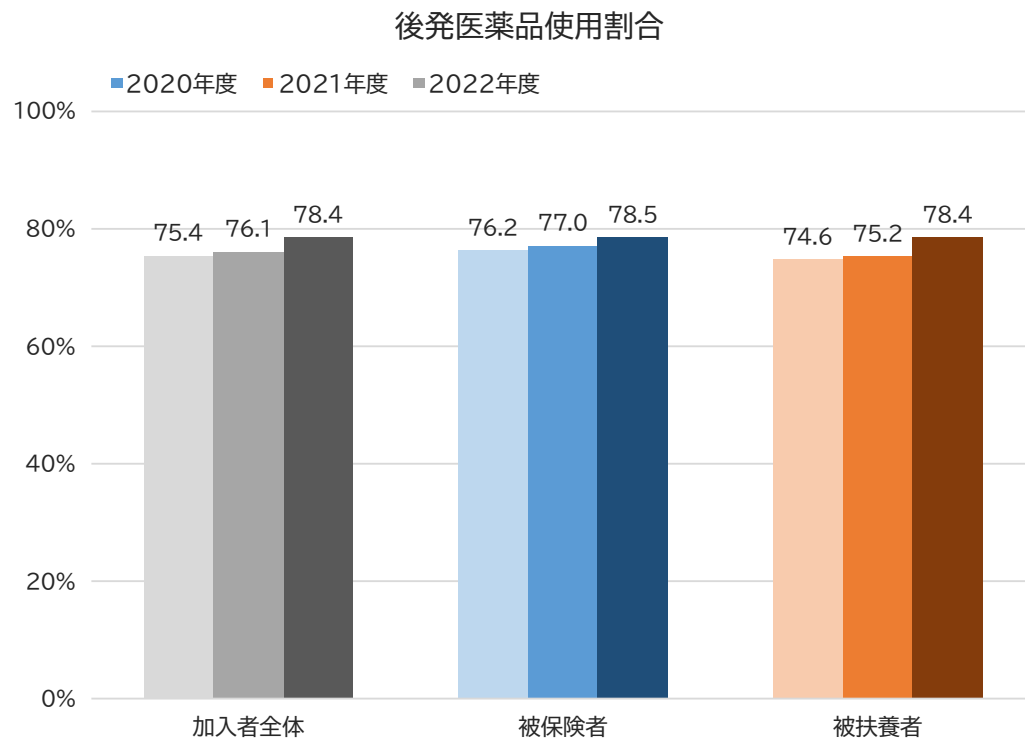
■ 内訳

	2020年度	2021年度	2022年度
合計医療費(千円)	476,582	508,631	519,317
一人あたり医療費(円)	18,803	20,221	20,850
医療費÷受診者(円)	37,022	38,437	38,045
受診者数	12,873	13,233	13,650

※一人あたり医療費は加入者割を使用

11. 後発医薬品使用率 -1

被保険者、被扶養者別に後発医薬品の使用割合をしめした。



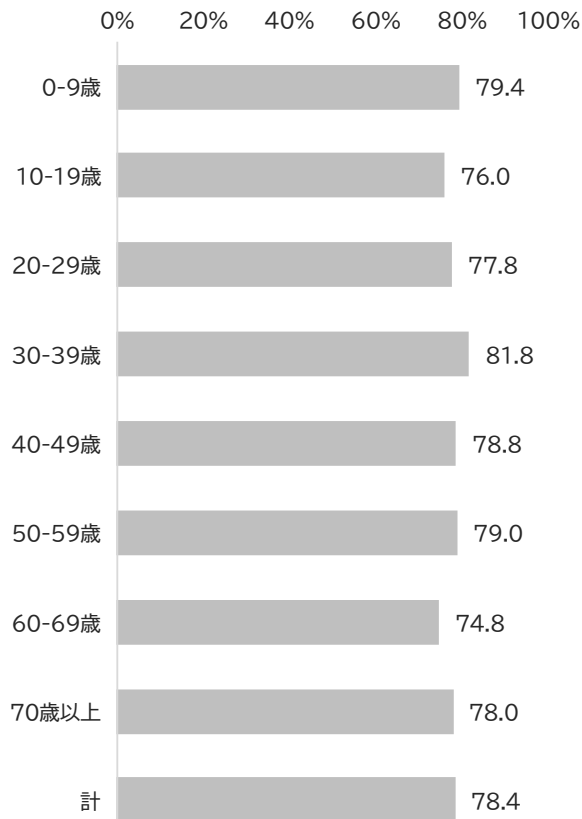
■ 内訳

	2020年度	2021年度	2022年度
加入者全体	75.4%	76.1%	78.4%
被保険者	76.2%	77.0%	78.5%
被扶養者	74.6%	75.2%	78.4%

11. 後発医薬品使用率 -2

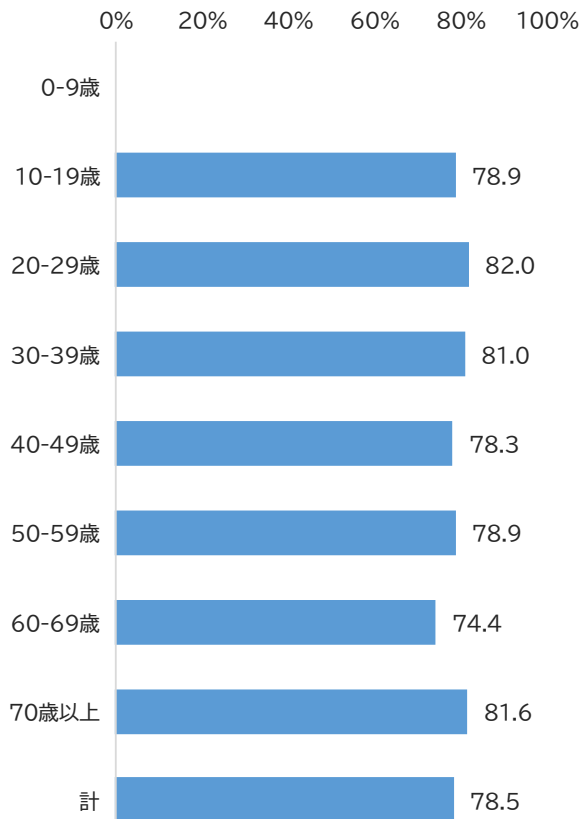
年代別に後発医薬品の使用割合をしめした。

加入者全体



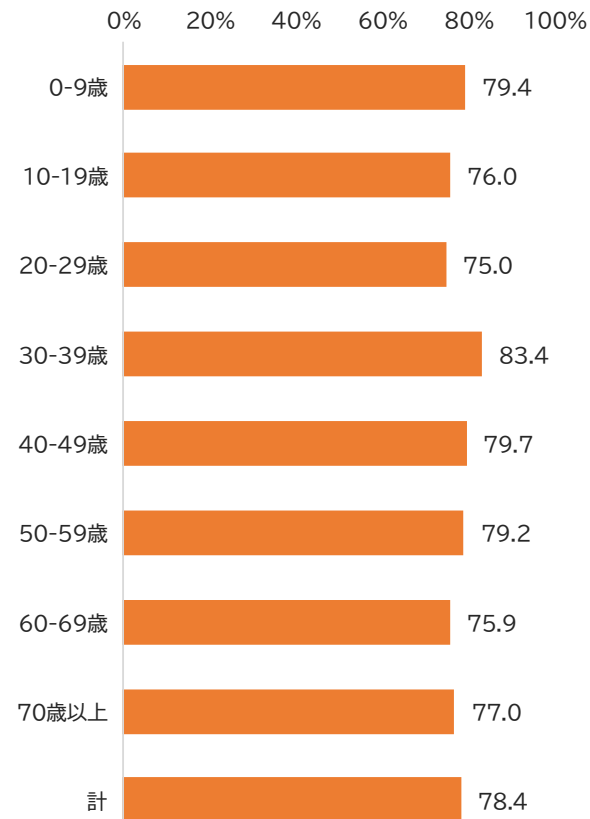
前期高齢者詳細(加入者)
65-74歳 77.7%

被保険者



前期高齢者詳細(被保険者)
65-74歳 77.7%

被扶養者



前期高齢者詳細(被扶養者)
65-74歳 77.7%

12. 高額医療費

年間医療費の高額順に、上位20位をしめした。

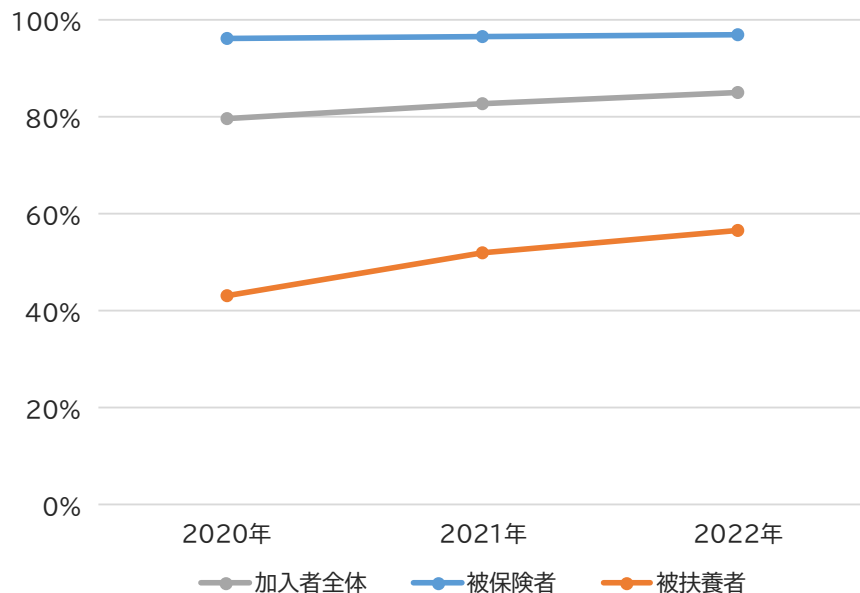
順位	年間医療費(円)	医療費(外来)	医療費(入院)	医療費(調剤)	医療費(歯科)	年間医療費1位病名(ICD10)	指定難病
1	48,336,770	121,050	0	48,208,570	7,150	D67:遺伝性第Ⅸ因子欠乏症	
2	27,428,270	417,940	26,925,660	7,530	77,140	C749:副腎, 部位不明	
3	20,529,030	12,457,710	0	8,045,620	25,700	G360:視神経脊髄炎 [デビック<Devic>病]	
4	16,918,190	832,940	632,380	15,393,510	59,360	A310:肺非結核性抗酸菌感染症	
5	11,760,495	1,000	11,746,685	0	12,810	I219:急性心筋梗塞, 詳細不明	
6	11,274,265	0	11,232,905	0	41,360	I460:蘇生に成功した心停止	
7	11,009,775	0	10,975,335	0	34,440	E713:脂肪酸代謝障害	★
8	10,778,140	10,770,230	0	0	7,910	D898:その他の明示された免疫機構の障害, 他に分類されないもの	★
9	10,686,632	5,878,440	4,595,842	189,220	23,130	C250:腭頭部	
10	10,610,620	1,033,460	9,524,140	53,020	0	E618:その他の明示された栄養元素欠乏症	
11	9,552,880	0	9,552,880	0	0	P219:出生時仮死, 詳細不明	
12	9,423,156	0	9,423,156	0	0	E46:詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	
13	9,063,220	112,660	8,725,650	224,910	0	G408:その他のてんかん	★
14	8,193,500	1,969,350	5,959,050	63,010	202,090	C349:気管支又は肺, 部位不明	
15	8,022,462	63,170	7,867,822	78,330	13,140	S7200:大腿骨頸部骨折 閉鎖性	
16	7,994,297	132,240	7,734,447	81,690	45,920	I210:前壁の急性貫壁性心筋梗塞	
17	7,720,130	6,464,770	1,140,220	76,020	39,120	C505:乳房下外側4分の1	
18	7,712,525	35,210	7,677,315	0	0	I639:脳梗塞, 詳細不明	
19	7,242,994	5,499,220	1,058,104	629,760	55,910	N189:慢性腎臓病, 詳細不明	
20	7,221,650	308,870	0	6,852,000	60,780	C56:卵巣の悪性新生物<腫瘍>	

13. 特定健診・特定保健指導実施率

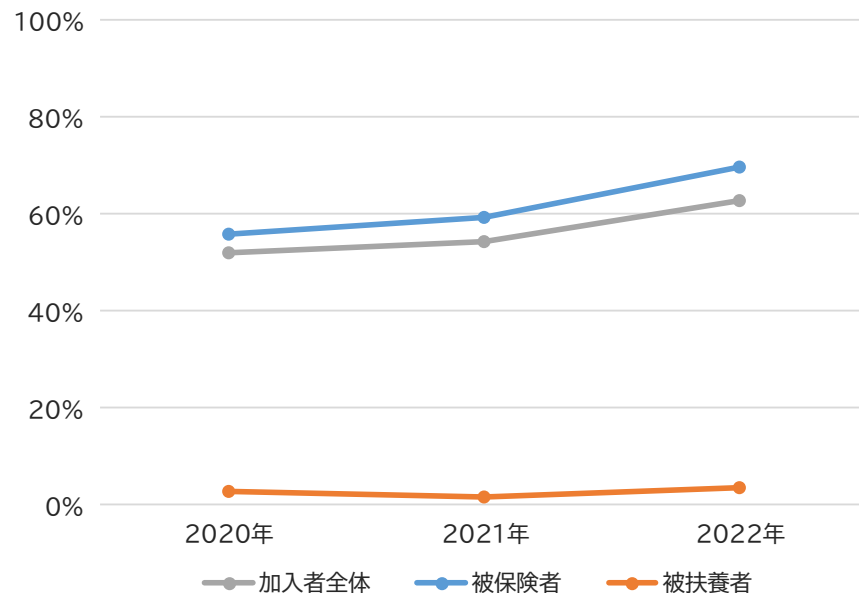
特定健診、特定保健指導実施率の経年推移をしめした。

※図表の西暦は厚労省への報告年

特定健診実施率



特定保健指導実施率



■ 肥満解消率(2021-2022年度)

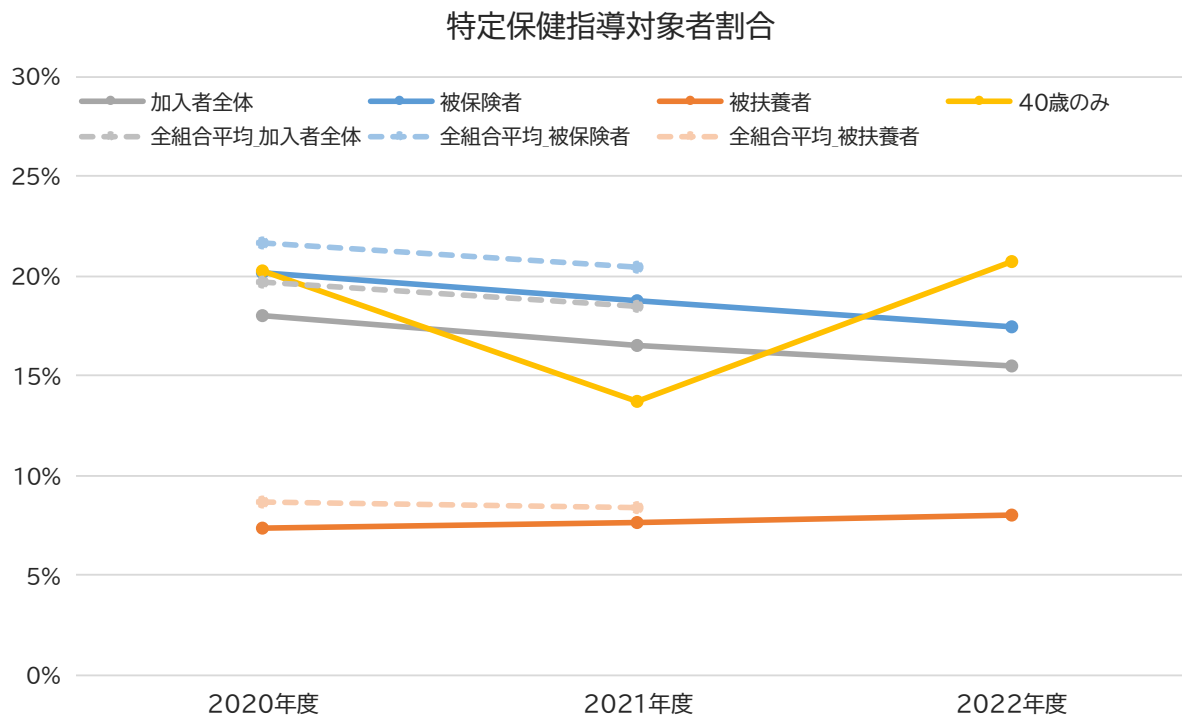
分母	分子	割合
2,955	348	11.8%

※肥満解消率: 特定健診の2年連続受診者で、1年目に服薬の有無を除いて腹囲・BMIが一定の基準以上の者のうち、2年目は服薬の有無を除いて腹囲・BMIが一定の基準未満の者の割合。貴組合での特定健診対象者除外については考慮していない。

14. 特定保健指導対象者割合

被保険者・被扶養者別、特定保健指導対象となる40歳の特定保健指導対象者割合をしめした。

※健診問診データより判定したものであり、貴組合での対象者除外については考慮していない。

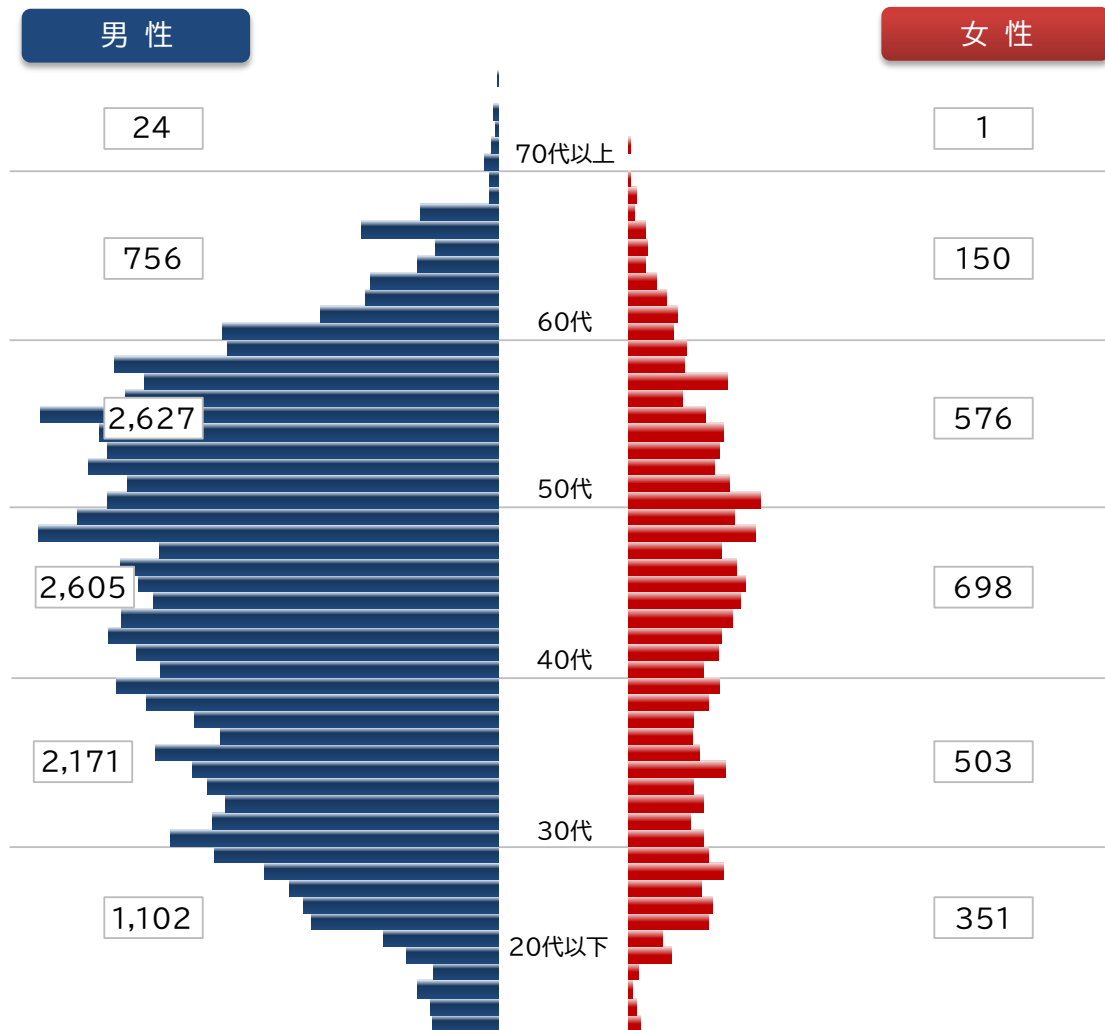


	特定保健指導対象者数			特定健診受診者数			対象者割合			全組合平均	
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度
加入者全体	1,447	1,384	1,327	8,043	8,346	8,547	18.0%	16.6%	15.5%	19.7%	18.5%
被保険者	1,346	1,260	1,188	6,667	6,720	6,810	20.2%	18.8%	17.4%	21.7%	20.5%
被扶養者	101	124	139	1,376	1,626	1,737	7.3%	7.6%	8.0%	8.7%	8.4%
40歳のみ	74	49	70	365	356	337	20.3%	13.8%	20.8%	-	-

※全組合平均:2022年度版(2021年度実績分)健康スコアリングレポート参考資料より

1. 年齢分布

【2022年度】



	男性	女性	合計
70代以上	24名	1名	25名
	0.2%	0.0%	0.2%
60代	756名	150名	906名
	6.5%	1.3%	7.8%
50代	2,627名	576名	3,203名
	22.7%	5.0%	27.7%
40代	2,605名	698名	3,303名
	22.5%	6.0%	28.6%
30代	2,171名	503名	2,674名
	18.8%	4.3%	23.1%
20代以下	1,102名	351名	1,453名
	9.5%	3.0%	12.6%
合計	9,285名	2,279名	11,564名
	80.3%	19.7%	100.0%

平均年齢	44.3歳	43.1歳	44.1歳
------	-------	-------	-------

<参考>

上場企業の平均年齢(中央値) 41.4歳

東京商工リサーチ(2020年3月期決算 上場企業調査)

<https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20200819.01.html>

2. 健康状態の分布_定義表

健康分布の定義は以下のとおり。

なお、欠損項目があっても、判定可能項目がある場合は抽出対象とする。

①非肥満、肥満の選定

健診項目	肥満
腹囲	男性 85cm以上
	女性 90cm以上
BMI	25以上

※腹囲未実施の場合はBMIのみで判定。

②服薬者の選定

問診項目	以下のいずれかの薬を使用していると回答した方
高血圧症	a. 血圧を下げる薬
糖尿病	b. 血糖を下げる薬又はインスリン注射
脂質異常症	c. コレステロールや中性脂肪を下げる薬

※問診回答欠損の場合は「服薬なし」とする。

③保健指導、受診勧奨者の選定

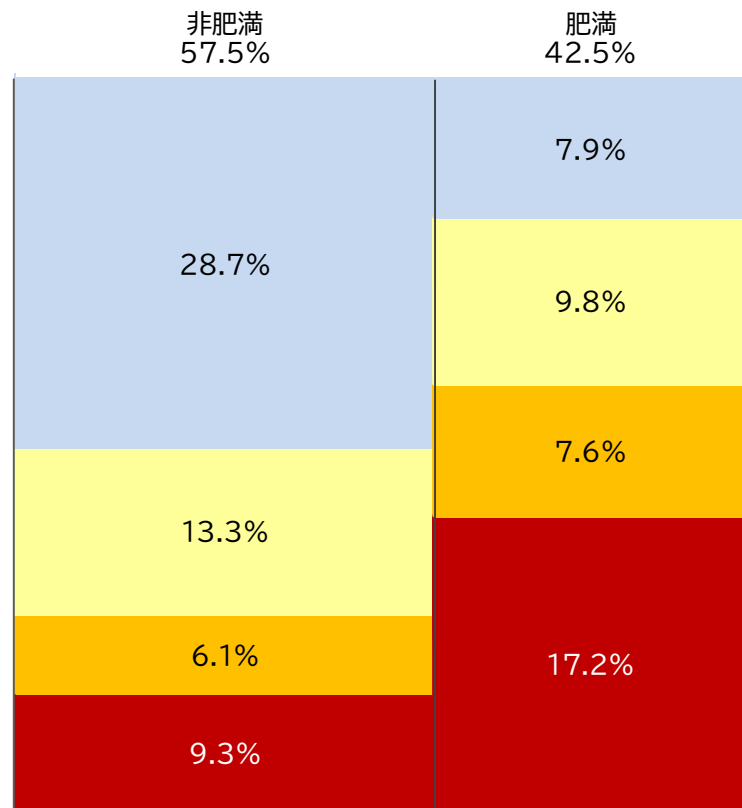
健診項目	保健指導値	受診勧奨値
収縮期血圧	130mmHg以上	140mmHg以上
拡張期血圧	85mmHg以上	90mmHg以上
中性脂肪	150mg/dl以上	300mg/dl以上
HDL-C	39mg/dl以下	34mg/dl以下
空腹時血糖	100mg/dl以上	126mg/dl以上
HbA1c (NGSP)	5.6%以上	6.5%以上
随時血糖	100mg/dl以上	126mg/dl以上

※空腹時血糖欠損の場合はHbA1cで判定。空腹時血糖とHbA1cともに欠損の場合は随時血糖で判定。

2. 健康状態の分布_全体(40代以上)

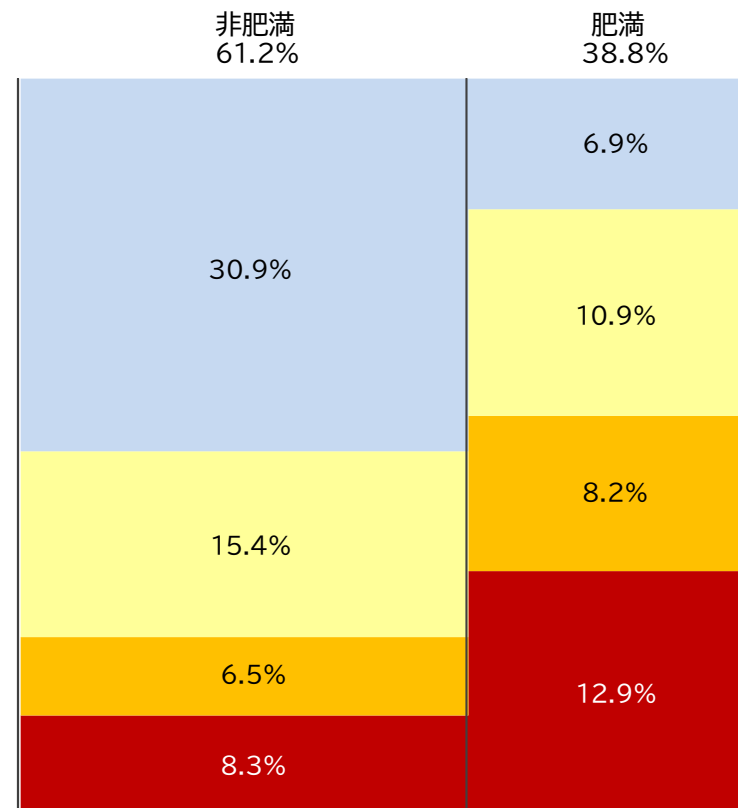
被保険者(40代以上)の健康状態を把握するため、健診受診者を非肥満・肥満別に分け、問診項目の「服薬あり」、健診検査値(血圧・血糖・脂質)のリスク判定区分ごとに分類した。

【貴組合・40代以上】



※N=6,810名

【健保連】



※N=3,716,158名

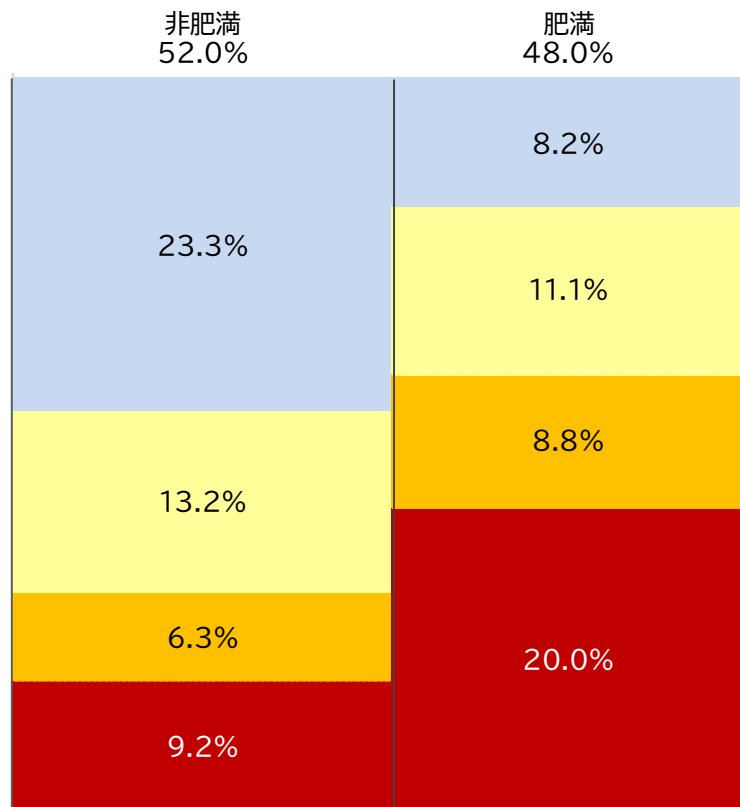
■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

※健保連:令和4年9月健保連公表「令和2年度 健診検査値からみた加入者(40-74歳)の健康状態に関する調査」より

2. 健康状態の分布_男性(40代以上)

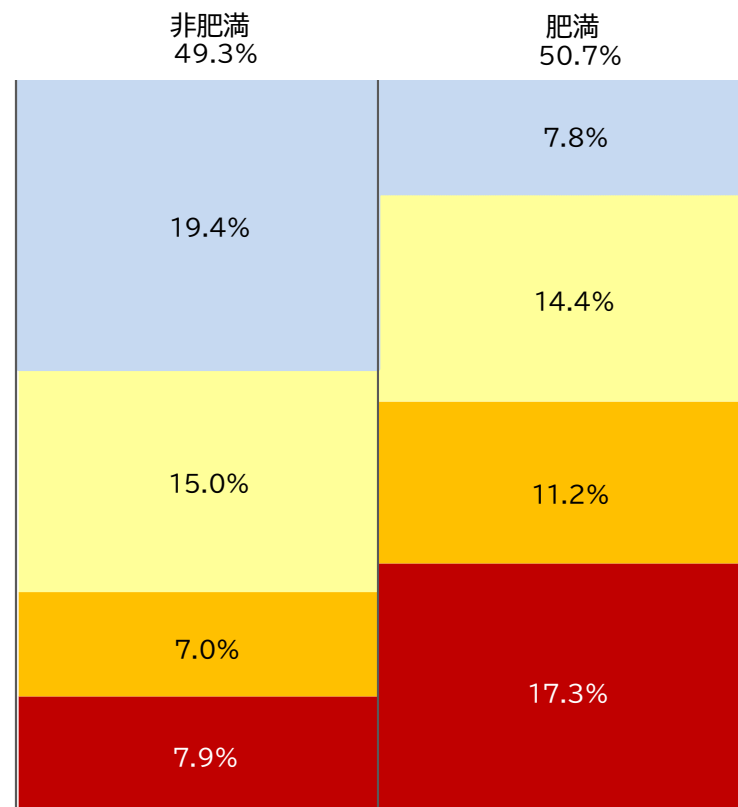
男性被保険者(40代以上)の健康状態を把握するため、健診受診者を非肥満・肥満別に分け、問診項目の「服薬あり」、健診検査値(血圧・血糖・脂質)のリスク判定区分ごとに分類した。

【男性・40代以上】



※N=5,482名

【健保連】



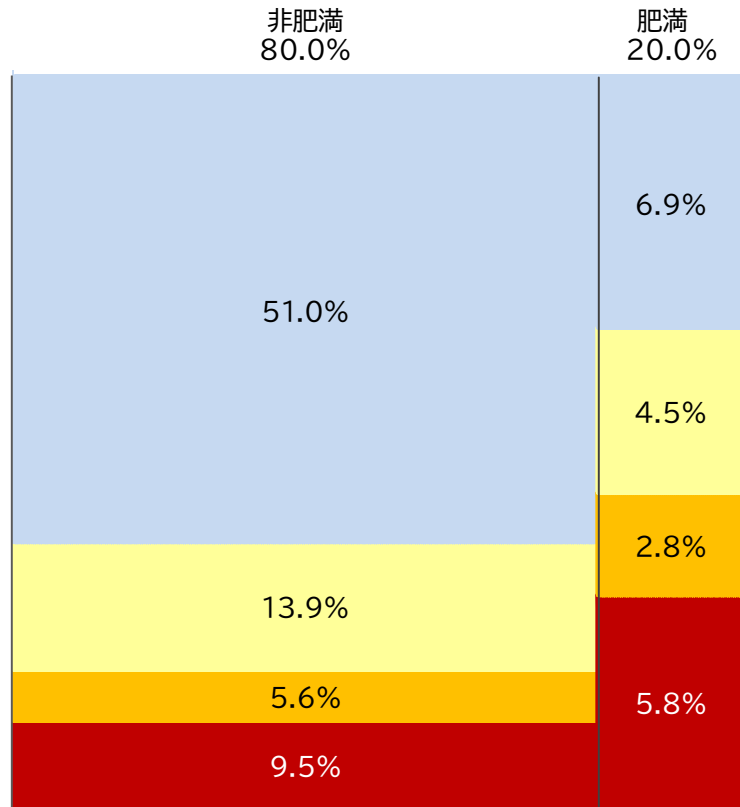
※N=2,264,567名

■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

2. 健康状態の分布_女性(40代以上)

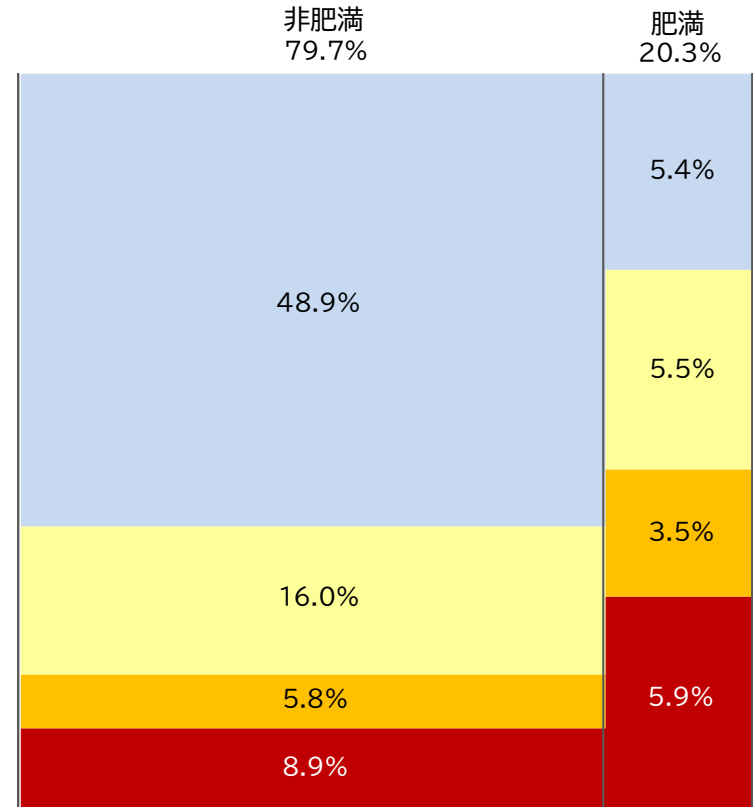
女性被保険者(40代以上)の健康状態を把握するため、健診受診者を非肥満・肥満別に分け、問診項目の「服薬あり」、健診検査値(血圧・血糖・脂質)のリスク判定区分ごとに分類した。

【女性・40代以上】



※N=1,328名

【健保連】



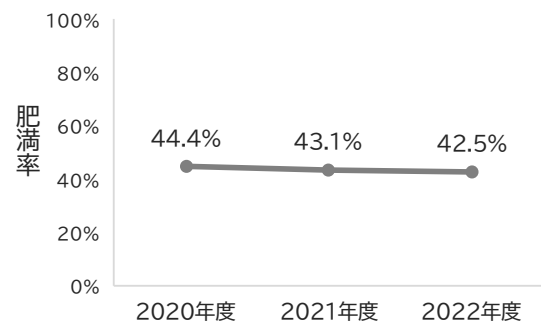
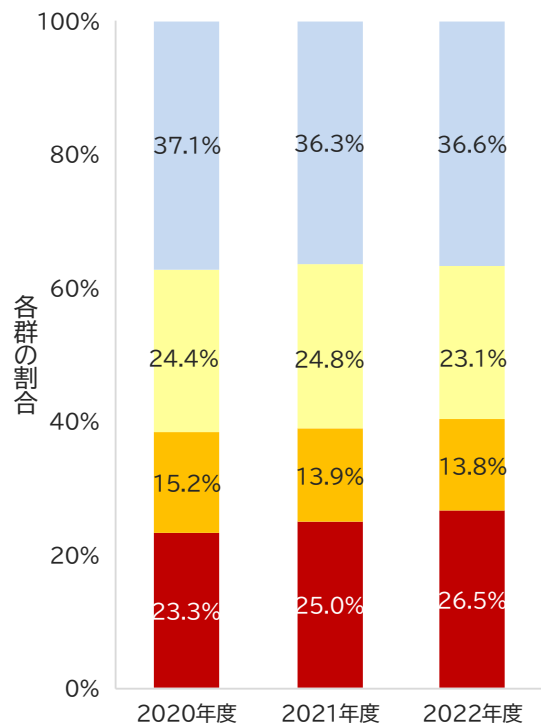
※N=1,451,591名

■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

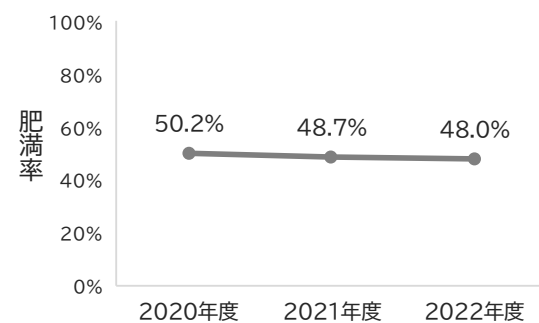
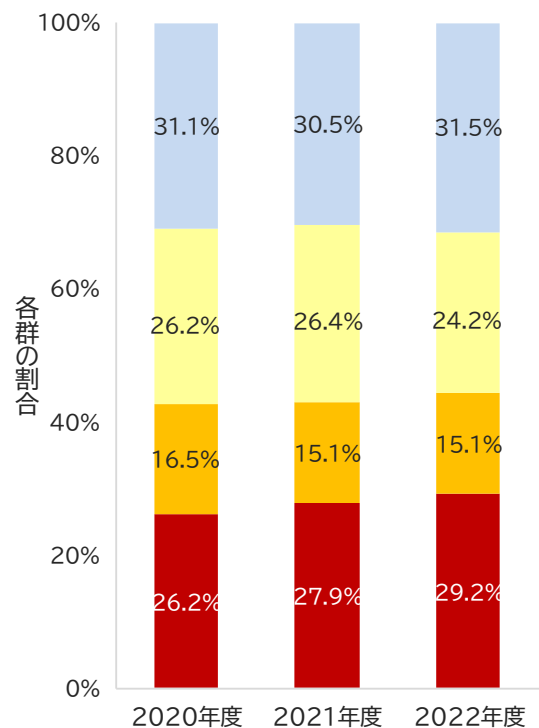
2. 健康状態の分布_経年推移

■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値 ■:服薬者

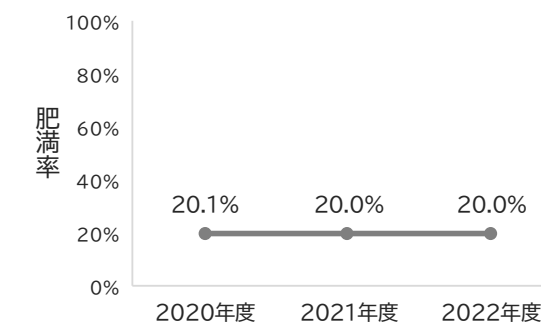
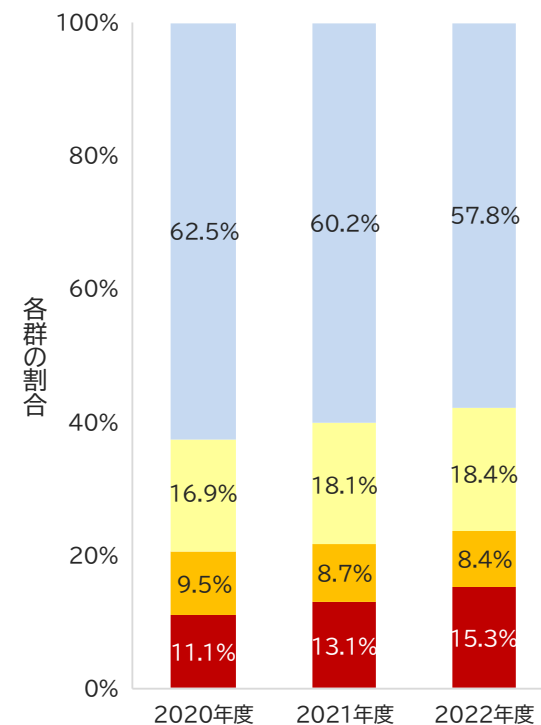
【全体】



【男性】

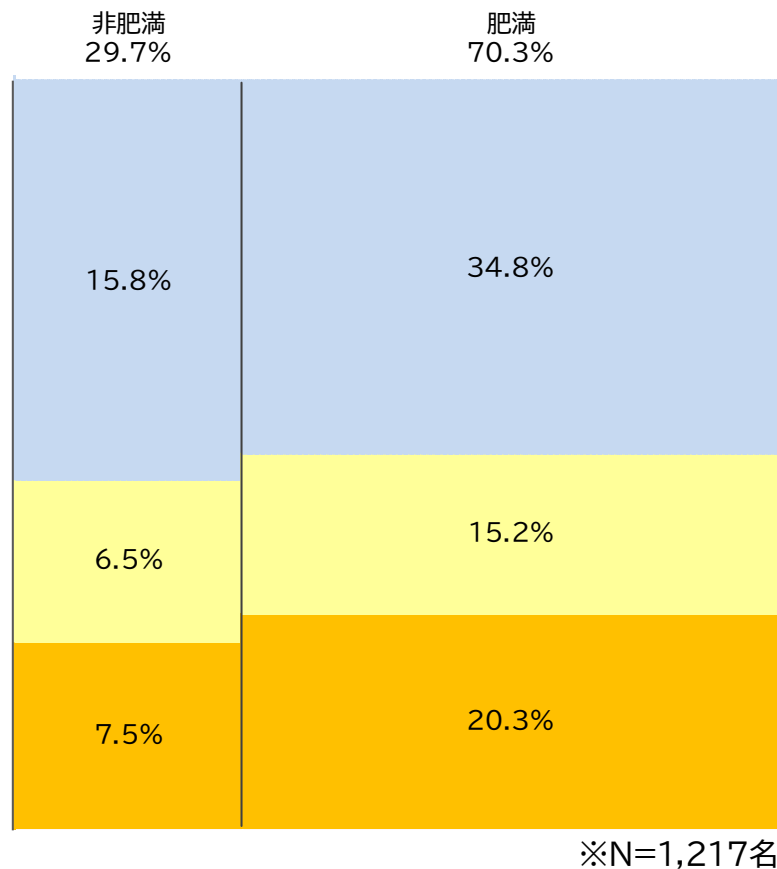


【女性】



2. 服薬者の状態(血圧)

服薬(血圧)投与者の詳細と各階層の内訳



■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

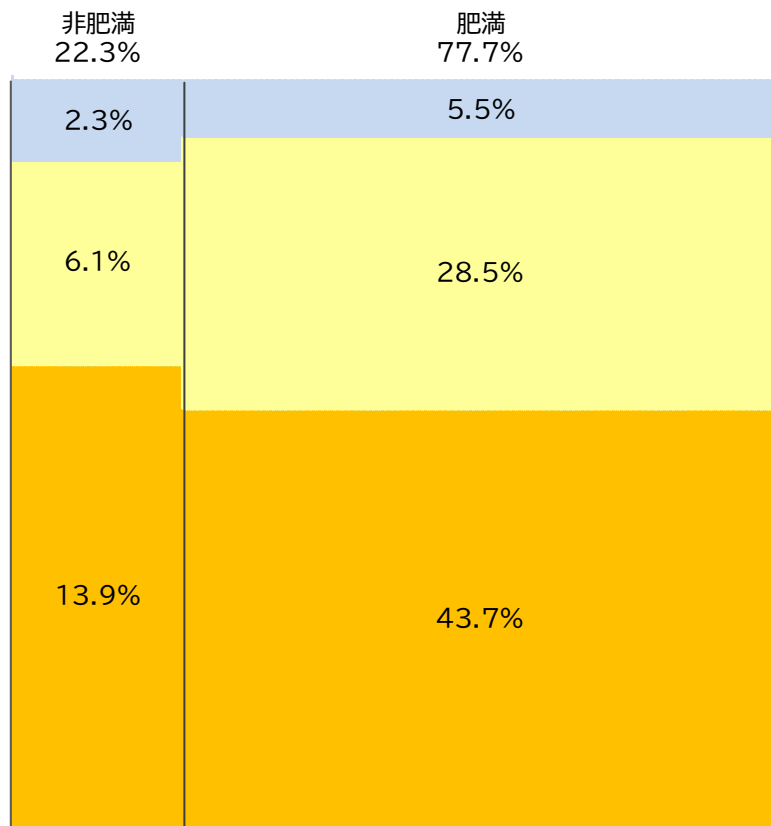
	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	192名	154名	38名
保健指導値	79名	64名	15名
受診勧奨値	91名	78名	13名
計	362名	296名	66名

	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	423名	403名	20名
保健指導値	185名	175名	10名
受診勧奨値	247名	231名	16名
計	855名	809名	46名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	615名	557名	58名
保健指導値	264名	239名	25名
受診勧奨値	338名	309名	29名
計	1,217名	1,105名	112名

2. 服薬者の状態(血糖)

服薬(血糖)投与者の詳細と各階層の内訳



※N=309名

■: 基準範囲内 ■: 保健指導値 ■: 受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

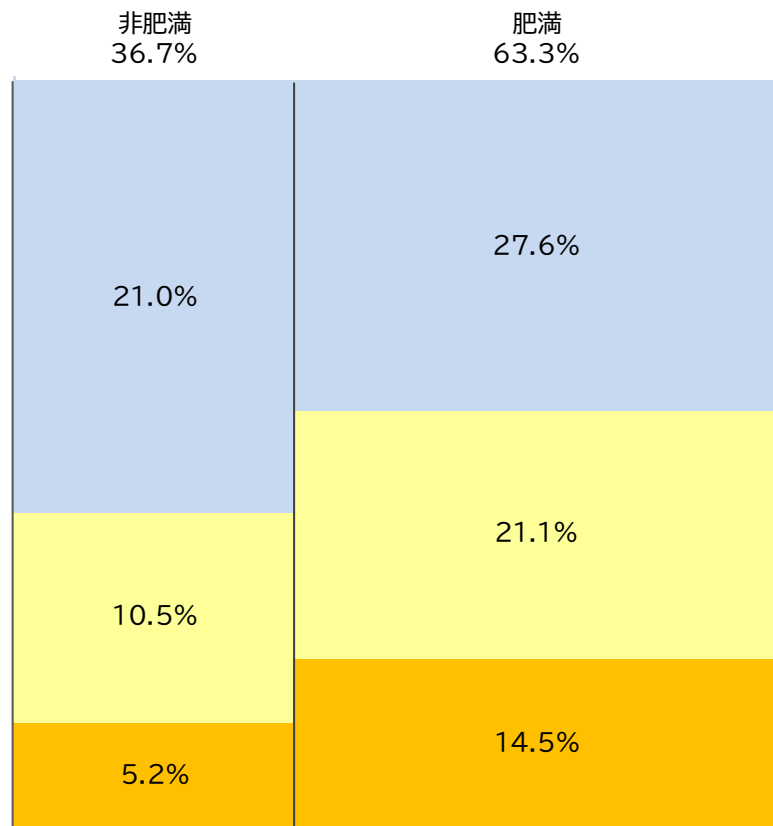
	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	7名	6名	1名
保健指導値	19名	14名	5名
受診勧奨値	43名	34名	9名
計	69名	54名	15名

	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	17名	17名	0名
保健指導値	88名	84名	4名
受診勧奨値	135名	126名	9名
計	240名	227名	13名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	24名	23名	1名
保健指導値	107名	98名	9名
受診勧奨値	178名	160名	18名
計	309名	281名	28名

2. 服薬者の状態(脂質)

服薬(脂質)投与者の詳細と各階層の内訳



※N=937名

■:基準範囲内 ■:保健指導値 ■:受診勧奨値

<各階層の内訳詳細>

	非肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	197名	159名	38名
保健指導値	98名	79名	19名
受診勧奨値	49名	37名	12名
計	344名	275名	69名

	肥満		
	全体	男性	女性
基準範囲内	259名	239名	20名
保健指導値	198名	184名	14名
受診勧奨値	136名	126名	10名
計	593名	549名	44名

	非肥満・肥満計		
	全体	男性	女性
基準範囲内	456名	398名	58名
保健指導値	296名	263名	33名
受診勧奨値	185名	163名	22名
計	937名	824名	113名

※健診事後措置の観点より、脂質リスクの階層化についてはP21の基準を使用

3. 生活習慣の把握_判定基準

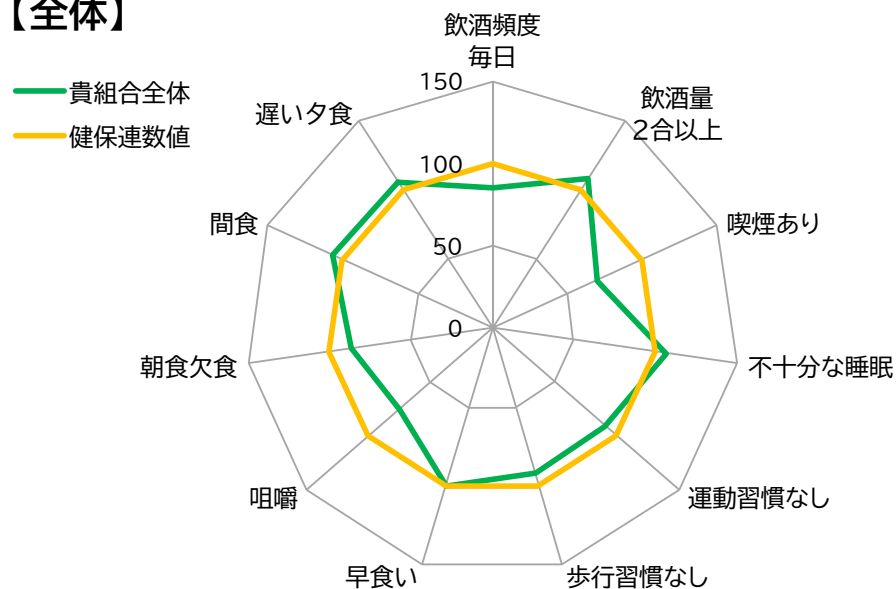
以下の問診データ項目を使用し、生活習慣の把握をおこなう。

項目	判定基準
飲酒(頻度)	お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度で、「毎日飲む」と回答した人
飲酒(量)	飲酒日の1日当たりの飲酒量で、「2～3合未満／3合以上」と回答した人
喫煙あり	たばこを習慣的に吸っているかの質問で「はい」と回答した人
不十分な睡眠	睡眠で休養が十分にとれているかの質問で「いいえ」と回答した人
運動習慣なし	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施しているかの質問で「いいえ」と回答した人
歩行習慣なし	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施しているかの質問で「いいえ」と回答した人
早食い	人と比較して食べる速度が速いかの質問で「速い」と回答した人
咀嚼	食事をかんで食べる時の状態の質問で「かみにくいことがある／ほとんどかめない」と回答した人
朝食欠食	朝食を抜くことが週3回以上あるかの質問で「はい」と回答した人
間食	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取しているかの質問で「毎日」と回答した人
遅い夕食	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上あるかの質問で「はい」と回答した人
体重変化	20歳の時の体重から10kg以上増加しているかの質問で「はい」と回答した人

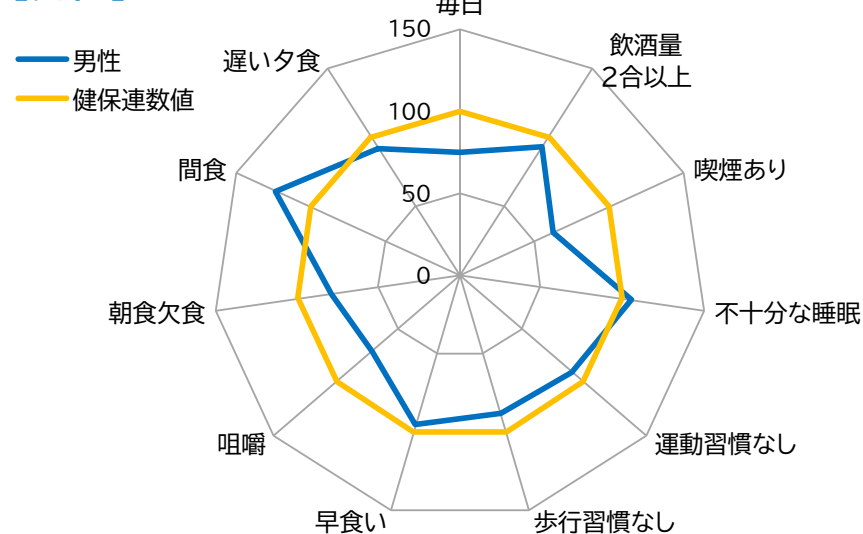
3. 生活習慣の把握(40代以上)

問診データを使用し、生活習慣の把握をおこなう。
 グラフが外側に大きくなるほど悪い傾向をしめしている。
 ※健保連数値を100として貴組合数値を指数化

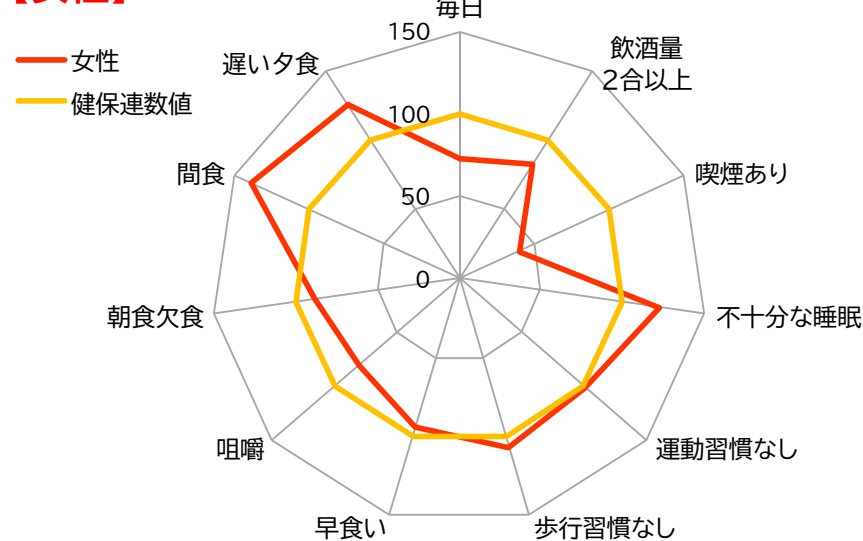
【全体】



【男性】



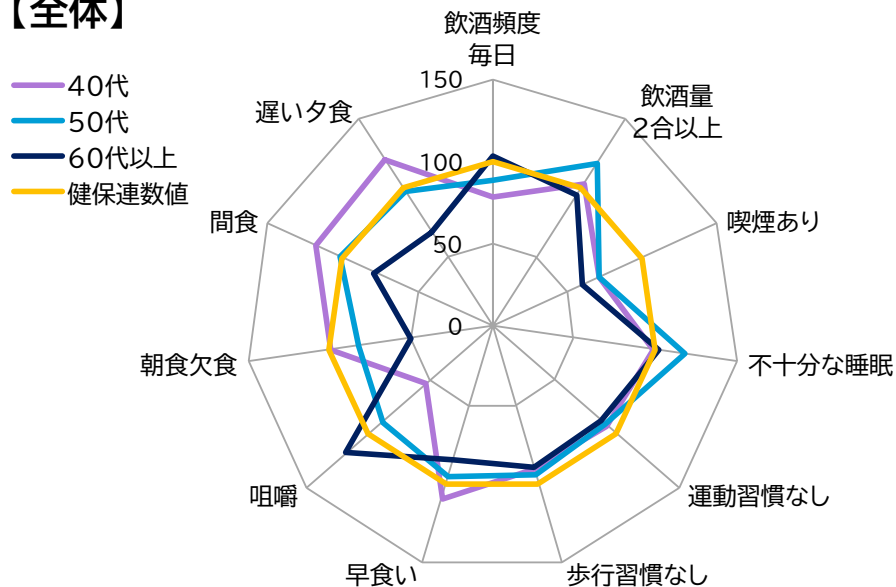
【女性】



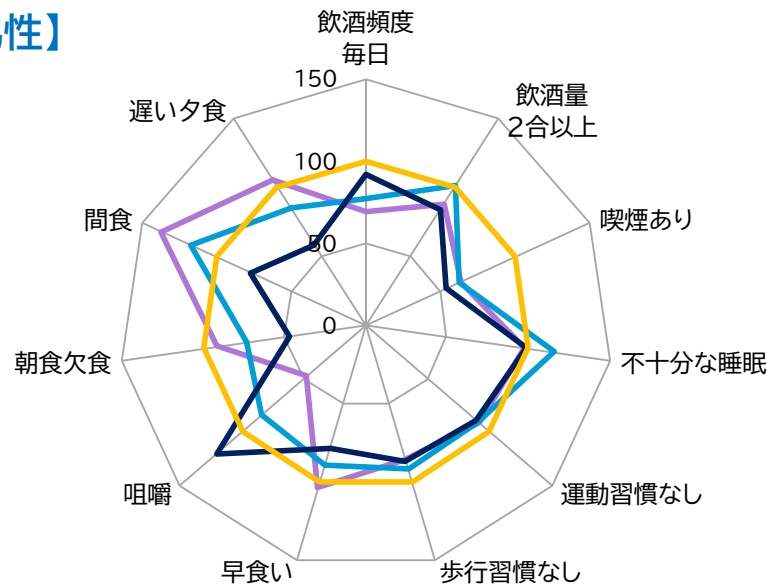
3. 生活習慣の把握 年代別 -1

問診データを使用し、生活習慣の把握をおこなう。
 グラフが外側に大きくなるほど悪い傾向をしめしている。
 ※健保連数値を100として貴組合数値を指数化

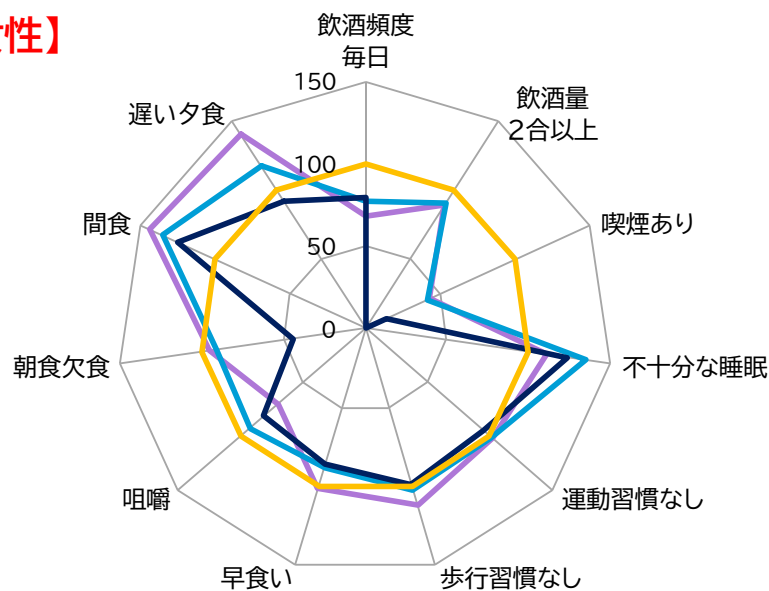
【全体】



【男性】



【女性】



3. 生活習慣の把握 年代別 -2

■ 年代別

健保連数値×1.3超=悪い

健保連数値×0.7未満=良い

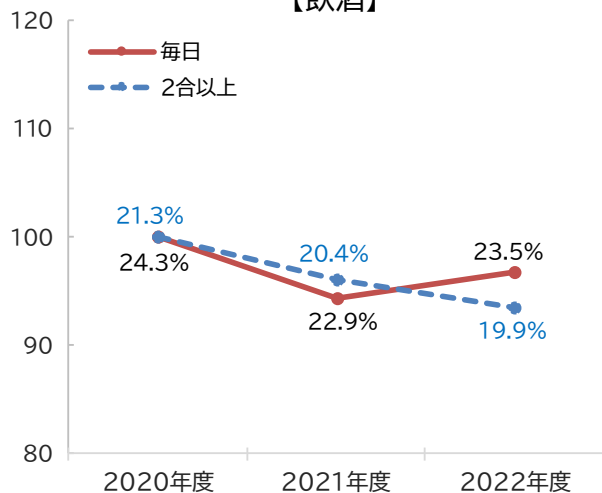
		飲酒		喫煙	睡眠	活動量		食事				
		毎日	2合以上	喫煙あり	不十分な睡眠	運動習慣なし	歩行習慣なし	早食い	咀嚼	朝食欠食	間食	遅い夕食
全体	40代	21.6%	18.8%	17.5%	34.7%	70.7%	55.7%	35.8%	8.1%	20.1%	22.5%	37.5%
	50代	24.4%	21.6%	17.5%	41.4%	69.4%	57.6%	31.2%	13.5%	16.7%	19.5%	30.4%
	60代以上	28.5%	17.3%	14.7%	35.8%	67.5%	54.6%	27.7%	18.0%	10.1%	15.1%	21.3%
	計	23.5%	19.9%	17.2%	37.7%	69.8%	56.4%	33.0%	11.4%	17.7%	20.5%	32.8%
健保連数値		27.6%	18.3%	24.5%	35.1%	76.7%	61.1%	32.8%	15.3%	20.3%	19.1%	31.1%
男性	40代	24.5%	21.2%	20.8%	33.0%	67.4%	52.6%	38.2%	7.8%	21.6%	16.7%	39.9%
	50代	27.3%	24.4%	20.4%	39.3%	66.3%	56.6%	33.0%	13.8%	17.4%	14.3%	32.0%
	60代以上	32.3%	20.3%	17.7%	33.5%	65.2%	53.3%	28.8%	19.7%	11.0%	9.3%	22.0%
	計	26.5%	22.5%	20.3%	35.8%	66.7%	54.4%	35.0%	11.6%	18.7%	14.9%	34.7%
健保連数値		35.1%	24.2%	32.8%	33.8%	73.9%	61.7%	36.8%	16.4%	23.5%	12.1%	37.9%
女性	40代	10.6%	6.7%	4.8%	41.3%	82.9%	67.4%	26.9%	9.4%	14.5%	44.5%	28.2%
	50代	12.1%	6.8%	4.7%	50.2%	82.1%	61.8%	23.6%	12.5%	13.8%	41.8%	23.6%
	60代以上	12.5%	0.0%	1.6%	45.8%	77.3%	59.7%	22.9%	10.9%	6.7%	38.7%	18.5%
	計	11.4%	6.1%	4.4%	45.4%	82.1%	64.3%	25.2%	10.8%	13.5%	42.8%	25.4%
健保連数値		15.7%	7.5%	11.2%	37.1%	81.1%	60.1%	26.6%	13.4%	15.2%	30.8%	20.2%
有効回答数		6,384人	5,047人	6,810人	6,301人	6,174人	6,299人	6,296人	6,298人	6,298人	6,303人	6,297人

※健保連数値：令和4年8月「令和2年度 特定健診の「問診回答」に関する調査」より

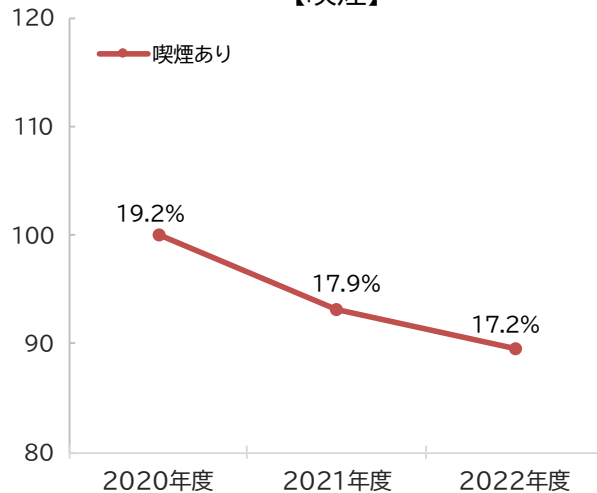
3. 生活習慣の経年推移

2020年度を100としたときの経年推移

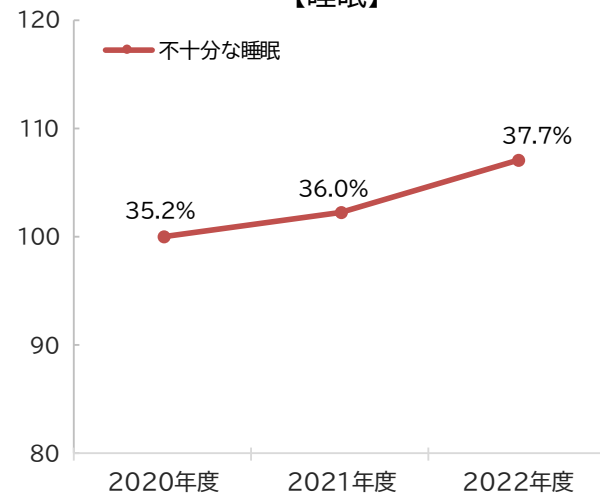
【飲酒】



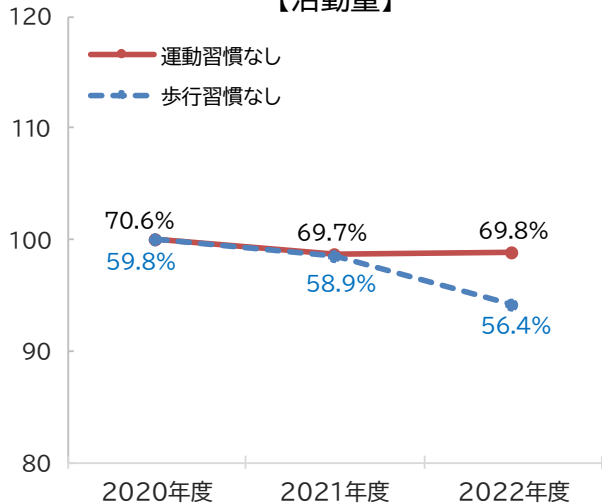
【喫煙】



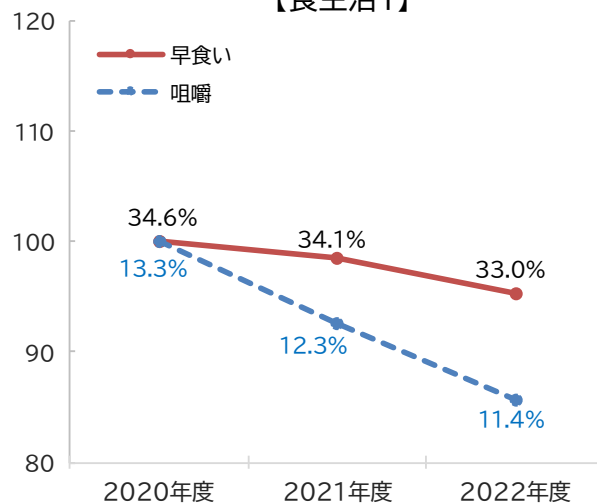
【睡眠】



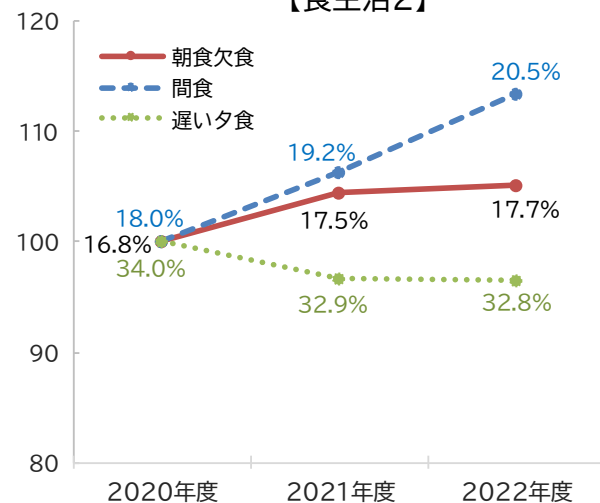
【活動量】



【食生活1】



【食生活2】



3. 生活習慣の把握_20歳から10kg以上の体重変化

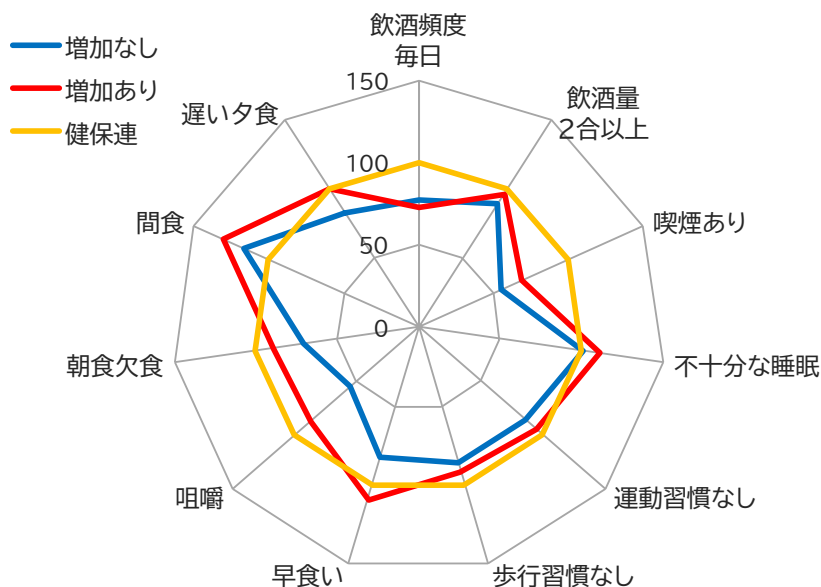
問診項目「20歳の時の体重から10kg以上増加している」について、該当者の傾向を確認した。

■ 内訳

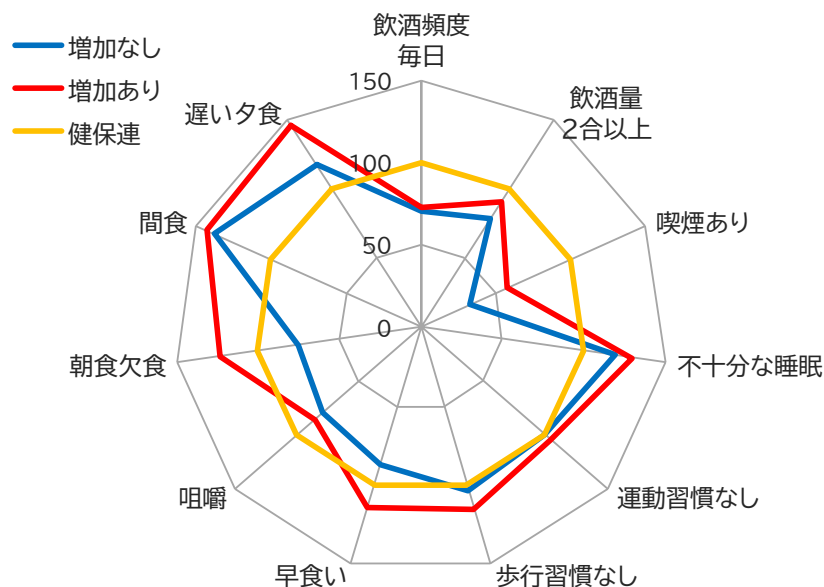
	人数		割合		健保連
	増加なし	増加あり	増加なし	増加あり	
全体	3,491	2,806	55.4%	44.6%	41.5%
男性	2,592	2,448	51.4%	48.6%	49.3%
女性	899	358	71.5%	28.5%	29.3%

■ 10kg以上の体重増加有無での生活習慣の比較

【男性・40代以上】



【女性・40代以上】



■ 健診数値との相関関係(相関係数の絶対値を記載)

	収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	中性脂肪	HDL	LDL	AST	ALT	γGT
20歳から10kg以上の体重変化	0.20	0.22	0.15	0.17	0.22	0.33	0.13	0.13	0.28	0.16

※0.4～を赤字、収縮期血圧と拡張期血圧は1回目のデータを使用

4. 生活習慣病リスク保有率_判定基準

使用データ: 健診・問診データ

項目	判定基準
肥満	腹囲(男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$) もしくは、腹囲(男性 $< 85\text{cm}$ 女性 $< 90\text{cm}$) and $\text{BMI} \geq 25$
血圧	収縮期血圧 ≥ 130 or 拡張期血圧 ≥ 85
血糖	空腹時血糖 ≥ 100 (空腹時血糖がないとき) $\text{HbA1c} \geq 5.6$ (空腹時血糖および HbA1c が測定されず、随時血糖があるとき) 随時血糖 ≥ 100
脂質	$\text{LDLコレステロール} \geq 120$ or $\text{HDLコレステロール} < 40$ or 中性脂肪 ≥ 150
肝機能	$\text{AST} \geq 31$ or $\text{ALT} \geq 31$ or $\gamma\text{-GT} \geq 51$
喫煙	問診で「吸っている」と回答した者

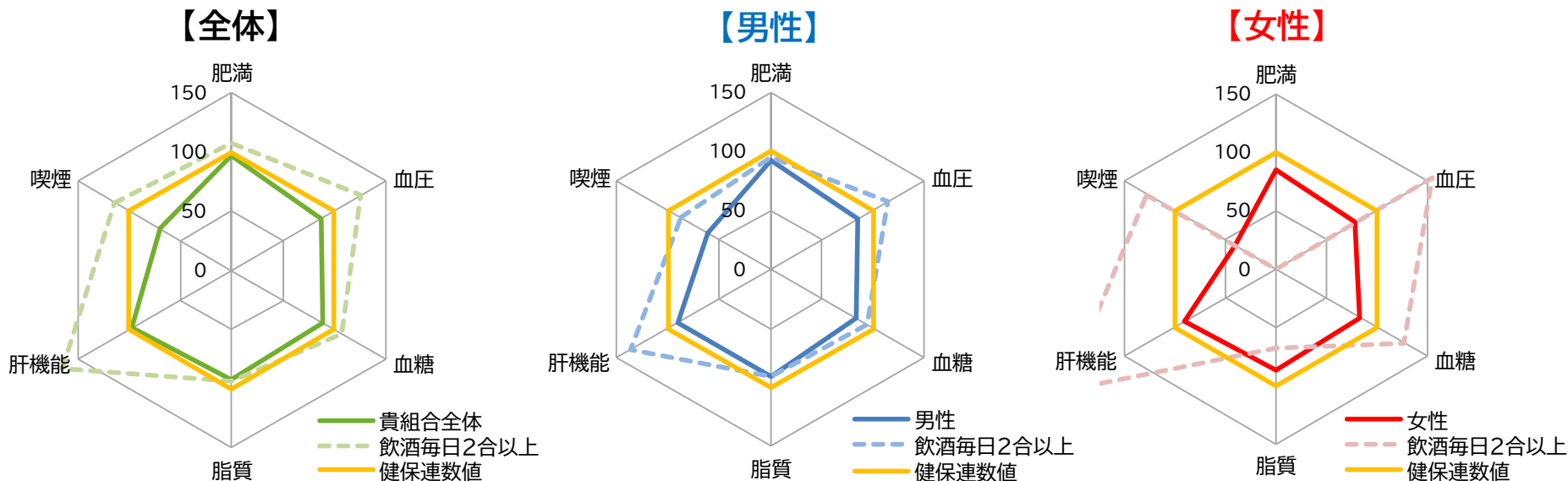
※腹囲未実施の場合はBMIのみで判定

項目	ベンチマークとする値の出典
肥満	令和4年11月「令和2年度 業態別にみた被保険者の健康状態に関する調査」 https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r04_11_02.pdf
血圧	
血糖	
脂質	
肝機能	
喫煙	令和4年8月「令和2年度 特定健診の「問診回答」に関する調査」 https://www.kenporen.com/toukei_data/pdf/chosa_r04_08_04.pdf

4. 生活習慣病リスク保有率(40代以上)

健診データを使用し、生活習慣病リスク保有率を確認した。レーダーチャートが外側に大きいほど悪い傾向をしめしている。

※健保連数値を100として貴組合数値を指数化



■ 生活習慣病リスク保有者数と割合

※()内は飲酒毎日2合以上の数値

	全体			男性			女性		
	該当者数	割合	健保連	該当者数	割合	健保連	該当者数	割合	健保連
肥満	2,897 (237)	42.5% (47.5%)	44.2%	2,632 (237)	48.0% (49.6%)	52.5%	265 (0)	20.0% (0.0%)	23.7%
血圧	2,297 (242)	33.7% (48.5%)	38.5%	2,007 (233)	36.6% (48.7%)	42.9%	290 (9)	21.8% (42.9%)	27.6%
血糖	2,098 (187)	30.8% (37.5%)	35.1%	1,848 (181)	33.7% (37.9%)	40.3%	250 (6)	18.8% (28.6%)	22.4%
脂質	4,052 (303)	59.5% (60.7%)	64.9%	3,402 (295)	62.1% (61.7%)	68.5%	650 (8)	48.9% (38.1%)	56.0%
肝機能	2,452 (307)	36.0% (61.5%)	37.2%	2,260 (300)	41.2% (62.8%)	45.7%	192 (7)	14.5% (33.3%)	16.0%
喫煙	1,173 (140)	17.2% (28.1%)	24.5%	1,114 (137)	20.3% (28.7%)	32.8%	59 (3)	4.4% (14.3%)	11.2%

■ 飲酒毎日2合以上該当者

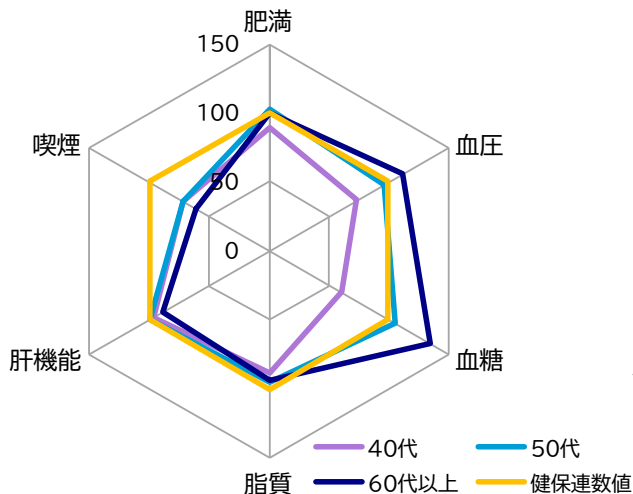
	全体	男性	女性	男性比率	平均年齢
飲酒毎日2合以上	499	478	21	95.8%	50.9歳

4. 生活習慣病リスク保有率(年代別)

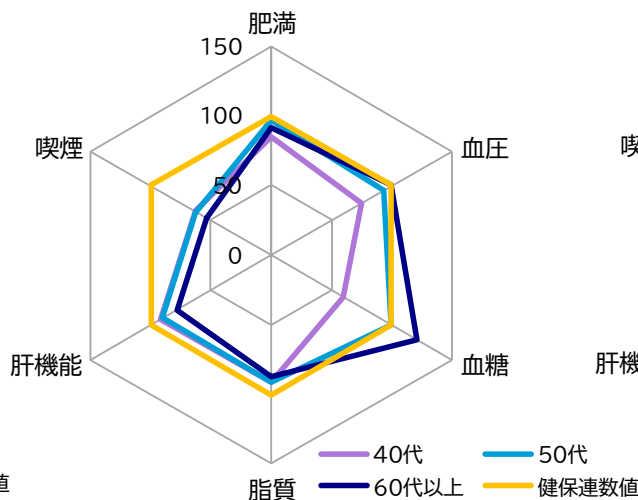
健診データを使用し、生活習慣病リスク保有率を確認した。レーダーチャートが外側に大きいほど悪い傾向をしめしている。

※健保連数値を100として貴組合数値を指数化

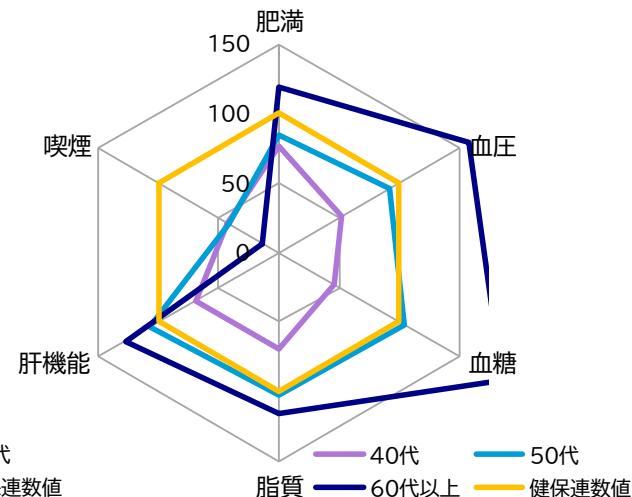
【全体】



【男性】



【女性】



■ 生活習慣病リスク保有者数と割合

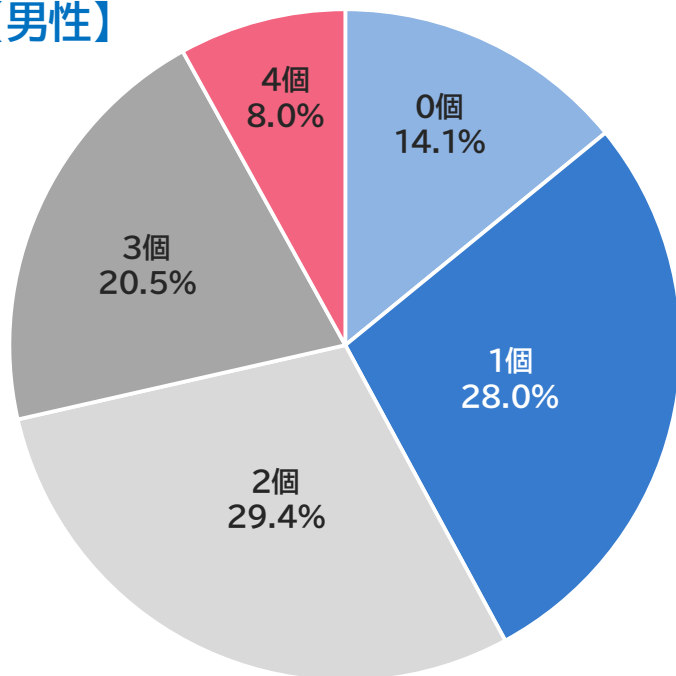
	全体(人数・割合)			男性(人数・割合)			女性(人数・割合)		
	40代	50代	60代以上	40代	50代	60代以上	40代	50代	60代以上
肥満	1,223 (39.4%)	1,365 (45.4%)	309 (44.2%)	1,106 (44.9%)	1,253 (51.1%)	273 (47.8%)	117 (18.1%)	112 (20.2%)	36 (28.1%)
血圧	882 (28.4%)	1,114 (37.1%)	301 (43.1%)	790 (32.1%)	972 (39.7%)	245 (42.9%)	92 (14.3%)	142 (25.6%)	56 (43.8%)
血糖	656 (21.1%)	1,111 (37.0%)	331 (47.4%)	589 (23.9%)	981 (40.0%)	278 (48.7%)	67 (10.4%)	130 (23.4%)	53 (41.4%)
脂質	1,788 (57.6%)	1,841 (61.3%)	423 (60.5%)	1,538 (62.5%)	1,524 (62.2%)	340 (59.5%)	250 (38.8%)	317 (57.1%)	83 (64.8%)
肝機能	1,108 (35.7%)	1,114 (37.1%)	230 (32.9%)	1,037 (42.1%)	1,019 (41.6%)	204 (35.7%)	71 (11.0%)	95 (17.1%)	26 (20.3%)
喫煙	543 (17.5%)	527 (17.5%)	103 (14.7%)	512 (20.8%)	501 (20.4%)	101 (17.7%)	31 (4.8%)	26 (4.7%)	2 (1.6%)

4. 生活習慣病リスク保有数の割合

男女別に、肥満・血圧・血糖・脂質のリスク保有数の割合をしめた。

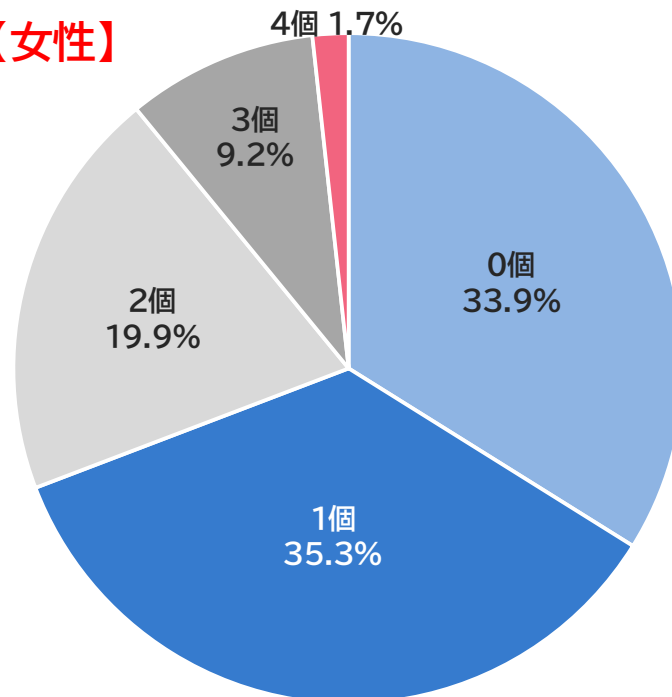
※上記すべてのリスク判定可能者を対象

【男性】



	該当者数	割合
0個	773名	14.1%
1個	1,535名	28.0%
2個	1,609名	29.4%
3個	1,124名	20.5%
4個	441名	8.0%
計	5,482名	100.0%

【女性】



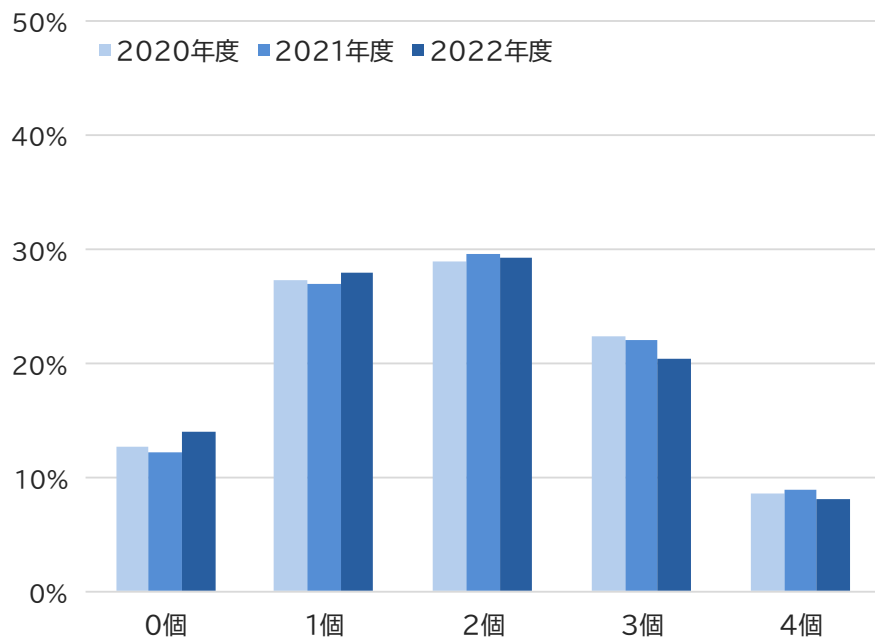
	該当者数	割合
0個	450名	33.9%
1個	469名	35.3%
2個	264名	19.9%
3個	122名	9.2%
4個	23名	1.7%
計	1,328名	100.0%

4. 生活習慣病リスク保有数の割合_経年推移

男女別に、肥満・血圧・血糖・脂質のリスク保有数の割合について、経年推移をしめた。

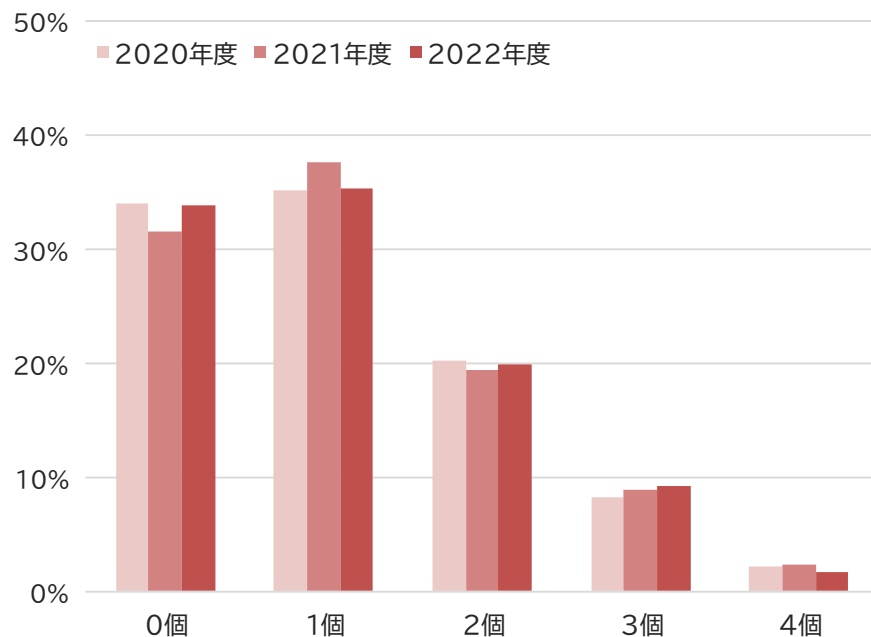
※上記すべてのリスク判定可能者を対象

保有数ごとの推移(男性)



	2020年度	2021年度	2022年度
0個	12.6%	12.3%	14.1%
1個	27.4%	27.0%	28.0%
2個	28.9%	29.7%	29.4%
3個	22.4%	22.0%	20.5%
4個	8.7%	9.0%	8.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%

保有数ごとの推移(女性)



	2020年度	2021年度	2022年度
0個	34.1%	31.6%	33.9%
1個	35.2%	37.7%	35.3%
2個	20.3%	19.4%	19.9%
3個	8.3%	8.9%	9.2%
4個	2.3%	2.4%	1.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%

5. 健診検査値_判定基準

項目	判定基準	
肥満	低体重	BMI<18.5
	普通体重	腹囲(男性<85cm、女性<90cm) or BMI <25
	肥満1	腹囲(男性≥85cm、女性≥90cm) or BMI ≥25
	肥満2	BMI≥30
血圧	基準範囲内	収縮期血圧 <130 and 拡張期血圧 <85
	保健指導レベル	収縮期血圧 ≥130 or 拡張期血圧 ≥85
	受診勧奨レベル(Ⅰ度相当)	収縮期血圧 ≥140 or 拡張期血圧 ≥90
	受診勧奨レベル(Ⅱ度相当)	収縮期血圧 ≥160 or 拡張期血圧 ≥100
	受診勧奨レベル(Ⅲ度相当)	収縮期血圧 ≥180 or 拡張期血圧 ≥110
血糖	基準範囲内	空腹時血糖 <100 (空腹時血糖がない場合) HbA1c <5.6
	保健指導レベル	空腹時血糖 ≥100 (空腹時血糖がない場合) HbA1c ≥5.6
	保健指導レベル(高リスク者)	空腹時血糖 ≥110 (空腹時血糖がない場合) HbA1c ≥ 6.0
	受診勧奨レベル	空腹時血糖 ≥126 (空腹時血糖がない場合) HbA1c ≥ 6.5
脂質	基準範囲内	LDL<120 and HDL≥40 and 中性脂肪(TG)<150
	保健指導レベル	LDL≥120 or HDL<40 or 中性脂肪(TG) ≥150
	受診勧奨レベル	LDL≥140 or 中性脂肪(TG) ≥300
	受診勧奨レベル(高リスク者)	LDL≥180 or 中性脂肪(TG) ≥500
肝機能	基準範囲内	AST<31 and ALT<31 and γ-GT<51
	指導レベル	AST≥31 or ALT≥31 or γ-GT≥51
	受診勧奨レベル	AST≥51 or ALT≥51 or γ-GT≥101

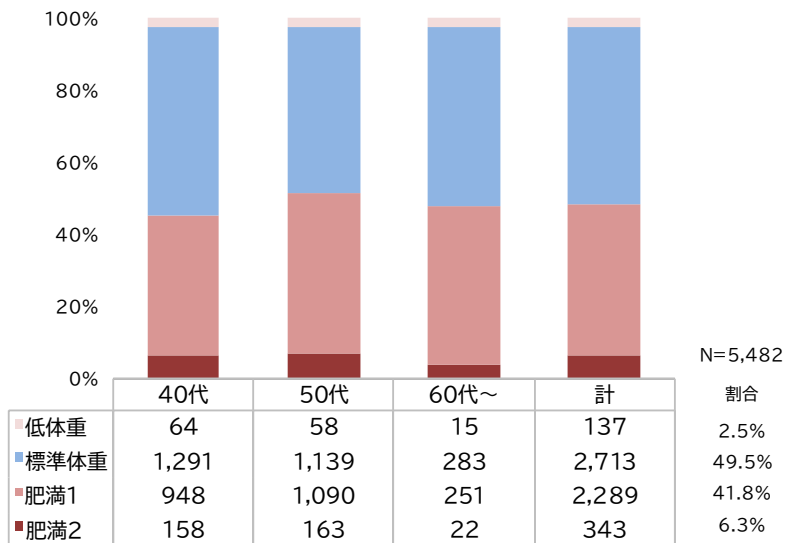
※空腹時血糖およびHbA1cが測定されず、随時血糖があるときは随時血糖を使用。(空腹時血糖と同基準)

5. 健診検査値の男女・年代別 -1

肥満

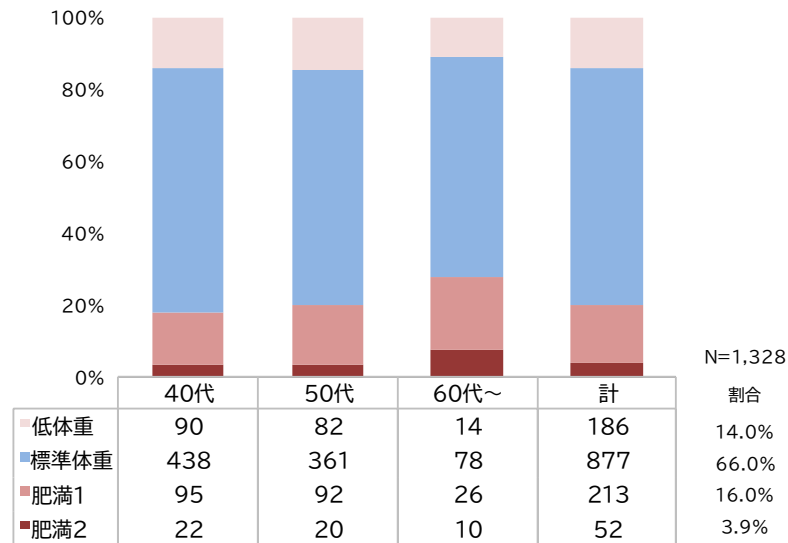
【男性】

(単位:人)

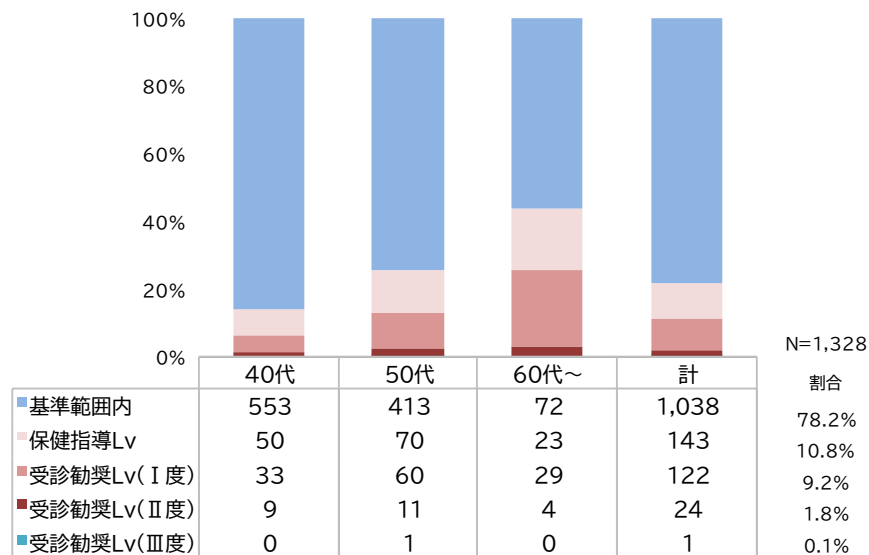
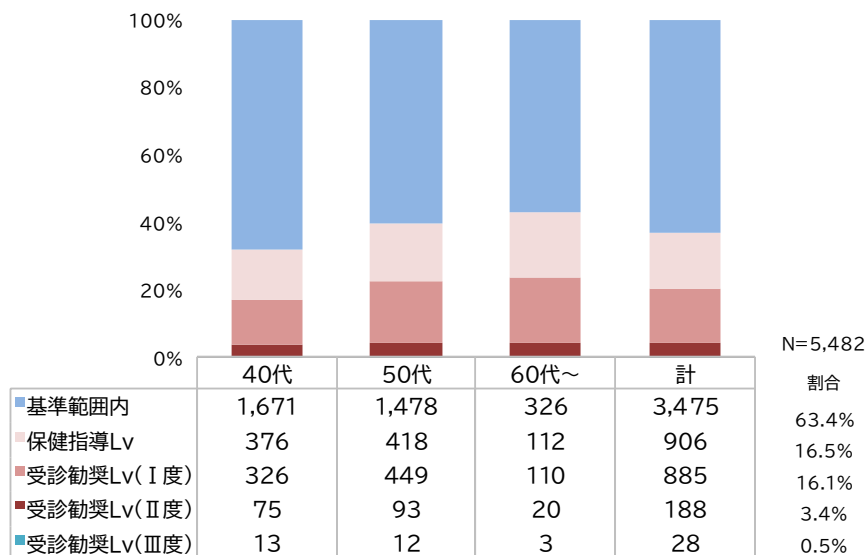


【女性】

(単位:人)



血圧

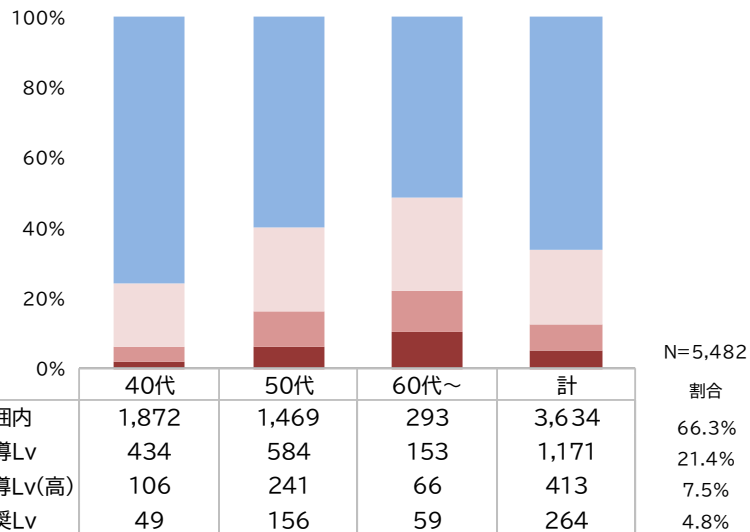


5. 健診検査値の男女・年代別 -2

血糖

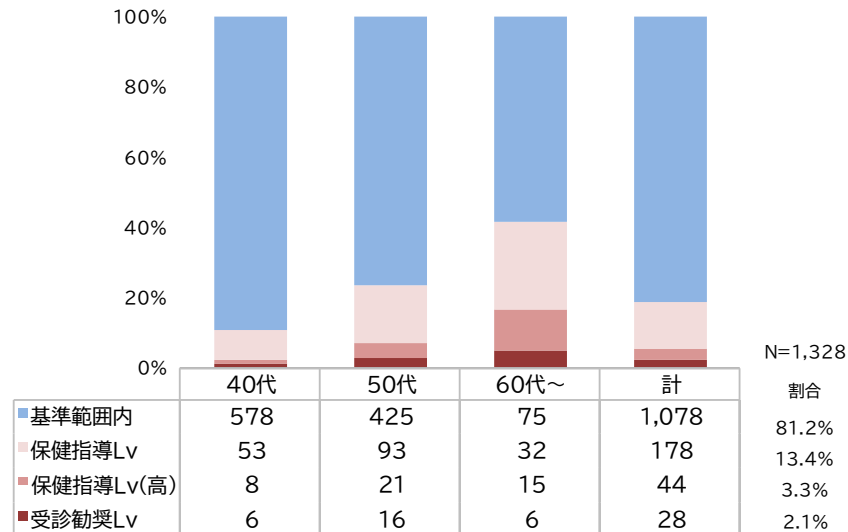
【男性】

(単位:人)

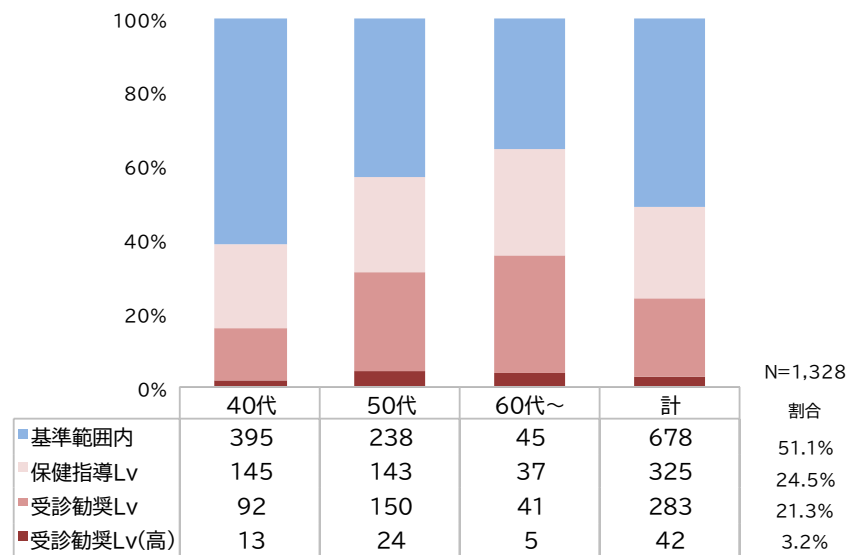
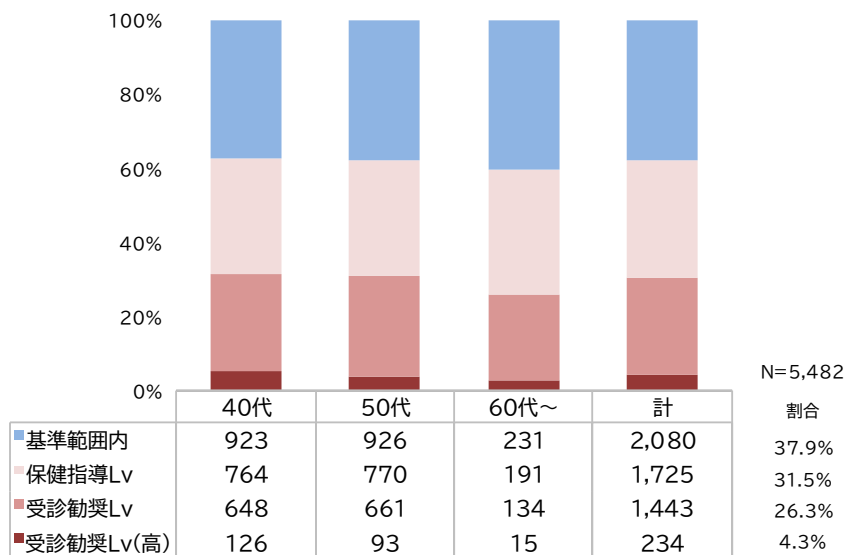


【女性】

(単位:人)



脂質

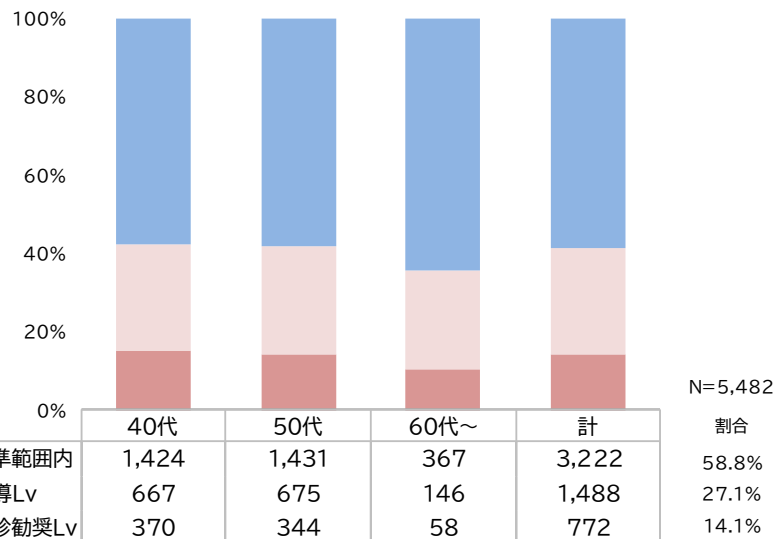


5. 健診検査値の男女・年代別 -3

肝機能

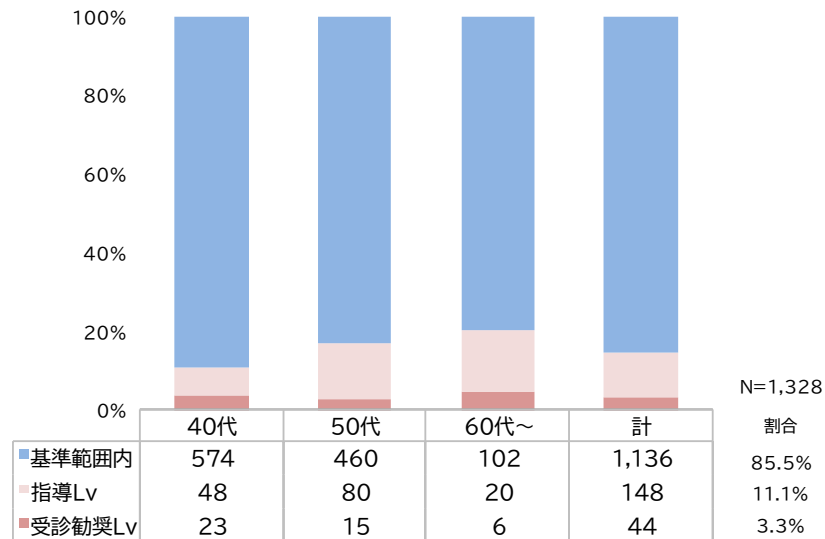
【男性】

(単位:人)



【女性】

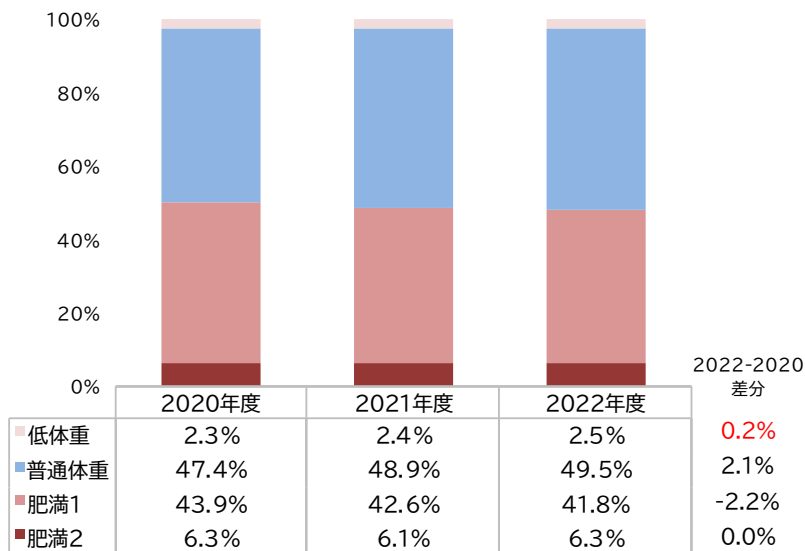
(単位:人)



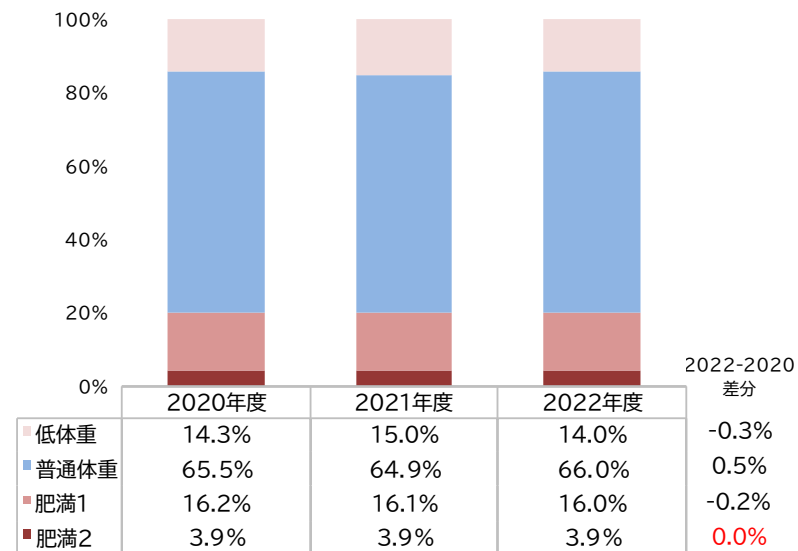
6. 健診検査値の男女・経年 -1

肥満

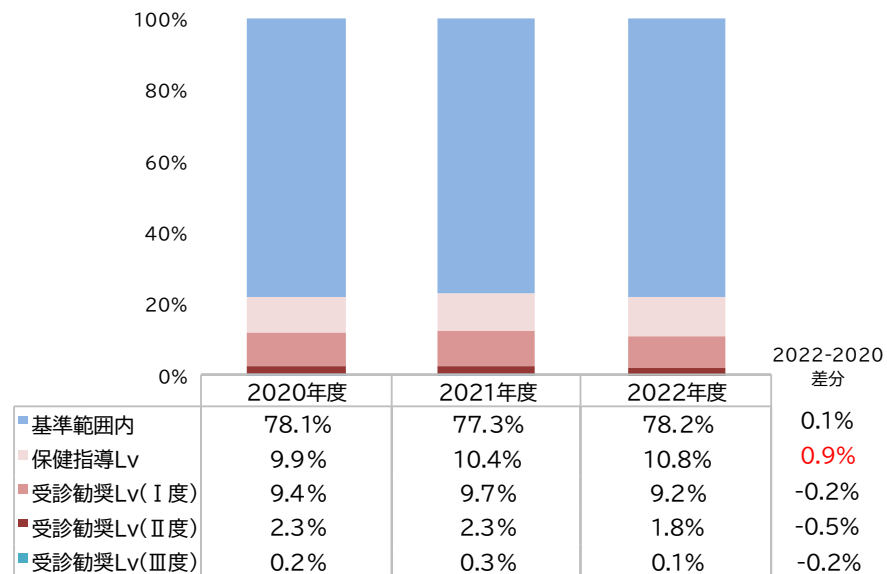
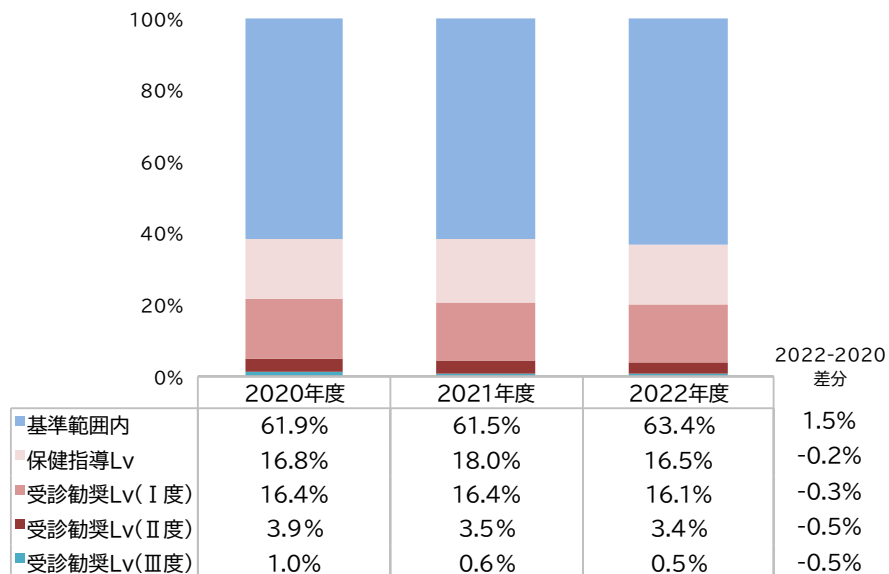
【男性】



【女性】



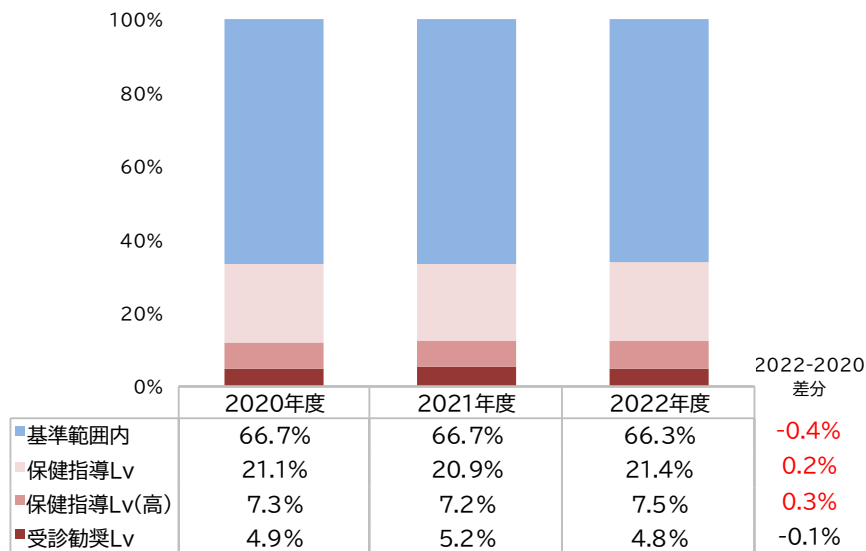
血圧



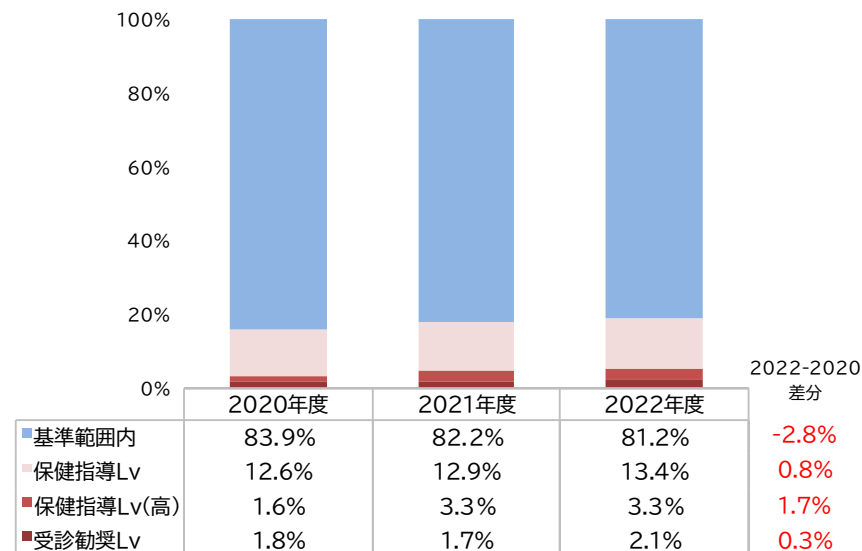
6. 健診検査値の男女・経年 -2

血糖

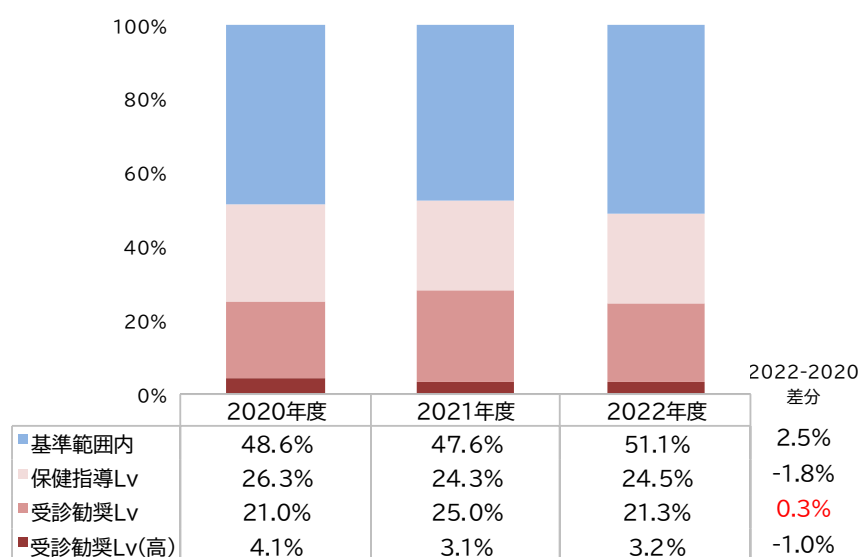
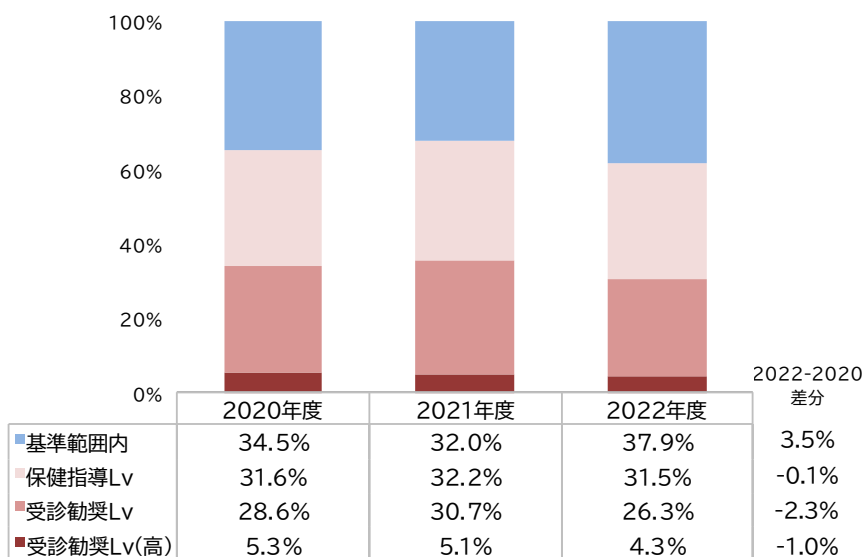
【男性】



【女性】



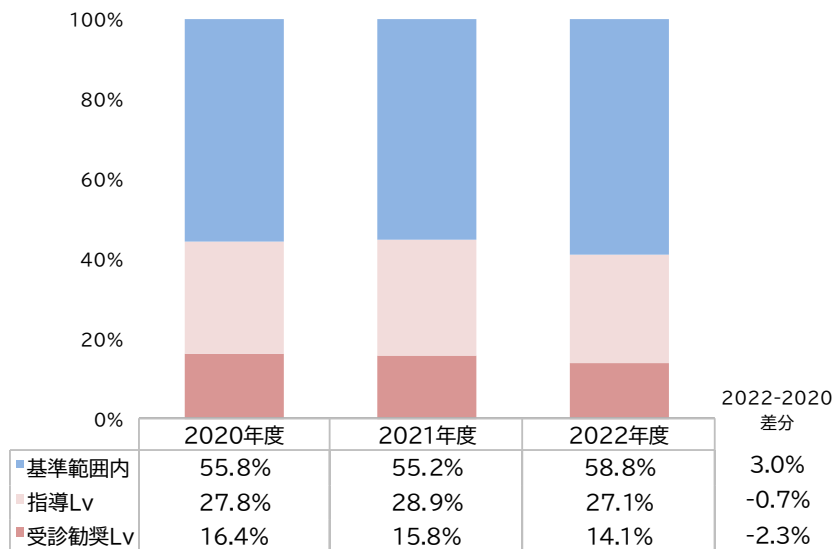
脂質



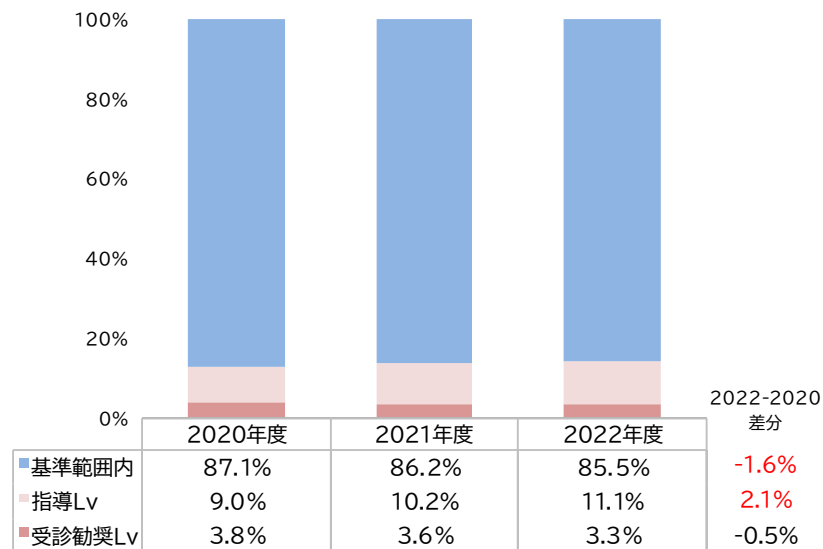
6. 健診検査値の男女・経年 -3

肝機能

【男性】



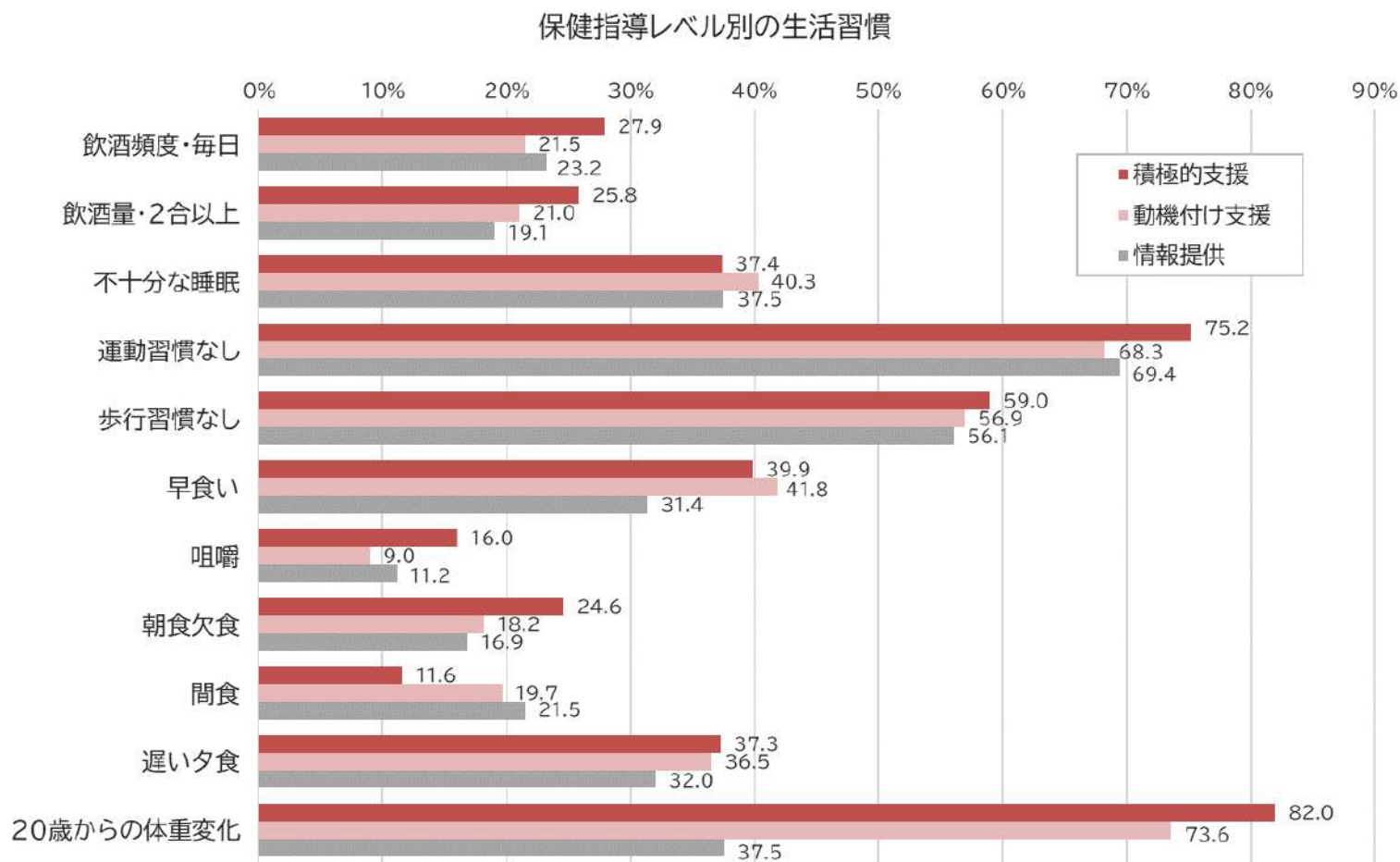
【女性】



7. 生活習慣の把握(保健指導レベル別)

特定保健指導対象である40歳以上を対象とし、保健指導レベル別に生活習慣の比較をおこなった。

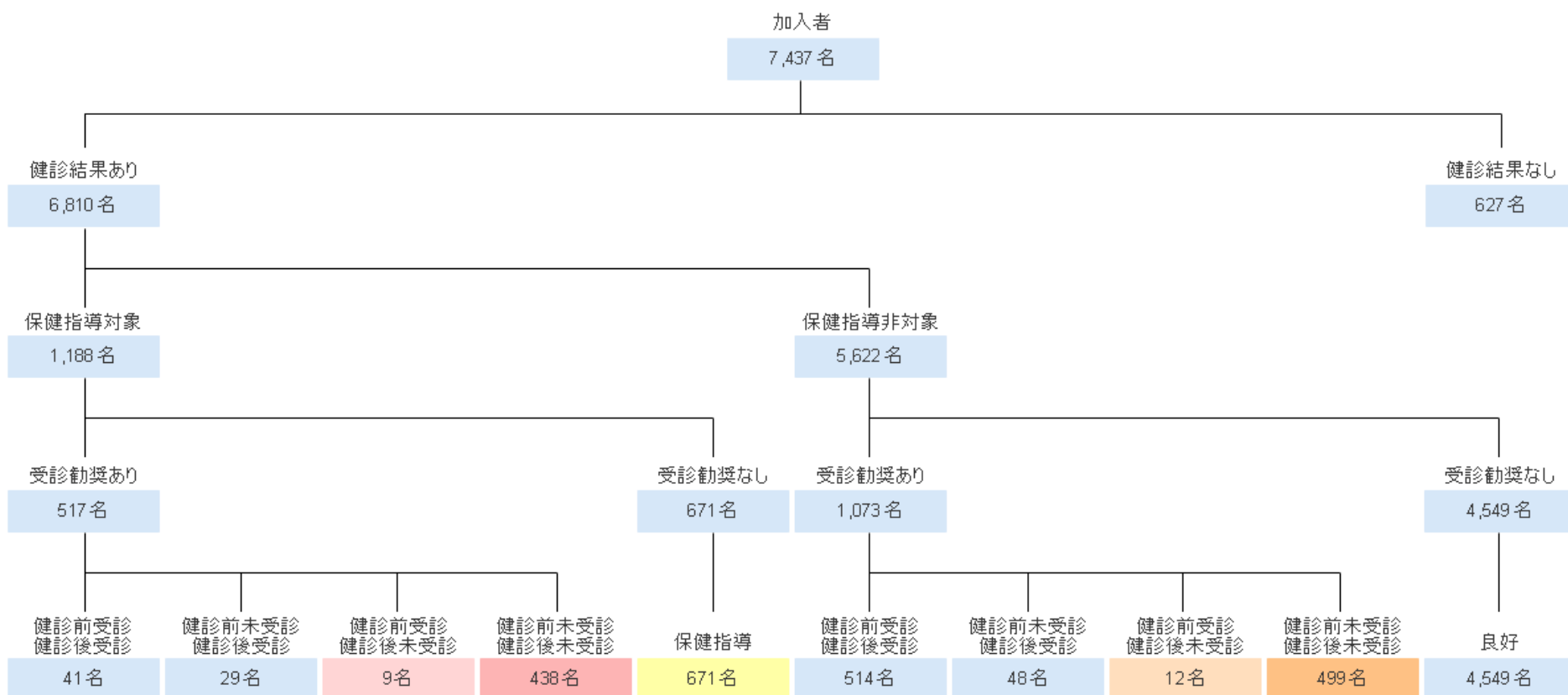
※健診問診データより判定したものであり、貴組合での対象除外者等の判定は考慮していない。また、判定不能者は除外している。



【参考】受診勧奨者の詳細

40歳以上を対象に、2022年度の健診結果とレセプトデータを掛け合わせて階層化をおこなった。
 血圧・血糖・脂質のいずれかが受診勧奨値である者の、健診前後3か月以内での医療機関受診有無を確認した。

※レセプト受診範囲の健診前後3か月には健診年月を含む



【受診勧奨判定値】

血圧:収縮期血圧 ≥ 140 mmHg または 拡張期血圧 ≥ 90 mmHg
 血糖:空腹時血糖 ≥ 126 mg/dl 空腹時血糖がない場合 HbA1c $\geq 6.5\%$
 脂質:中性脂肪 ≥ 300 mg/dl または HDL-C < 35 mg/dl

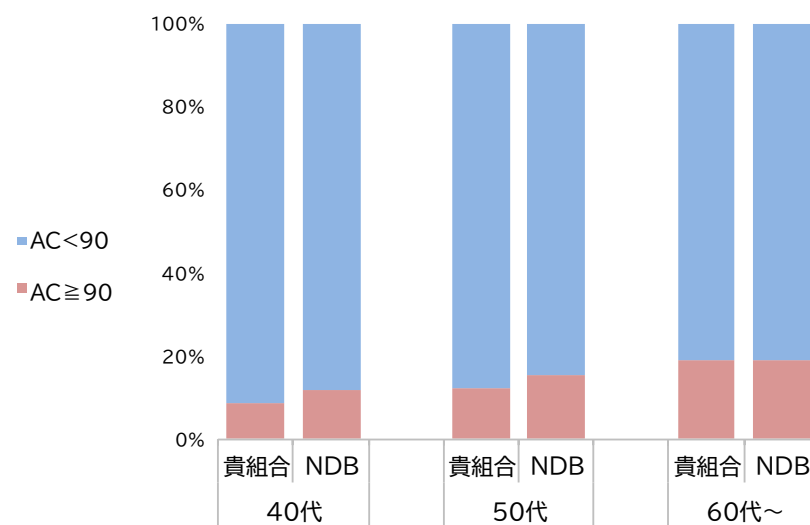
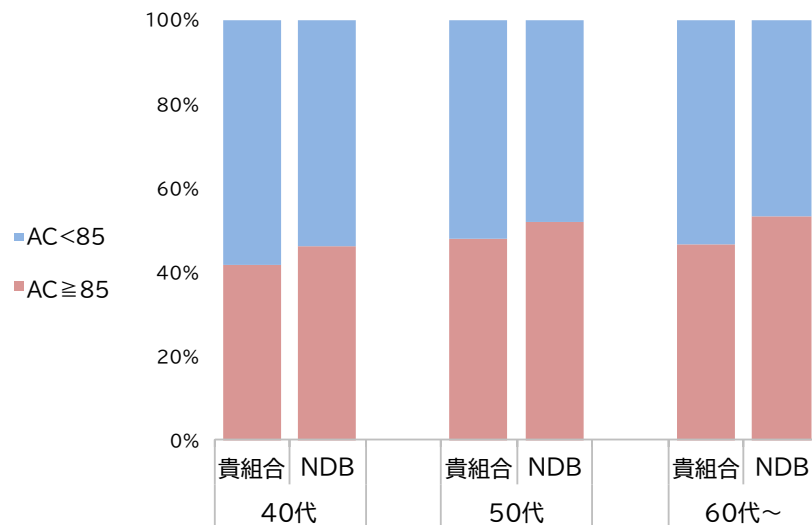
【参考】健診検査値の詳細比較_肥満

※NDB(National Database):
レセプト情報・特定健診等情報データベース

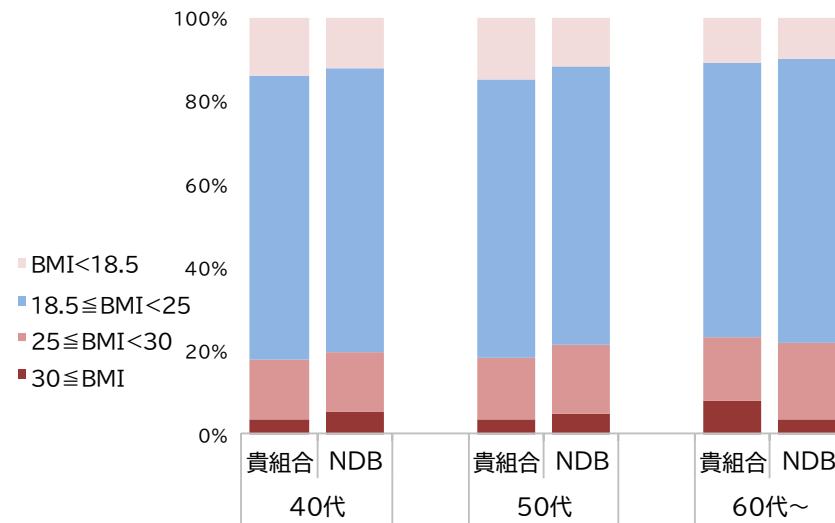
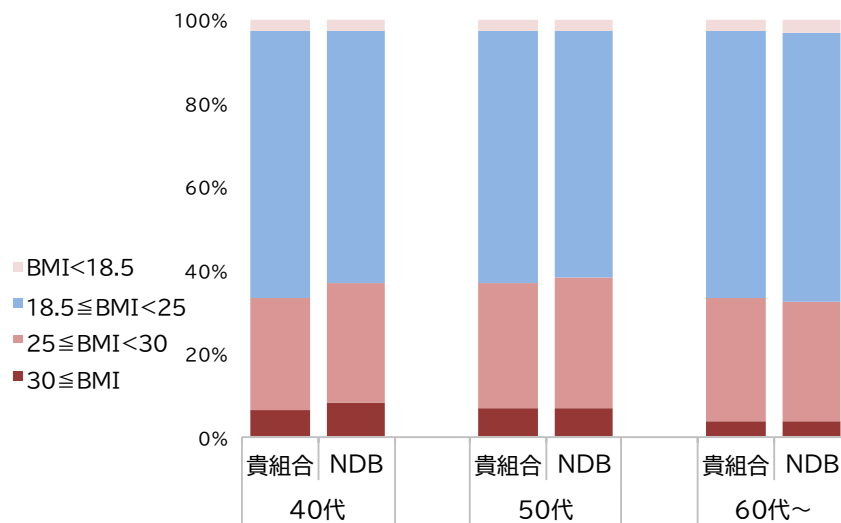
腹囲

【男性】

【女性】



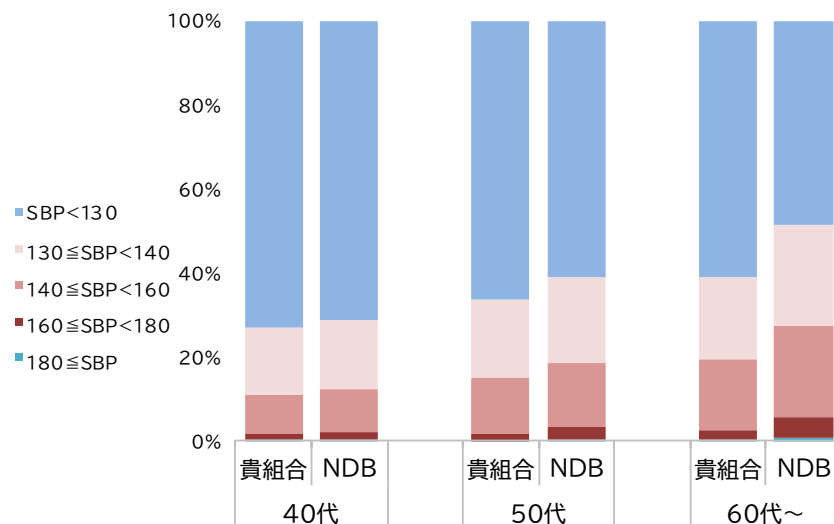
BMI



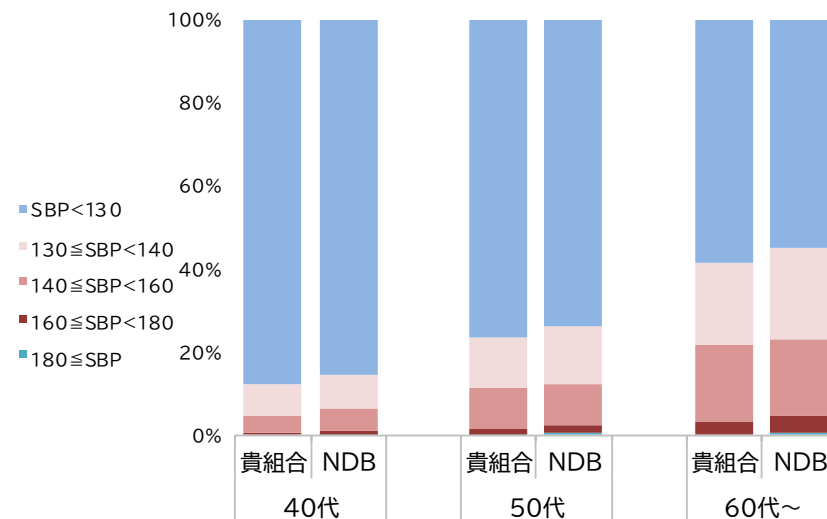
【参考】健診検査値の詳細比較_血圧

収縮期血圧

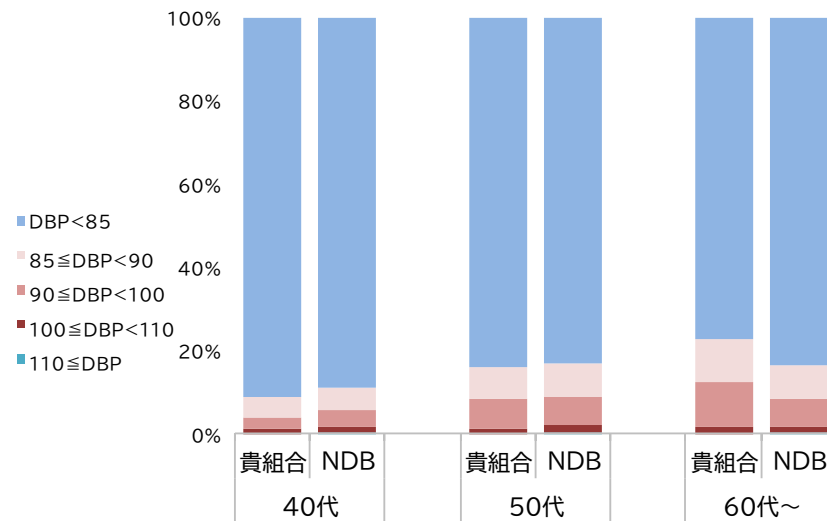
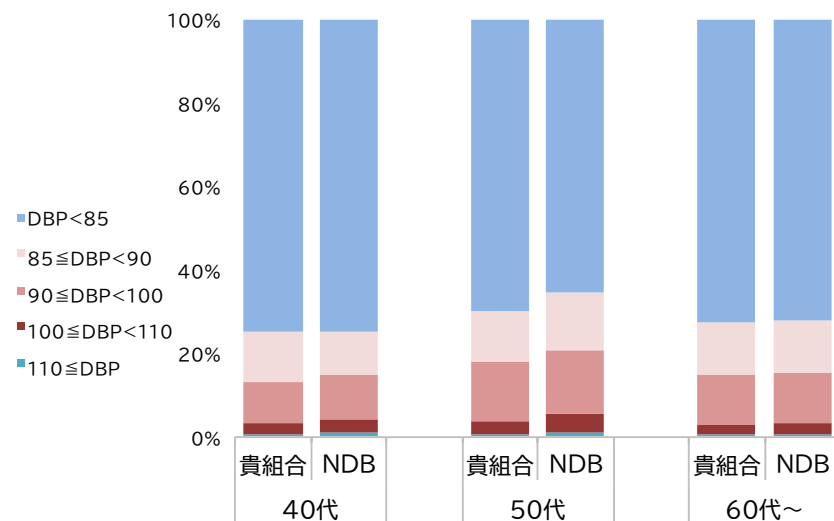
【男性】



【女性】



拡張期血圧

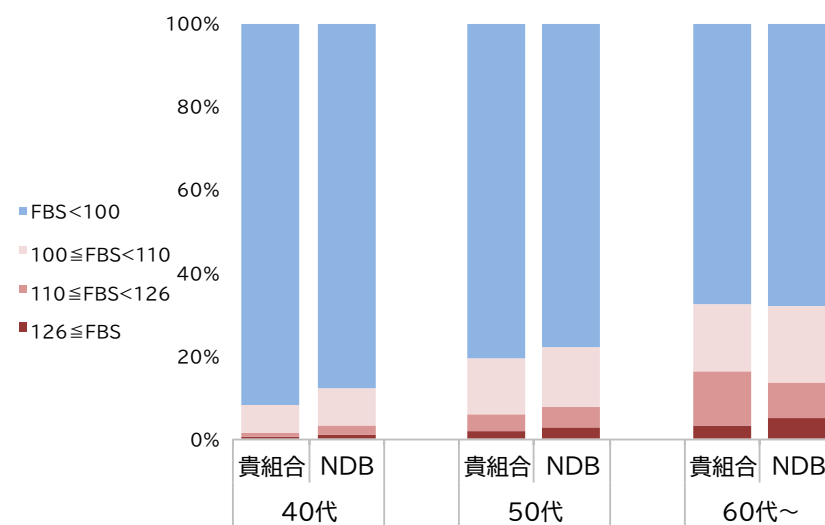
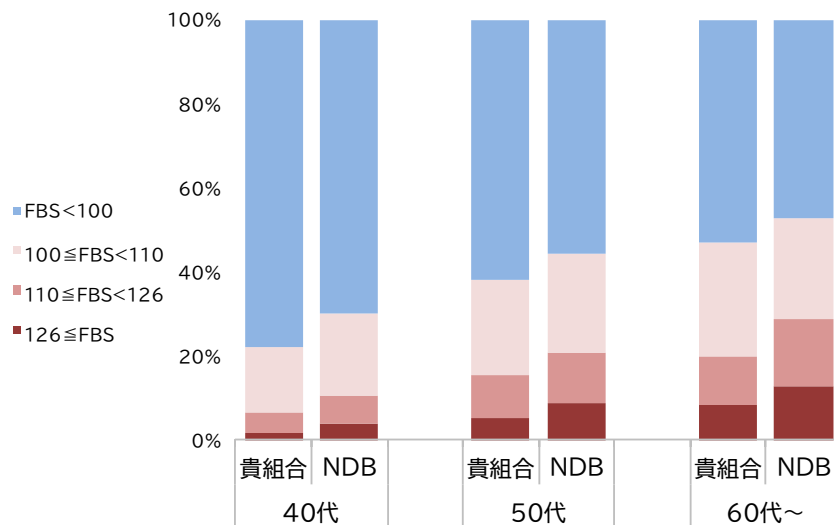


【参考】健診検査値の詳細比較_血糖

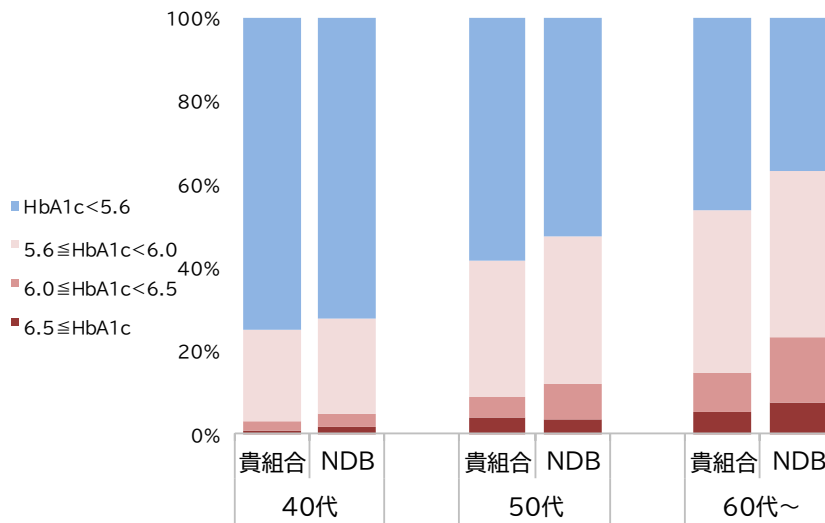
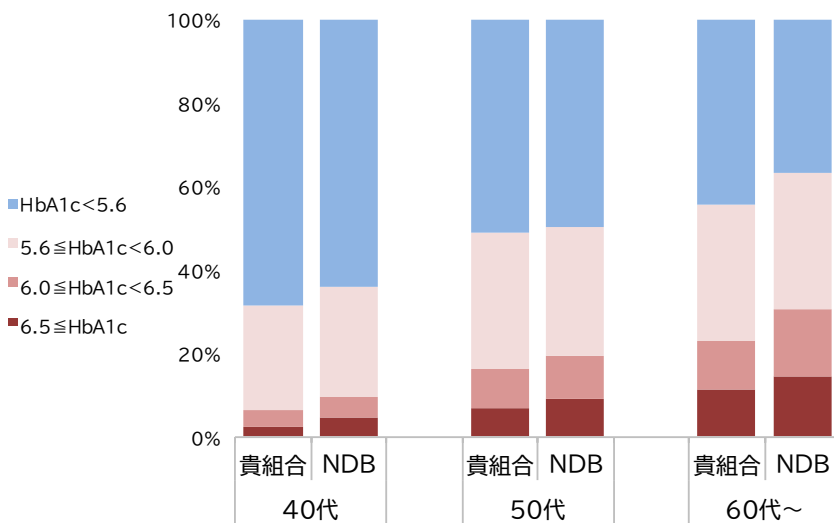
空腹時血糖

【男性】

【女性】



HbA1c



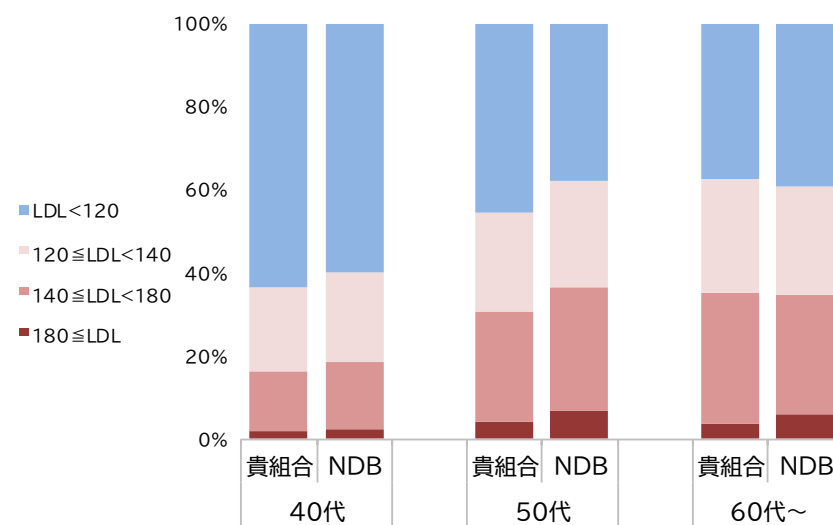
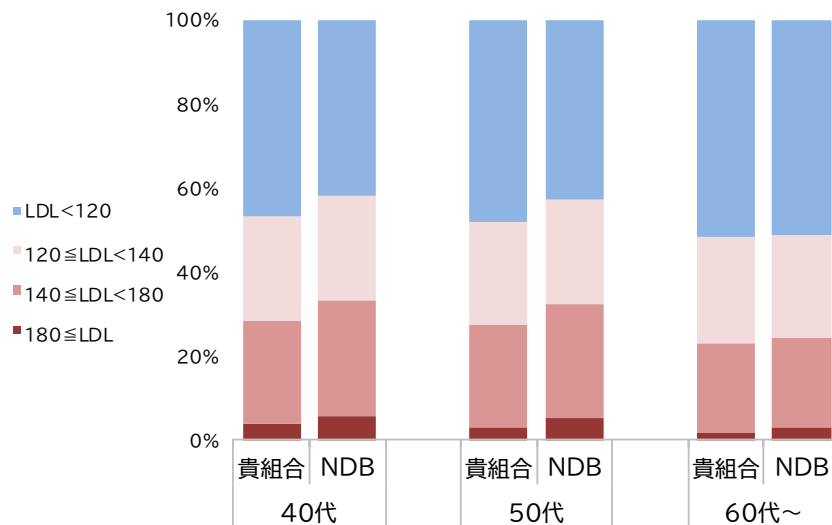
※貴組合空腹時血糖には、空腹時血糖およびHbA1cがない場合のみ随時血糖での判定を含む

【参考】健診検査値の詳細比較_脂質

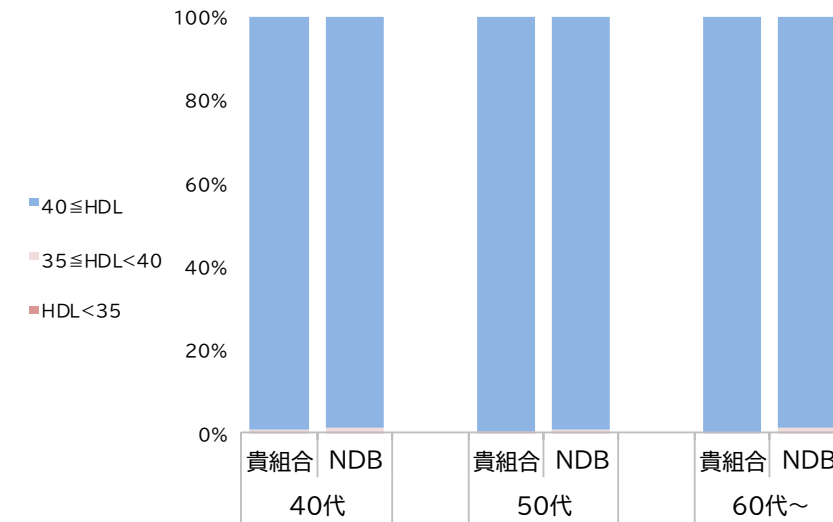
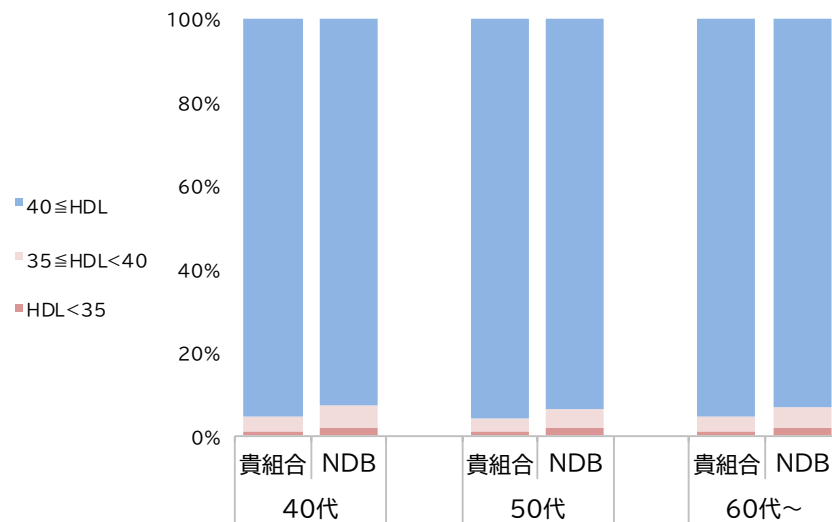
【男性】

【女性】

LDL



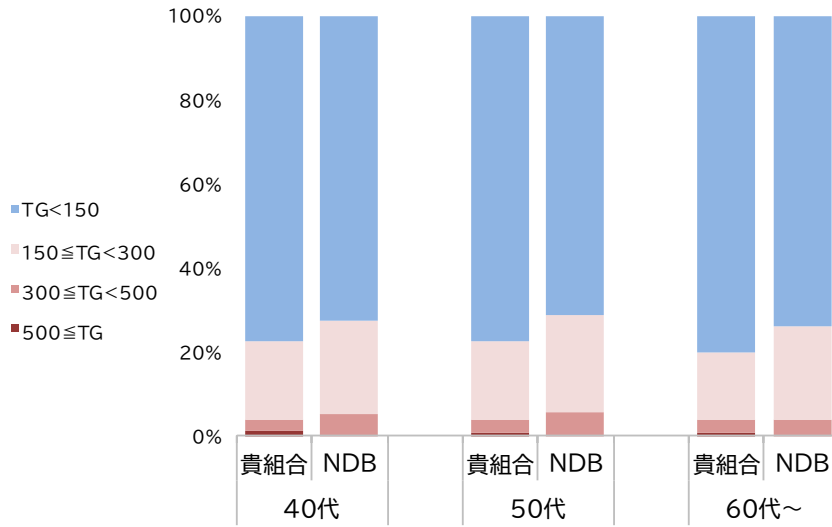
HDL



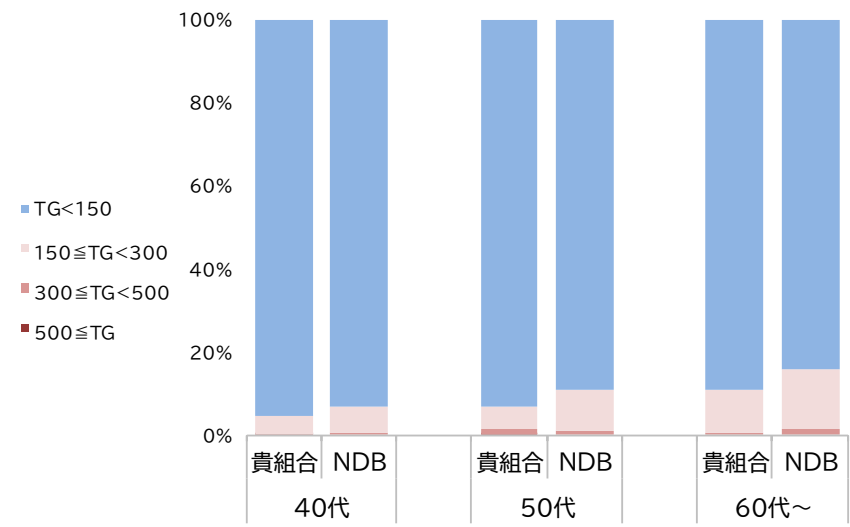
【参考】健診検査値の詳細比較_脂質

中性脂肪

【男性】



【女性】

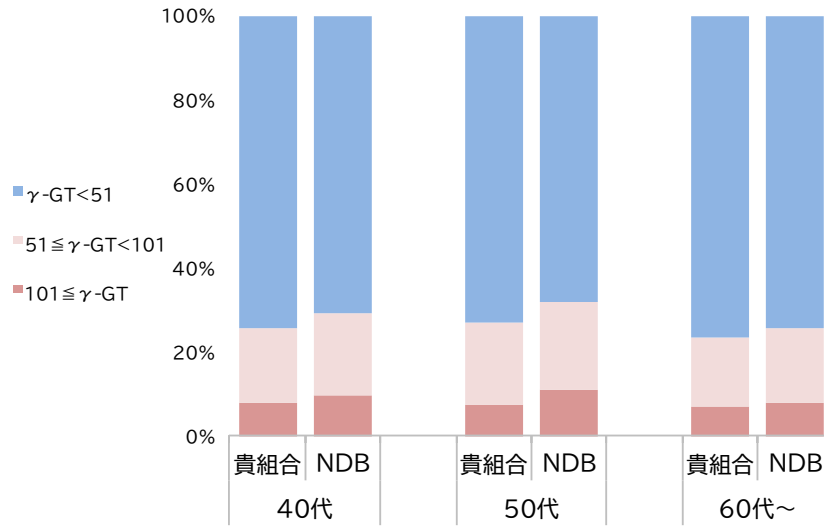


※NDBデータは500 ≤ TG区分なしのため、500mg/dl以上は300 ≤ TG < 500に含む

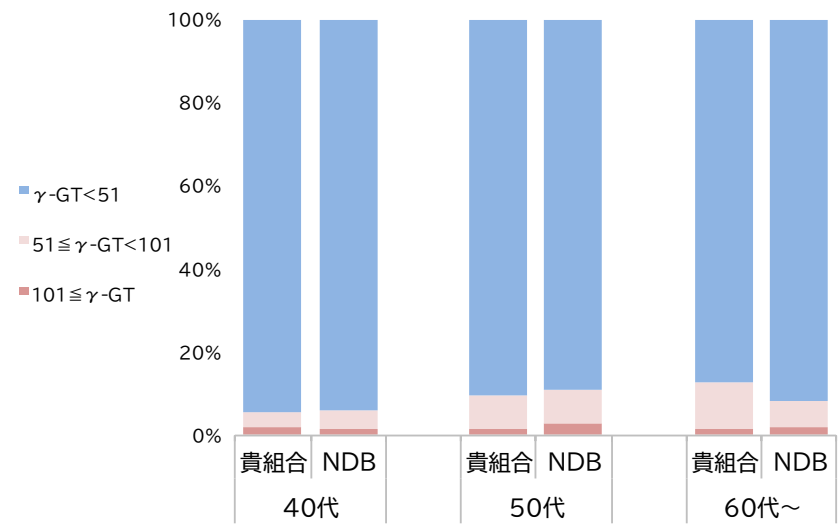
【参考】健診検査値の詳細比較_肝機能

γ-GT

【男性】



【女性】



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク, ケ, ナ	第二期データヘルス計画策定時と比べ、被保険者数は増加している。 年齢構成は30代、40代が減って50代が増えているため、平均年齢差(+2歳) 以上に医療費や健診数値に影響が出る可能性がある。被扶養者も被保険者同 様に、年齢構成は20～40代が減って50代が増えている。	➡	機関紙やホームページを通じて、健康保持・増進に関する情報を提供す る。	
2	ウ, エ, オ, カ, キ, ク, コ, サ	受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被 扶養者とも新生物となっている。	➡	機関紙やホームページを通じて、定期的に人間ドックや自治体のがん検 診を受けるよう周知する。	✓
3	ア, テ, ナ	加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。	➡	被保険者については若年層から生活習慣病を予防するため、可能な事業 主から全年齢を対象に特定健診を実施する。 被扶養者については特定健診無料受診券を継続して配付し、毎年受診い ただけるようパンフレットの工夫や受診勧奨を継続して実施する。	
4	タ, チ, ナ	後発医薬品の使用割合は第二期データヘルス計画策定時と比べ、格段に上が っているが、未だ厚生労働省基準に達していない。	➡	ホームページなどでジェネリック医薬品の利用促進を継続して実施する 。 ジェネリック医薬品差額通知を継続して送付し、効果検証で得た結果に 基づき、効果的な利用促進を実施する。	✓
5	ウ, オ, カ, キ, ク, ケ, コ, サ, シ, ツ	高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割 合が高い。	➡	人間ドックや自治体のがん検診を定期的に受けるよう周知する。 心疾患を引き起こしやすいⅢ度高血圧者で未受診である被保険者につい ては引き続き事業主の産業医療スタッフと連携し、受診勧奨を実施する 。 事業主より35歳未満の健診データを入手し、重症化予防事業の対象とす る。	
6	テ, ト, ホ, マ, ミ, ム, メ, モ, ヤ, ユ	被扶養者の特定保健指導の実施率が低い。	➡	特定保健指導の実施環境を整備する。 ＩＣＴを活用した指導を取り入れ、実施率の向上を図る。	✓
7	ハ	服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。	➡	対象者について、事業主の産業医療スタッフと連携し、サポートできな いか検討する。	
8	ニ, ヌ, ネ, ノ, ヒ, フ, ヘ, ホ, ユ	第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲 酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は 、健保連並みにいる。	➡	事業主とコラボし、定期的に健康セミナーや健康増進イベントを実施す る。あわせて機関紙などで生活習慣改善や健康増進につながる情報を提 供する。	
9	ニ, ヌ, ネ, ノ, ハ, ヒ, フ, ヘ, ホ, マ, ミ, ム, メ, モ, ヤ	男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。	➡	重症化予防事業（血圧・血糖）を継続して実施し、未受診者の減少につ なげるとともにリスクコントロール者を増加させる。あわせて被保険者 で未受診者の方には引き続き事業主の産業医療スタッフと連携し、受診 勧奨を実施する。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 生活習慣病リスク保有者を減少させるため、生活習慣病重症化予防事業に取り組み、被保険者・被扶養者が健康的な生活を送ることを目指す。	事業全体の目標 ・被扶養者の特定保健指導実施率を向上させる。 ・重症化予防事業を継続して実施し、未受診者の減少およびリスクコントロール者を増加させる。
--	--

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	機関紙発行による健康意識づくり（啓発）
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	健康セミナー
保健指導宣伝	後発医薬品利用促進
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	婦人科健診・がん検診促進
疾病予防	歯科健診・受診勧奨
疾病予防	生活習慣病重症化予防：受診勧奨・保健指導（手紙・電話）
疾病予防	喫煙対策事業
疾病予防	PHR（Personal Health Record）の体制整備
疾病予防	コラボヘルス体制の整備
その他	健康管理事業推進委員会
その他	健康管理担当者会議
予算措置なし	メンタル対策（事業主で実施）
予算措置なし	特定健診データの保険者間の連携

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連																								
													実施計画																															
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度																										
アウトプット指標													アウトカム指標																															
職場環境の整備																																												
保健指導宣伝	5	既存	機関紙発行による健康意識づくり（啓発）	全て	男女	0～74	被保険者	1	ケ	年2回以上の機関誌発行	ア	-	・健康啓発のための情報提供 ・健保情報の提供（健保財政・法改正・保健事業の案内） ・自治体のがん検診受診勧奨	継続	-	継続	-	継続	-	継続	-	健康啓発、健康情報、健保情報の提供（健保財政・法改正・保健事業の案内等）	第二期データヘルス計画策定時と比べ、被保険者数は増加している。 年齢構成は30代、40代が減って50代が増えているため、平均年齢差(＋2歳)以上に医療費や健診数値に影響が出る可能性がある。被扶養者も被保険者同様に、年齢構成は20～40代が減って50代が増えている。 加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。 受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被扶養者とも新生物となっている。																					
																								年2回以上の発行(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)・健康啓発のための情報提供 ・健保情報の提供（健保財政・法改正・保健事業の案内等）													具体的な効果測定が困難なため (アウトカムは設定されていません)							
																								加入者への意識づけ																				
																								個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診（被保険者）	全て	男女	18～74	被保険者	2	工,オ,キ,ケ	・事業主が行う定期検診と併せて共同実施 ・主たる事業主は全年齢を対象に実施、その他事業主は35歳以上を対象に実施	ア,イ	-	・受診率が低調である事業主に対する受診率向上に向けた働きかけを実施 ・特定健診を確実に実施するため、健診項目等の変更がある場合は関係者へ周知	継続	-	継続	-	継続	-	継続	-	生活習慣病予防のために実施	受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被扶養者とも新生物となっている。 加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は、健保連並みにいる。 服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。 男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。																					
																								健診受診率99%(【実績値】97.1% 【目標値】令和6年度：97.5% 令和7年度：98% 令和8年度：98% 令和9年度：98.5% 令和10年度：98.5% 令和11年度：99%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力													健診受診率1.9%増(【実績値】97.1% 【目標値】令和6年度：97.5% 令和7年度：98% 令和8年度：98% 令和9年度：98.5% 令和10年度：98.5% 令和11年度：99%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力							
																								加入者への意識づけ																				
																								個別の事業																				
	3,4	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	工,オ,ケ	事業主から被保険者経由での受診勧奨を実施	ア	-	・未受診者への受診勧奨 ・受診案内用パンフレットの見直し	継続	-	継続	-	継続	-	継続	-	生活習慣病予防のために実施	加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。 第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は、健保連並みにいる。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。																					
																								健診受診率70%(【実績値】56.7% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：62% 令和8年度：64% 令和9年度：66% 令和10年度：68% 令和11年度：70%)・事業主から被保険者への受診促進：年1回以上 ・未受診者への受診勧奨：毎秋に実施 ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力													健診受診率13.3%増(【実績値】56.7% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：62% 令和8年度：64% 令和9年度：66% 令和10年度：68% 令和11年度：70%)・受診率72%以上 ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力							
																								加入者への意識づけ																				
																								個別の事業																				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
特定保健指導事業	アウトプット指標												アウトカム指標											
	4	既存（法定）	特定保健指導（被保険者）	全て	男女	35～74	被保険者	2	エ,オ,ク,ケ,サ	・主たる事業主は全年齢を対象に実施、その他事業主は35歳以上を対象に実施 ・就業時間中に特定保健指導が受けられるよう事業主による配慮	ア,イ	-	・事業主毎の受診率の公表および目標受診率の周知 ・実施環境の整備 ・特定保健指導を確実に実施するため、実施内容に変更がある場合は関係者へ周知	継続		継続		継続		継続		生活習慣の改善、健康意識の向上	高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。	
	実施率72%(【実績値】69.6% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：71% 令和9年度：71% 令和10年度：72% 令和11年度：72%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												実施率2.4%増(【実績値】69.6% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：71% 令和9年度：71% 令和10年度：72% 令和11年度：72%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力											
	4	既存（法定）	特定保健指導（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	エ,オ,ク	特定健診での基準該当者に対して、特定保健指導を実施	ウ,コ	-	・委託先選定 ・受診対象者への受診案内、受診勧奨	・受診対象者への受診案内、受診勧奨	継続		継続		継続		継続		生活習慣の改善、健康意識の向上	被扶養者の特定保健指導の実施率が低い。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は、健保連並みにいる。
実施率30%(【実績値】3.5% 【目標値】令和6年度：5% 令和7年度：10% 令和8年度：15% 令和9年度：20% 令和10年度：25% 令和11年度：30%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												実施率26.5%増(【実績値】3.5% 【目標値】令和6年度：5% 令和7年度：10% 令和8年度：15% 令和9年度：20% 令和10年度：25% 令和11年度：30%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												
保健指導宣伝	5	既存	健康セミナー	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	3	ス	・各事業所毎の健康課題をテーマに年1回以上開催 ・健保は開催にあたり発生した費用を補助	ア	-	各事業所にて年1回以上開催	継続		継続		継続		継続		健康意識の向上、健康保持増進	第二期データヘルス計画策定時と比べ、被保険者数は増加している。 年齢構成は30代、40代が減って50代が増えているため、平均年齢差(+2歳)以上に医療費や健診数値に影響が出る可能性がある。被扶養者も被保険者同様に、年齢構成は20～40代が減って50代が増えている。 加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。	
	年1回以上開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												具体的な効果測定が困難なため(アウトカムは設定されていません)											
	7	新規	後発医薬品利用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・機関紙やホームページによる加入者への後発医薬品利用促進 ・ジェネリック医薬品差額通知を送付による利用促進	シ	-	・機関紙やホームページによる加入者への後発医薬品利用促進 ・ジェネリック医薬品差額通知を送付による利用促進	継続		継続		継続		継続		調剤費の抑制	後発医薬品の使用割合は第二期データヘルス計画策定時と比べ、格段に上がっているが、未だ厚生労働省基準に達していない。	
	差額通知送付(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												後発医薬品使用割合80%以上(【実績値】77.1% 【目標値】令和6年度：79% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：81% 令和10年度：81% 令和11年度：82%)令和5年度実績は厚生労働省公表：令和5年3月診療における後発医薬品使用割合											
疾病予防	3,4	既存	人間ドック補助	全て	男女	30～74	被保険者、被扶養者	1	ウ,エ,オ	・ドック費用の一部補助 ・胃がんリスク検査（ピロリ菌検査）を1回限り無料で受診可能	シ	-	・機関紙等による受診勧奨および契約健診機関を定期的に案内 ・新規契約健診機関の検討	継続		継続		継続		継続		生活習慣病予防及びがんなどの疾病の早期発見	受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被扶養者とも新生物となっている。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。	
	対象者への受診促進(【実績値】1,810人 【目標値】令和6年度：1,900人 令和7年度：2,000人 令和8年度：2,050人 令和9年度：2,100人 令和10年度：2,150人 令和11年度：2,200人)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												受診者数2,200人(【実績値】1,810人 【目標値】令和6年度：1,900人 令和7年度：2,000人 令和8年度：2,050人 令和9年度：2,100人 令和10年度：2,150人 令和11年度：2,200人)・具体的な効果測定が困難なため、受診者数約20%増となる2,200人をアウトカムに設定 ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力											
													-	-	-	-	-	-	-	-				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3,4	既存	婦人科健診・がん検診促進	全て	女性	30～74	被保険者,被扶養者	1	オ,ケ	人間ドック受診時にあわせて実施	シ	-	・機関紙やホームページによる受診および契約健診機関の案内 ・新規契約健診機関の検討	継続		継続		継続		継続		がんの早期発見 自治体のがん検診利用促進	受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被扶養者とも新生物となっている。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。		
対象者への受診促進(【実績値】- 【目標値】令和6年度：700人 令和7年度：700人 令和8年度：700人 令和9年度：700人 令和10年度：700人 令和11年度：700人)-													具体的な効果測定が困難なため (アウトカムは設定されていません)												
	3,4	既存	歯科健診・受診勧奨	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者,被扶養者	3	ウ,オ,ク	・事業所等での歯科健診の実施 ・無料歯科健診の実施(外部委託)	シ	-	・機関紙等による受診方法周知 ・健診内容の見直し	継続		継続		継続		継続		歯周病等の早期発見、歯科医療費の抑制	第二期データヘルス計画策定時と比べ、被保険者数は増加している。 年齢構成は30代、40代が減って50代が増えているため、平均年齢差(+2歳)以上に医療費や健診数値に影響が出る可能性がある。被扶養者も被保険者同様に、年齢構成は20～40代が減って50代が増えている。 加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。		
受診促進(【実績値】541人 【目標値】令和6年度：700人 令和7年度：750人 令和8年度：800人 令和9年度：850人 令和10年度：900人 令和11年度：900人)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力													受診人数の増加(【実績値】541人 【目標値】令和6年度：700人 令和7年度：750人 令和8年度：800人 令和9年度：850人 令和10年度：900人 令和11年度：900人) 受診者数をアウトカムに設定(事業所での歯科健診受診者 900人) ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												
	3,4	既存	生活習慣病重症化予防：受診勧奨・保健指導(手紙・電話)	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	3	イ,ク,サ	・特定健診結果から受診勧奨レベルの数値でかつ医療機関未受診者を対象に受診勧奨または情報提供を実施 ・主たる事業主については全年齢を対象、以外の事業主は35歳以上を対象に実施 ・受診勧奨後も未受診である対象者については事業主の産業医療スタッフよりフォローアップを実施 ・Hb1cが6.5以上、高血圧がⅡ度以上 ・受診勧奨後も未受診である対象者については事業主の産業医療スタッフよりフォローアップを実施 ・Hb1cが6.0～6.4、高血圧がⅠ度については冊子による情報提供を実施	イ	-	・対象者への手紙発送(未受診者) ・医療機関未受診者への受診状況の確認 ・未受診者には保健師より電話に受診勧奨を実施 ・対象者は糖尿病はHb1cが6.5以上、高血圧がⅡ度以上 ・受診勧奨後も未受診である対象者については事業主の産業医療スタッフよりフォローアップを実施 ・Hb1cが6.0～6.4、高血圧がⅠ度については冊子による情報提供を実施	継続		継続		継続		継続		生活習慣病リスク保有者の中で医療機関未受診者に対して、早期の医療機関受診を促し、重症化を未然に予防	高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。		
受診勧奨者からの連絡書返信率70%(【実績値】63% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)-													受診勧奨後の受診率50%(【実績値】21% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												
	5	新規	喫煙対策事業	一部の事業所	男女	20～74	被保険者	3	ク	・禁煙サポート事業を実施 ・産業医からの禁煙指示によるプログラムもあわせて実施	ア,イ	-	・各事業所の健診時期等にあわせて、年3回募集 ・産業医からの禁煙指示によるプログラムは通年募集可能	継続		継続		継続		継続		喫煙率の減少	高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 男性のリスク保有4個の方の割合が少し多い。		
禁煙サポート実施数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)-													喫煙達成率70%(【実績値】69% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)・禁煙サポート実施数のうち、禁煙を達成した方の割合 ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												
													喫煙率1.3%減(【実績値】17.3% 【目標値】令和6年度：17% 令和7年度：17% 令和8年度：16.5% 令和9年度：16.5% 令和10年度：16% 令和11年度：16%)・40歳以上被保険者の喫煙率 ・令和5年度末の実績については不明であるため、令和4年度実績を仮入力												
													-	-	-	-	-	-	-	-					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
				アウトプット指標										アウトカム指標											
	4	既存	PHR（Personal Health Record）の体制整備	一部の事業所	男女	18～39	被保険者	3	ク	・しかるべき時期に 特定健診結果の閲覧用ファイルを報告 ・若年層からポピュレーションアプローチを行うため、35歳未満の健診データを入手 ・事業主を通じた情報発信や機関紙およびホームページ等に、マイナンバーカードの被保険者証利用に関するメリットや登録手順について、引き続き広報・周知	ア	-	特定健診結果を社会保険支払基金に提供	・特定健診結果を社会保険支払基金に提供 ・35歳未満の健診データを入手し、重症化予防事業を実施	継続		継続		継続		継続		全年齢の健診データを入手し、重症化予防事業を実施	第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は、健保連並みにいる。	
40歳未満健診データ入手率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：60％ 令和8年度：70％ 令和9年度：80％ 令和10年度：90％ 令和11年度：90％)-														40歳未満健診データ入手率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50％ 令和7年度：60％ 令和8年度：70％ 令和9年度：80％ 令和10年度：90％ 令和11年度：90％)-											
	4	新規	コラボヘルス体制の整備	全て	男女	18～74	被保険者	3	イ,ク,サ	・健康スコアリングレポート等を用いた事業主の経営者との健康課題の共有 ・事業主と連携したDH計画をもとにした指針の共有、宣言等の策定 ・血糖リスク者（Hba1C6.5以上）および血圧リスク者（Ⅲ度）のデータの事業主(産業医)との共有による受診勧奨や、服薬非コントロール者への事業主と共同での取組みの実施	ア,イ	-	・健康スコアリングレポート等を用いた事業主の経営者との健康課題の共有 ・事業主と連携したDH計画をもとにした指針の共有、宣言等の策定	継続	・健康スコアリングレポート等を用いた事業主の経営者との健康課題の共有 ・事業主と連携したDH計画をもとにした指針の共有、宣言等の策定 ・受診勧奨や服薬非コントロール者への事業主と共同での取組みの実施	継続		継続		継続		健康課題の共有、生活習慣病服薬非コントロール者へのさらなる対策の実施	服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。 男性のリスク保有 4 個の方の割合が少し多い。		
服薬非コントロール者への受診状況確認(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0％ 令和7年度：0％ 令和8年度：30％ 令和9年度：40％ 令和10年度：50％ 令和11年度：50％)令和8年度より実施予定														受診状況確認者の改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0％ 令和7年度：0％ 令和8年度：0％ 令和9年度：20％ 令和10年度：20％ 令和11年度：20％)受診状況確認の翌年より改善状況を確認											
その他	1	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	3	ス	年1回事業主と実施	ア,イ	-	・年1回実施 ・健康課題の共有、新規保険事業実施（案）に対する意見集約等	継続		継続		継続		継続		事業主との健康課題共有より効果的・効率的な保健事業の推進	第二期データヘルス計画策定時と比べ、被保険者数は増加している。 年齢構成は30代、40代が減って50代が増えているため、平均年齢差(＋2歳)以上に医療費や健診数値に影響が出る可能性がある。被扶養者も被保険者同様に、年齢構成は20～40代が減って50代が増えている。 加入者の年代が30代後半～40代～50代へと徐々に上がる傾向にある。 受診者数が一定数おり、かつ一人当たり医療費の高い傷病は、被保険者・被扶養者とも新生物となっている。 後発医薬品の使用割合は第二期データヘルス計画策定時と比べ、格段に上がっているが、未だ厚生労働省基準に達していない。 高額医療上位者は、指定難病等の難病やコロナ以外は、新生物・心疾患の割合が高い。 被扶養者の特定保健指導の実施率が低い。 服薬移行してもコントロールできていない層が一定数いる。 第二期データヘルス計画策定時と比べ、(男性の運動・歩行習慣や女性の飲酒二合以上等)生活習慣は総じて良好になっているが、20歳から10kg増群は、健保連並みにいる。 男性のリスク保有 4 個の方の割合が少し多い。		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
年1回以上の開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												具体的な効果測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)												
1	既存	健康管理担当者会議	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者	3	ス	事業主と共同実施	ア	-	・健保の保健事業・財政状況等を説明 ・各事業所の健康状況を把握	継続		継続		継続		継続		継続	各事業所の健康管理担当者と健康課題を共有	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
年1回以上開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												具体的な効果測定が困難なため (アウトカムは設定されていません)												
予算措置なし	5	既存	メンタル対策（事業主で実施）	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者	2	ケ	・事業主においてメンタルヘルス対策を実施 ・健保は事業主を支援	ア	-	事業主にて実施	継続		継続		継続		継続		メンタルヘルス対策	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	連携会議開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)・事業主との連携会開催：年1回以上 ・メンタル系の医療費・現金給付を分析し、実績や傾向を事業主と共有												具体的な効果測定が困難なため (アウトカムは設定されていません)											
	3	新規	特定健診データの保険者間の連携	全て	男女	40 ～ 74	被保険者	1	ク	退職時または退職後に本人または他の保険者の依頼に応じて過去の健診データを提供	エ	-	本人または他保険者の依頼に応じて健診データを提供	継続		継続		継続		継続		他の保険者との健診データの連携	該当なし	
	依頼データの提供率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												具体的な効果測定が困難なため (アウトカムは設定されていません)											

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他